

平成 25 年度 愛知県における地球温暖化防止活動基盤形成事業
年次レポート

省エネモニター調査 集計結果報告書

平成 26 年 2 月
一般社団法人環境創造研究センター

目次

1	調査の実施概要	1
1.1	調査の目的	1
1.2	調査対象	1
1.3	調査の方法	2
1.4	調査項目	2
1.5	集計方法に関する付記	3
2	要約と考察	7
2.1	電気製品等の使用状況について	7
2.2	省エネルギー設備等の導入状況について	7
2.3	車の使用状況について	8
2.4	地球温暖化や環境に対する問題意識について	8
2.5	住まい・暮らし方に対する評価について	9
2.6	環境保全行動の取り組み状況について	9
2.7	国・県の取り組みに対する認知度について	10
2.8	エネルギーの使用状況について	10
3	集計・分析結果	13
3.1	回答者の属性	13
3.2	電気製品等の使用状況	21
3.3	省エネルギー設備等の導入状況	22
3.4	車の使用状況	27
3.5	地球温暖化や環境に対する問題意識	32
3.6	住まい・暮らし方に対する評価	34
3.7	環境保全行動の取り組み状況	37
3.8	国・県の取り組みに対する認知度	45
3.9	エネルギーの使用状況	48
3.10	意識・行動別に見たエネルギー使用量	52
3.11	別の調査結果等におけるエネルギー使用量との比較	55
4	資料編	61
4.1	自由記入欄に記述された意見	61
4.2	調査票原票	66

1. 調査の実施概要

1.1 調査の目的

本調査は、家庭における電気・ガス等エネルギー使用状況とともに、住居形態や居住環境、環境意識なども併せて把握し、各家庭のタイプ別のCO₂排出量の平均値データ等を算出し、CO₂排出量の『タイプ別平均像』を明らかにすることを目的に本年度試行的に実施した調査である。調査結果については、愛知県の一般家庭におけるCO₂排出量の一つの『目安』となる参考データを抽出し、それらを年次レポートとしてとりまとめ、ウェブサイトでの公開、関係者への配布等行う。また、推進員が取り組む普及啓発活動のほか、愛知県や当センターが行う地球温暖化防止活動において参考データとしての活用を目指すものである。

1.2 調査対象

1.2.1 調査票の配布対象

今年度の調査は標本数の少ない試行的な調査として実施するものであり、環境問題や地球温暖化問題に関心が高く、有効データを得られやすいものと推測される愛知県地球温暖化防止活動推進員と、その協力者を主対象に調査を実施した。

今回この調査は、サンプル数の少なくなることが予測された、試行的な調査として推進員を対象に実施したものであり、広く一般県民を対象にした場合の調査よりも、環境意識が高く、環境保全行動の実行度が高い層が回答者の主要層になっている。本調査の集計結果の分析・考察はそのことを前提に行っており、本報告書内で「比較的高い／低い」などの表現があった場合も、前提の回答者（の家庭）群の中で比較して、高い／低いことを意味したものである。

1.2.2 配布数・回収率

配布数	回収数	回収率	有効票数※
227	172	75.8%	164

※白紙票、及び全設問のうち無回答がほとんどを占めていた調査票は集計から除いた。

1.3 調査の方法

調査票	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者自身が調査票へ直接記入・記述する調査方法により実施 ・調査票の規格：A4サイズ・全12頁・モノクロ
配布方法	<p>①1pに「調査協力依頼状」、2pに「回答・記入の方法に関するお願いと注意事項」を記載した調査票、返信用封筒を添付の上、推進員研修会、出展イベントにて配布を行った。推進員への配布の際、調査協力可能な知人等への配布を依頼し、調査用を各4部ずつ配布した。</p> <p>②研修会不参加の推進員へは、調査票及び返信用封筒を郵送した。</p> <p>③当センターが出展した自治体の環境環境イベントで「うちエコ診断」受診者等、来場者への配布を行った。</p> <p>※調査協力者に対しては、500円分の図書カードを進呈する旨を調査票に明記し、図書カード送付用伝票シールを同封した。</p>
回収方法	<p>①愛知県地球温暖化防止活動推進センター宛の返信用封筒で調査票を郵送。</p> <p>②調査票返送後、図書カード送付用伝票シールを用いて図書カードを発送。</p>
調査期間	<ul style="list-style-type: none"> ・発送・配布：平成25年10～11月 ・回収（投函締切日）：平成25年12月6日（金）

1.4 調査項目

設問番号	設問内容	属性	居住環境	環境配慮行動の実施状況	住まい・暮らし方の評価(満足度)	環境問題等に対する意識	
							F:自由記入回答
問1	-1 性別	○					
	-2 年齢						
	-3 職業						
	-4 世帯人数						F
	-5 世帯構成						
	-6 居住地域						F
問2	-1 住宅の種類		○				
	-2 住宅の所有						
	-3 住宅の建築年数						
	-4 住宅の延べ床面積						
	-5 庭やベランダなどの有無						
	-6 部屋の日当たり						
	-7 家の中の風通し・空気の流れ						
問3	-1 住まい周辺の自然環境(緑の多さ)		○				
	-2 夏の気候(県内他所に比べての暑さ)						
	-3 冬の気候(県内他所に比べての寒さ)						
	-4 交通の利便性						
	-5 車の必要性						
	-6 居住地の区分(市街地か郊外か等)						
問4	冷暖房等の設定温度や使用時間	F		●			
問5	電気・ガス等エネルギー使用量(冬・春・夏・秋)	F		●			
問6	省エネルギー設備等の導入状況			●			
問7	-1 家庭内の車の使用者数と所有台数	F		●			
	-2 車の使用頻度			●			
	-3 車の燃料の使用量	F		●			
問8	地球温暖化に対する考え方				●	●	
問9	-1 日常生活における住まい・暮らし方に対する評価				●		
	-2 省エネ・節電のための住まい・暮らし方に対する評価				●		
問10	-1 環境保全行動に対する取り組み状況			●			
	-2 環境保全行動への取り組みの難易度					●	
問11	環境省・愛知県の地球温暖化対策に対する認知度					●	
問12	自由記入欄	F					

1.5 集計方法に関する付記

1.5.1 回答割合の算出方法について

- 集計結果の各割合 (%) は、各設問における回答者数を基数(n)として算出しており (「不明」、「無回答」を除いていない)、複数回答の設問では、その合計が 100%を超えることがある。
- 回答割合の集計・算出は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、数値の合計が 100.0%にならないものもある。

※各集計結果 (表及びグラフ) で、属性ごとの回答者数を基数「n=」として表示しており、n 数値が少ない (回答者数が少ない) 属性の集計結果については、各回答割合の参照に際し、誤差が多分に含まれていることを前提とした注意を要する。

1.5.2 CO2 排出係数について

- 各家庭における電気・ガス等エネルギー使用量の費用、CO2 排出量への換算には、下記の係数を用いた。

●エネルギーの金額換算

エネルギー品目	料金 (税込み)	単位	発熱量 (kcal)	エネルギー コスト (円/kWh)	備考
灯油	104.14	円/L	8,767	10.21	石油情報センター「一般小売価格 民生用灯油 (給油所以外)」 愛知県 店頭価格・配達価格の平均 2013年11月15日
LPガス	503.1	円/m ³	24,000	18.02	石油情報センター「一般小売価格 液化石油 (LP) ガス」 愛知県 (20m ³ 価格 - 10m ³ 価格) より算出 2013年10月
都市ガス	159.6	円/m ³	11,000	12.48	東邦ガス 一般契約B表 2013年11月
電気 (夜間)	12	円/kWh	860	12	中部電力タイムプラン (夜間) * 燃料調整費 (2.67円) 2013年11月
電気 (昼間)	28.22	円/kWh	860	28.22	中部電力タイムプラン (昼間) (90~230kWh) 2013年11月
電気 (従量電灯B)	23.76	円/kWh	860	23.76	中部電力従量電灯B (120~300kWh) 2013年11月

kcal→kWh換算係数: 0.001163 ※都市ガス、電気は基本料金含まず。
出典: 石油連盟ウェブサイト、エネルギー別コスト比較 <1kWh当りのエネルギーコスト (税込み)> 11月の愛知県版算出方法表より

●CO2排出量算出係数

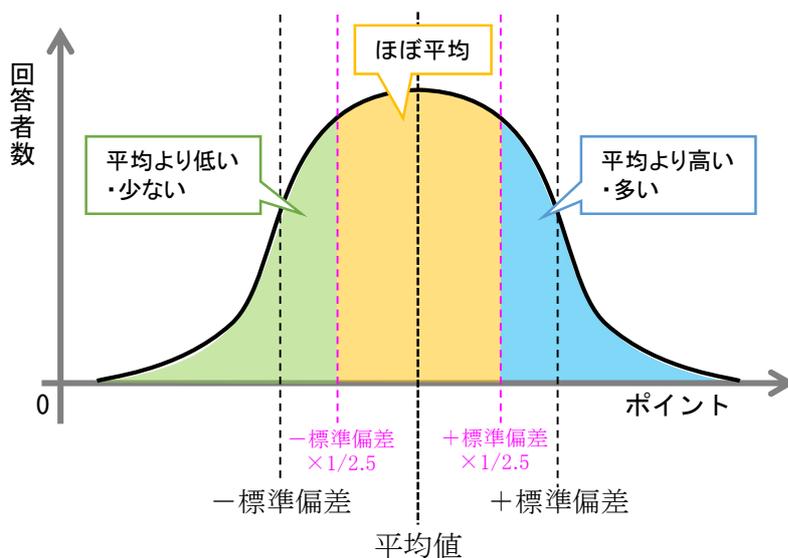
項目	排出係数	単位
電気	0.34	kg/kWh
都市ガス	2.2	kg/m ³
LPG	6	kg/m ³
灯油	2.5	kg/L

出典: 愛知県CO2ダイエット作戦ウェブサイトのCO2排出量算出係数設定より

1.5.3 問 6~問 11 のポイント化による集計について

- 問 6~問 11 は選択肢番号 1 を「1 点」、選択肢番号 2 を「2 点」としてポイント化した集計を行った。
- 回答ポイントの集計値が小さいほど、省エネへの取り組み意識や環境保全及び環境保全行動の取り組み度が高い家庭 (回答者) であると想定し、各設問ごとに回答ポイントが「平均より低い・少ない」「ほぼ平均」「平均より高い・多い」という項目立てによる設定を行い、クロス集計を行った。
- 「平均より低い・少ない」「ほぼ平均」「平均より高い・多い」は、回答ポイント平均値からマイナス 1/2.5×標準偏差を「平均より低い・少ない」、プラス 1/2.5×標準偏差を「平均より高い・多い」とし、その間にある回答ポイントを「ほぼ平均」として設定した。

※問 5 については、世帯人員別の比較が必要であり、項目が多くなりすぎ煩雑化するため、上のポイント化と項目立ては行わずに、エネルギー使用量の数値 (金額) そのものを用いて比較等を行った。



※平均値±標準偏差幅×1/2.5の設定は、今回の調査がサンプル数の少ない試行的調査であることから、3項目のサンプル数が極端に偏らないよう恣意的に設定した。）

回答ポイント集計値の設定方法

各設問の回答ポイントによって想定される事項

設問		回答者及び回答者の家庭のタイプの想定 (※それぞれポイントが小さいほど・・・)
問6	省エネルギー設備等導入の実施意識度	省エネルギー設備等を導入している・導入意向がある家庭
問7	-1 家庭内の車の使用者数と所有台数	車の台数が少ない家庭
	-2 車の使用頻度	車の使用頻度が少ない家庭
	-3 車の燃料の使用量	使用する車の燃料が少ない家庭
問8	地球温暖化に対する考え方	地球温暖化への関心度・問題意識等が高い
問9	-1 日常生活における住まい・暮らし方に対する評価	日常生活における自身の住まい・暮らし方に対する満足度が高い
	-2 省エネ・節電のための住まい・暮らし方に対する評価	省エネ・節電を前提とした自身の現状の住まい・暮らし方に対する評価が高い
問10	-1 環境保全行動に対する取り組み状況	環境保全行動の実行度が高い家庭
	-2 環境保全行動への取り組みの難易度	環境保全行動に対する抵抗感が低い家庭
問11	環境省・愛知県の地球温暖化対策に対する認知度	各種地球温暖化対策関連施策・事業についての認知度が高い

設問	ポイント算出方法	回答ポイントの算出結果				分類項目の設定値 (平均値±標準偏差幅×1/2.5)		
		全回答者の平均値	標準偏差	最低値	最大値	平均より低い・少ない	ほぼ平均	平均より高い・多い
問6	省エネルギー設備等の導入状況 ・既に導入している: 1pt ・導入したい: 2pt ・導入するつもりはない: 3pt として、問6(設問数8個)における各回答者の平均ポイントを算出(無回答は除いて算出)。	2.27 pt	0.41	1.00 pt	3.00 pt	~2.10	2.11~2.43	2.44~
問7-2	車の利用頻度 ・ほとんどない: 1pt ・月1~2回ほど: 2pt ・週1回ほど: 3pt ・週2~3回: 4pt ・週5回ほど: 5pt ・毎日: 6pt として、問7(設問数4個)における各回答者の平均ポイントを算出(無回答を除いて算出)。	3.45 pt	0.90	1.00 pt	6.00 pt	~3.08	3.09~3.79	3.80~
問7-3	車の1か月の燃料代 燃料代を車の所有台数で割り、1台あたりにかかる1か月の燃料代をポイントとして換算した(無回答は除く)。	7,362 pt	4,509.73	0 pt	27,000 pt	~5,547	5,558~9,165	9,166~
問8	地球温暖化に対する認識 ・そう思う: 1pt ・どちらかといえばそう思う: 2pt ・どちらかといえばそう思わない: 3pt ・そう思わない: 4pt として、問8(設問数9個)における各回答者の平均ポイントを算出(無回答及び「どちらでもない」を除いて算出)。	1.41 pt	0.32	1.00 pt	2.29 pt	~1.27	1.28~1.53	1.54~
問9-1	日常生活を送る中で住まい・暮らし方の現状に対する満足度 ・満足: 1pt ・どちらかといえば満足: 2pt ・どちらかといえば不満: 3pt ・不満: 4pt として、問9-1(設問数4個)における各回答者の平均ポイントを算出(無回答及び「どちらでもない」を除いて算出)。	1.93 pt	0.53	1.00 pt	4.00 pt	~1.70	1.71~2.13	2.14~
問9-2	今後省エネ・節電に取り組む上での住まい・暮らし方に対する評価 ・既に充分対応・実行が可能: 1pt ・ある程度は対応・実行できる: 2pt ・やや不安を感じる: 3pt ・対応・実行は不可能: 4pt として、問9-2(設問数4個)における各回答者の平均ポイントを算出(無回答及び「わからない」を除いて算出)。	2.14 pt	0.51	1.00 pt	4.00 pt	~1.93	1.94~2.33	2.34~
問10-1	家庭での環境保全行動の取り組み状況 ・常に(多く)行うようにしている: 1pt ・ある程度(わずかだが)行っている: 2pt ・ほとんど行っていない: 3pt として、問10-1(設問数14個)における各回答者の平均ポイントを算出(無回答及び「該当しない・わからない」を除いて算出)。	1.76 pt	0.38	1.00 pt	2.54 pt	~1.59	1.60~1.90	1.91~
問10-2	環境保全行動の家庭における難易度 ・どちらかといえば簡単: 1pt ・ふつう: 2pt ・どちらかといえば難しい: 3pt として、問10-2(設問数14個)における各回答者の平均ポイントを算出(無回答を除いて算出)。	1.82 pt	0.37	1.00 pt	3.00 pt	~1.66	1.67~1.96	1.97~
問11	環境省、及び愛知県の地球温暖化対策の認知度 ・内容・意味を詳しく知っている: 1pt ・内容・意味をある程度知っている: 2pt ・聞いたこと/見たことだけは: 3pt ・まったく知らない: 4pt として、問11(設問数10個)における各回答者の平均ポイントを算出(無回答を除いて算出)。	2.64 pt	0.88	1.00 pt	4.00 pt	~2.28	2.29~2.98	2.99~

設問	回答者数				
	平均より低い・少ない	ほぼ平均	平均より高い・多い	不明	計
問6	71	52	34	7	164
問7-2	59	40	51	14	164
問7-3	63	44	38	19	164
問8	66	42	53	3	164
問9-1	45	73	42	4	164
問9-2	31	82	44	7	164
問10-1	63	33	62	6	164
問10-2	44	42	48	30	164
問11	50	50	58	6	164

2 要約と考察

2.1 電気製品等の使用状況について

- エアコンの設定温度やその他家電類の使用時間等の平均値は、

エアコン【冷房時】	: 設定温度 26.74 度 (1 日の使用時間 6.00 時間)
エアコン【暖房時】	: 設定温度 22.21 度 (1 日の使用時間 4.33 時間)
照明器具	: 1 日の使用時間 7.43 時間
テレビ	: 1 日の視聴時間 5.69 時間
エアコン以外の暖房器具	: 1 日の使用時間 5.94 時間

となっている。

- エアコンについては、推奨される省エネ行動のエアコン設定温度（冷房 28 度、暖房 19 度／愛知県「家庭の省エネ指南書」より）に至っていない。
- テレビについても主電源を切っている家庭とそうでない家庭とがあり、主電源を切っている家庭は少ない。
- 今回の調査の回答者は推進員を中心とする地球温暖化や環境に対する意識の高い層が多くなっているが、省エネ・節電により取り組むための余地はまだある回答者が多く、一般の家庭に置き換えて捉えた場合もその余地は多分にあることが推測されることから、今後も温暖化防止活動の推進、広報・啓発活動を展開する上で、具体的に省エネ・節電行動の取り組みを紹介し、促進させることが必要と考えられる。

2.2 省エネルギー設備等の導入状況について

- 省エネ設備等の主な導入状況は下枠内の結果となっている。

【導入済み率が高い設備等】省エネ型照明・LED照明（5 割超）、ペアガラス・二重窓、屋上庭園・緑のカーテン（3 割弱）

【導入済み率が低い設備等】太陽熱温水器、太陽光発電、雨水貯留タンク（1 割前後）
※太陽熱温水器と太陽光発電を導入するつもりはないという回答が約 8~7 割と多数を占める。

【今後導入していきたいという回答割合が高かった設備等】ハイブリッドカー・電気自動車（約 4 割）、省エネ型照明・LED照明（4 割弱）、雨水貯留タンク（3 割強）

- 小規模なもの・価格が安いものほど導入されている傾向がみられ、導入規模が大きくなるもの・高価格なものは導入率が低く、導入したいという意向は低くなっている。
- 一方で、ハイブリッドカー・電気自動車、雨水貯留タンクは今後導入していきたいという回答も多く、日常において直接的に使用するものは、導入意向が高くなる傾向もうかがえる。
- 導入するつもりはない理由については、現在の住宅に導入できないからと費用負担が大きいためからいずれの設備等についても多く、導入率の低い太陽熱温水器、太陽光発電、雨水貯留タンクは現在の住宅に導入できないからという回答が最も多くなっている。
- 世帯人数が多いほど、または 3 世代家族で、導入済み・導入したい設備が多くなる傾向がみられる。
- 築年数が浅く、持ち家、一戸建て、延べ床面積が広い住宅に住む回答者ほど、導入済み・導入したい設備が多くなる傾向がみられる。

2.3 車の使用状況について

- 車の所有状況は、1 台所有が約 4 割、2 台所有が約 3 割、3 台以上が約 2 割となっている（0 台は 164 名中 6 名のみ）。
- ハイブリッドカー・電気自動車の所有状況は、車 1 台所有の家庭で約 2 割が導入済み、4 割弱が今後導入したい、4 割強が導入するつもりはないと回答しており、2 台所有の家庭では約 3 割が導入済み、4 割が今後導入したい、3 割が導入するつもりはないと回答している。
- 3 台以上を所有する家庭では、導入済みが 1.5 割ほどにとどまっているが、今後導入したいが 4 割あり、導入するつもりはないが 4 割弱となっている。
- 車の用途と使用頻度をみると、買い物での使用が通勤・通学やレジャー、その他よりも多い頻度で車が使用されている。
- ハイブリッドカー・電気自動車が導入状況について、車の使用頻度が多い層と少ない層を比べると、既に導入している割合に大きな差はないが、車をよく使っている層ほど今後導入したいという意向を持つ人の割合が多くなる。
- また、交通の利便性の高い地域では使用頻度が少なくなり、車が日常生活に必要なだと答えた回答者では使用頻度の多くなる傾向がみられる。
- 今回の調査結果では、車 1 台あたりの 1 か月の平均燃料代は 7,362 円で、家庭全体での 1 か月の車の燃料代は車の所有台数、日常的に車を使用する人の数によって増加し、車の所有台数 1 台に伴う燃料増加比と、日常的に車を使用する人 1 人の増加比は類似している。
- 車 1 台の 1 か月の平均燃料代は、車の使用頻度の多い・少ないによる差は小さいが、居住地の交通の便が良くないと答えた回答者や、日常生活に車が欠かせないと答えた回答者はそうでない回答者よりも燃料代が高く、車の使い方よりも居住地の交通の利便性や環境の方が、車 1 台の燃料使用量の多い・少ないに対する影響が大きい結果になっている。

2.4 地球温暖化や環境に対する問題意識について

- 今回の調査では、調査対象が環境に対する意識の高い回答者が多いことを背景に、地球温暖化や環境に対する問題意識を肯定的に捉えた回答が多い。
- 肯定的な回答割合が全般的に高い中で、肯定度合いが比較的低いものとして、環境に優しくするために多少不便になるのは我慢する、環境に優しくするために値段が高くなるのはしかたないの 2 項目があげられる。
- 年齢別にみると年齢が若くなるほど問題意識が低くなる傾向がみられる。
- また今回の調査結果では、回答者の属性で、居住地について、夏に県内のほかの場所より暑くなると答えた回答者よりも、冬に県内のほかの場所より冷え込む場所だと思いと答えた回答者で問題意識が高くなる傾向がみられ、高冷地等の居住者や寒さに敏感な層で、従前にはなかった気候や環境の変化を認識するなど、温暖化や環境に対する問題意識が高い層が多くなっていることがうかがえる。

2.5 住まい・暮らし方に対する評価について

- 「住居・住居建物」「住まい周辺の環境や立地」「使用している家電・電化製品」「生活パターン・生活習慣」の4項目の現状に対する満足度を尋ねたところ、いずれの項目も満足度が高く、不満の割合は低い。
- 同じこの4項目について、省エネ・節電に取り組む上で対応が可能か否かの評価を尋ねたところ、満足度同様、4項目いずれも高い評価結果であった。
- しかし、満足度に比べて省エネ評価はやや低くなっており、特に「住まい周辺の環境や立地」「住居・住宅建物」の省エネ評価が満足度に比べて下がる割合が大きい結果になっている。
- また、満足度と省エネ評価は相関関係にあり、満足度が全般的に高い層では省エネ評価も全般的に高くなり、反対に省エネ評価が高いと満足度も高くなっている。
- 省エネ設備等を多く導入している・導入したい層と、温暖化・環境に対する問題意識の高い層ほど、省エネ評価が高くなる傾向がみられる。

2.6 環境保全行動の取り組み状況について

- 環境保全行動14項目の取り組み状況について、いずれの項目もよく取り組まれており、ほとんど行ったことがないという回答はごく少数のみとなっている。
- 特によく取り組まれている項目は、ごみ出し、運転、キッチンでの排水、節水に関わる項目で、反対に14項目の中で比較的取り組まれていないものは、環境教育・学習への参加、不用品のリユース、環境配慮商品の購入があげられ、日常的な行動ほど実践されており、非日常的で能動的な要素の大きい行動ほど実践度は低い。
- また、環境保全行動14項目の実践の難易度では、全般的に難易度がふつうであるとする回答が多数を占めているが、よく取り組まれている項目のごみ出し、運転、キッチンでの排水、節水は、難易度が簡単であるとする回答が多く、比較的取り組まれていない環境教育・学習への参加、購買行動は、難易度が難しいとする回答が多くなっている。
- 年齢別にみると、50代以下では環境保全行動を実践する割合が60代・70代以上に比べて顕著に低くなっているが、取り組みの難易度は年齢による差がそれほど大きくないことから、難易度を要因とせずに実践していない人が50代以下で多くなっていることがうかがえる。
- 職業別にみると、給与所得者で難易度を要因とせずに実践していない人が多く、反対に自営業・その他は取り組みが難しいものの環境保全行動によく取り組んでいる傾向がうかがえる。
- 世帯人数、世帯構成別にみると、世帯人数が多くなるほど実践している割合が低くなり、難易度についても取り組みにくいと答える割合が多くなっており、3世代家族も同様に取り組みにくく、実践していない傾向がみられる。
- また、環境保全行動によく取り組んでいる層と取り組んでいない層を比べると、よく取り組んでいる層の方が省エネ設備等を既に導入している・これから導入したい意向をもち、住まい・暮らし方の満足度も高くなる傾向がみられる。

2.7 国・県の取り組みに対する認知度について

- 環境省と愛知県の地球温暖化対策関連の取り組み 10 項目についての認知度で、内容・意味が回答者の過半数に認知されているものは、環境省の地球温暖化防止月間、エコハウス、うちエコ診断、愛知県のわが家の省エネ&ダイエット作戦となっている。
- 反対に認知度が低いものとして、環境省の HEMS、愛知県の CO2 削減マニフェスト 2020、家庭の省エネ指南書（パンフレット冊子）があげられる。
- 年齢別にみると 50 代以下で、60 代・70 代以上よりも全般的な認知度が低くなり、指定都市在住者とそれ以外の自治体在住者では指定都市以外の自治体在住者の認知度が低くなる傾向がみられ、今後の広報・啓発活動などにおいても、若年層や都市部以外の在住者による受信に十分な留意が必要と考えられる。
- 省エネ設備等を導入している・導入したい層や環境保全行動に取り組んでいる層ほど、国・県の取り組みに対する認知度も全般的に高くなっていることから、各種施策や事業の周知が促進されるほど省エネ設備の導入や環境保全行動の実践も進むことが期待できる。

2.8 エネルギーの使用状況について

2.8.1 全体的な傾向

- 電気、都市ガス、LPG（プロパンガス）、灯油の 4 種エネルギーの使用量は、世帯人数、季節によって異なっており、世帯人数が増えるほど使用量も増加し、季節では冬場の使用量が最も多く、夏、春、秋の順に多くなっている。
- 世帯人数ごとのエネルギー 4 種の合計金額の平均値をみると（サンプル数が少ないため参考値となるが）、

世帯人数 1 人と世帯人数 2 人の差額：約 4,300 円
世帯人数 2 人と世帯人数 3 人の差額：約 5,300 円
世帯人数 3 人と世帯人数 4 人の差額：ほぼ同じ（※今回調査では世帯人数 4 人の方が約 60 円少なかった）
世帯人数 4 人と世帯人数 5 人の差額：約 7,200 円
世帯人数 5 人と世帯人数 6 人の差額：約 2,200 円

となっており、世帯人数 1 人～5 人では、人数が増加するほど差額も大きくなる傾向がみられた。

- エネルギー個別にみた場合の世帯人数の差はそれほど大きくないが、4 種合計にした光熱費としてみると、世帯人数による差が相乗されて大きくなっている。
- 灯油については、購入家庭は少なく、購入している場合には冬場だけに購入する家庭が多く、夏から秋にかけては購入している家庭はごく少数のみという特徴がみられた。

2.8.2 意識・行動別に見たエネルギー使用量

- 今回の各調査結果（ポイント集計結果）ごとに、世帯人数別のエネルギー平均使用量を見ていったところ、傾向差が明確に表出したものと、差異が小さい、または不明瞭なものとがあり、その結果は下表の通りである。

区分	設問		エネルギー使用量の特徴	
			使用量が多い層	使用量が少ない層
明確な差異があったもの	問9-1	住まい・暮らし方に対する満足度	・世帯人数が少なく、暮らしの満足度の低い層 ・世帯人数が多く、暮らしの満足度が高い層	・世帯人数が少なく、暮らしの満足度の高い層 ・世帯人数が多く、暮らしの満足度が低い層
	問9-2	住まい・暮らし方に対する省エネ評価	・暮らしの省エネ評価の低い層	・暮らしの省エネ評価の高い層
	問10-1	環境保全行動の取り組み状況	・環境保全行動に取り組んでいない層	・環境保全行動に取り組んでいる層
	問10-2	環境保全行動に取り組む難易度	・環境保全行動への取り組みが難しい層	・環境保全行動への取り組みが簡単な層
差異が小さいまたは不明瞭だったもの	問6	省エネ設備等の導入状況	・省エネ設備を導入している・導入したい意向がある層（世帯人数が多くなるほどその傾向が顕著になる）	・省エネ設備を導入していない・導入したいと考えていない層
	問8	地球温暖化や環境に対する問題意識	・差が小さく、世帯人数による傾向も見受けられない。	
	問11	国・県の地球温暖化対策に対する認知度	・差が小さく、世帯人数による傾向も見受けられない。	

- 明確な差異がみられたものは、日常生活との関連性がある設問であり、意識や認知度については今回調査の回答者の多くが推進員であったことから、あまり差は表出しない結果になったものと考えられる。
- 今回の調査におけるエネルギー使用量が多くなる家庭の特徴として、世帯人数が多く、省エネ設備を多く導入しているか、導入したいという意向を持ち、暮らしの満足度は高いが暮らしの省エネ評価は低く、環境保全にあまり取り組んでいない、取り組むことが難しい家庭という結果になっている。
- また、今回の調査対象層では、世帯人数の多くなる3世代家族は、省エネ設備を導入しているが、環境保全行動にあまり取り組んでいない、取り組み難い傾向がみられ、エネルギー使用量も人数に比例して増加比が大きくなる傾向がみられることから、今後の省エネ・節電、CO₂ 排出量抑制の取り組みにおいて、家族連れや世帯人数が多い層に対する普及・啓発が重要になるものと考えられる。

2.8.3 別の調査結果等におけるエネルギー使用量との比較

- 環境省の「うちエコ診断」の愛知県受診者と、愛知県の「わが家の省エネ&CO₂ ダイエット作戦」の環境家計簿入力者のエネルギー使用量と、本調査結果のエネルギー使用量を比較したところ、「わが家の省エネ&CO₂ ダイエット作戦」<本調査<「うちエコ診断」の順に、全般的な平均値が多くなっており、エネルギー種別、季節、世帯人数に関わらず同様の傾向になっている。
- おそらく一般県民層の平均値に近いと推測される「うちエコ診断」の平均値は下回っているため、本調査の回答者の家庭のエネルギー使用量は県内の一般的な平均値よりも低いことが予想される。
- 環境家計簿に1～3年間継続入力している「わが家の省エネ&CO₂ ダイエット作戦」参加者は、エネルギー使用料金、CO₂ 排出抑制を日頃から意識している層が多いことから、本調査よりもエネルギー使用量の平均値が下回るより高いレベルの意識層であることが推測される。

3 集計・分析結果

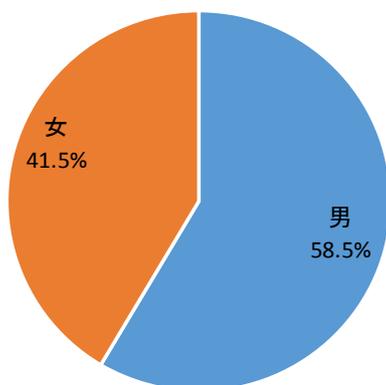
3.1 回答者の属性

3.1.1 性別と年齢

- 今回の調査で回答のあった 164 名の性別・年齢をみると、男性：女性の比は約 6：4 となっている。
- 年齢別にみると、60 代が約 4 割、70 代以上が 3 割強、50 代以下が 3 割弱で、年配者が多い。
- また、50 代以下は女性回答者が、60 代はわずかに男性回答者が、70 代以上では男性回答者が多い。

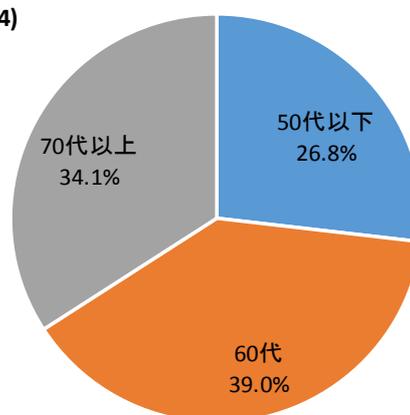
●問1-1)性別

(n=164)

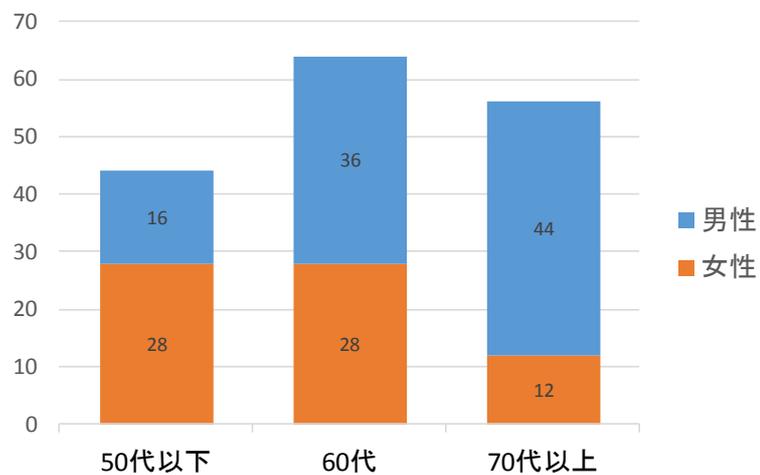


●問1-2)年齢(区分項目)

(n=164)

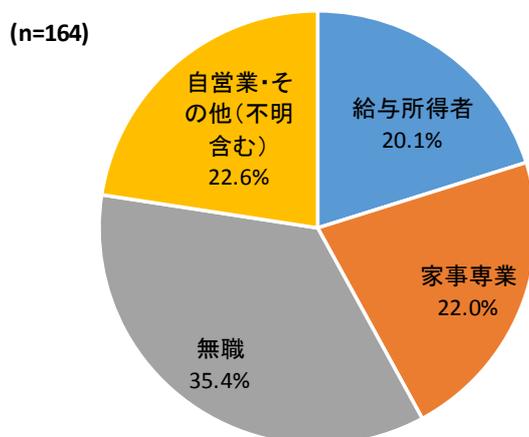


●年齢3区分×性別



3.1.2 職業

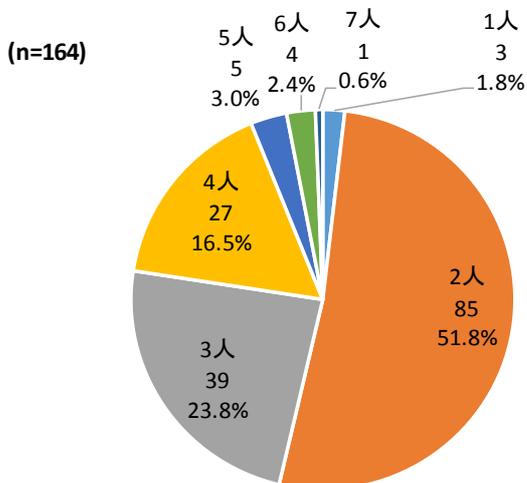
- 回答者には年配層が多く、回答者の職業は4割弱の無職が最多で、給与所得者は2割ほどとなっている。
- 問1-3)職業(区分項目)



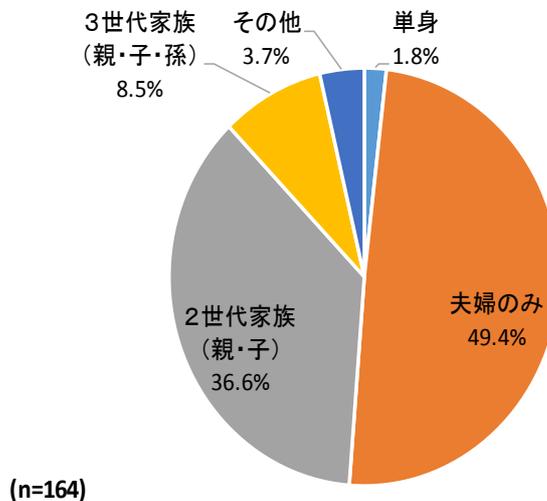
3.1.3 世帯人数・構成

- 世帯人数が2人の回答者が最多で約半数を占める。
- 世帯構成も夫婦のみが約5割、2世代(親・子)が4割弱で、単身世帯、3世代以上の家族はごく少数のみとなっている。

●問1-4)世帯人数



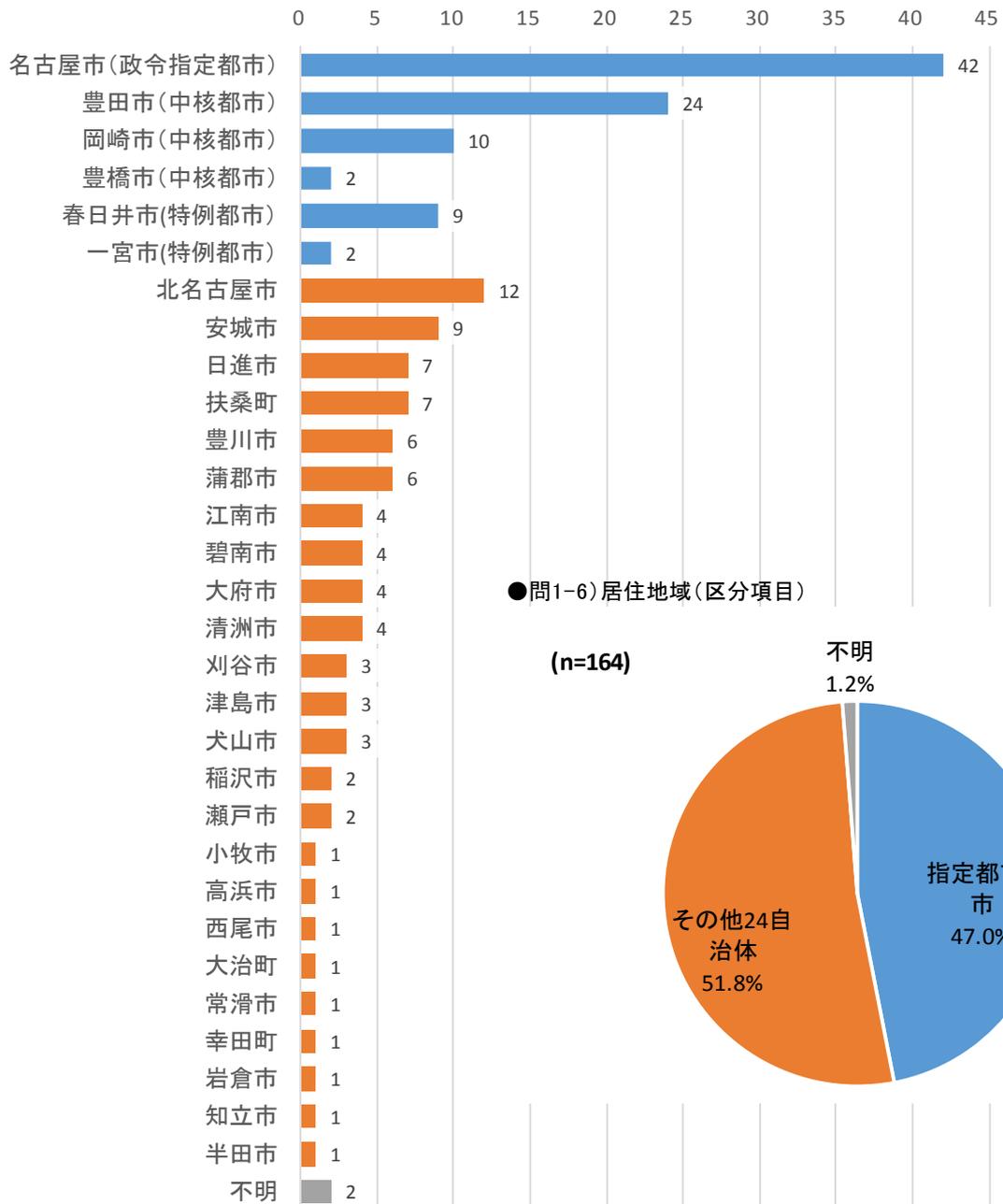
●問1-5)世帯構成



3.1.4 居住地域

- 回答者は県内 30 市町の在住者であり、うち、名古屋市在住者が 42 名で最も多く、次いで、豊田市在住者が 24 名で多い。
- 県内の政令指定都市、中核都市、特例都市である 6 市（名古屋市、豊田市、岡崎市、豊橋市、春日井市、一宮市）の在住者が 5 割弱で、その他市町が残り半数を占める。

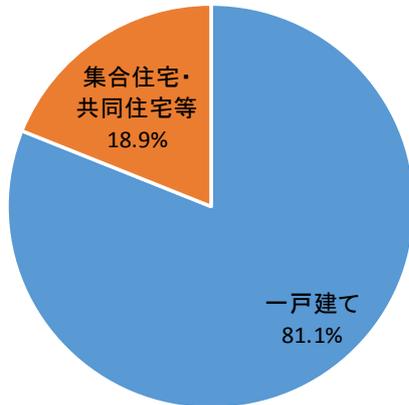
●問1-6)居住地域



3.1.5 住宅の形態・状況

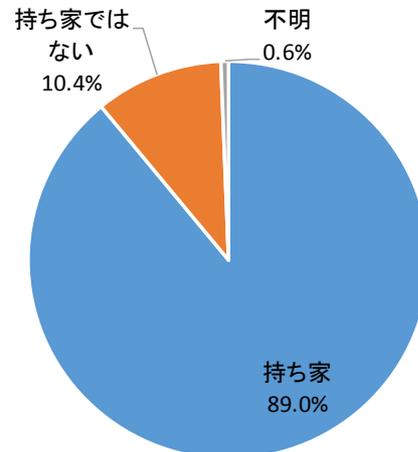
- 回答者の住宅は、全体 8 割が一戸建てで、9 割が持ち家となっている。
- 築年数は、平成 4～12 年、昭和 52 年以前、昭和 53～平成 3 年がそれぞれ 3 割弱ほどずつとなっている。
- 住宅の延べ床面積は 40 坪以上が 4 割で最も多く、30～40 坪と 30 坪未満が同数の 3 割弱ほどとなっている。

●問2-1) 住宅の種類



(n=164)

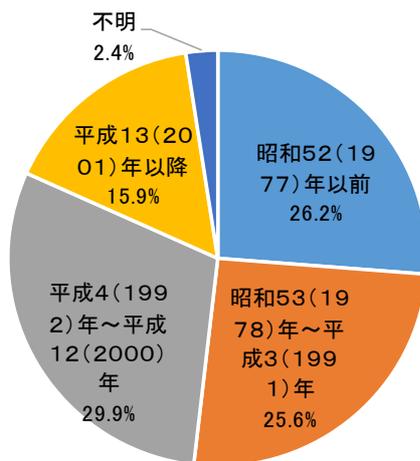
●問2-2) 住宅の所有



(n=164)

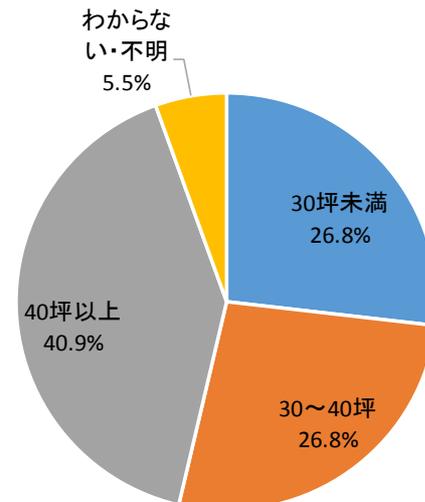
●問2-3) 住宅の建築年数

(n=164)



●問2-4) 住宅の延べ床面積(区分項目)

(n=164)

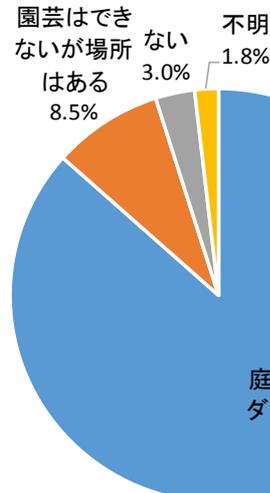


3.1.6 住宅の庭の有無、日当たり・風通し

- 園芸等の可能な庭やベランダなどがあるか否かについて、回答の9割弱が庭やベランダ等があると回答している。
- 日当たりと風通しについて、それぞれ8割前後が良いと答えており、日当たりと風通しの両方とも良いと答えた回答者が全体の約7割となっている。

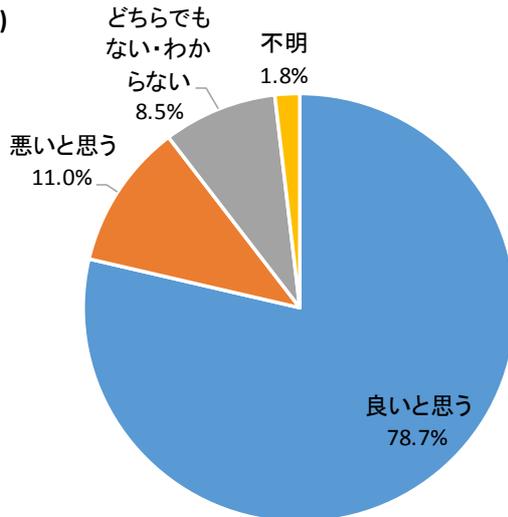
●問2-5) 庭やベランダなどの有無

(n=164)



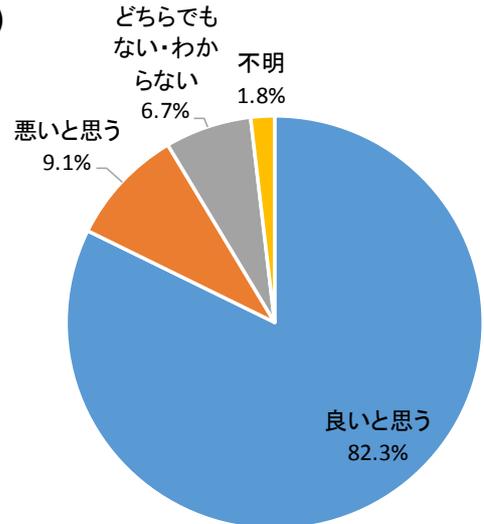
●問2-6) リビングなどの日当たり

(n=164)



●問2-7) 家の中の風通し

(n=164)

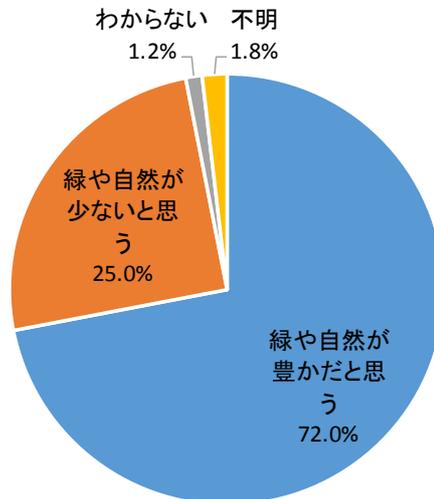


3.1.7 住まい近辺の自然環境や気候

- 住まい近辺の自然環境について尋ねた設問では、緑や自然が豊かだと思うが7割と多い。
- 夏や冬の気候について尋ねた設問では、県内の他の地域と同じだと思うという回答が夏・冬それぞれ8割前後を占めており、夏の暑さ・冬の寒さの両方とも他の地域と同じだと答えた回答者が7割弱となっている。

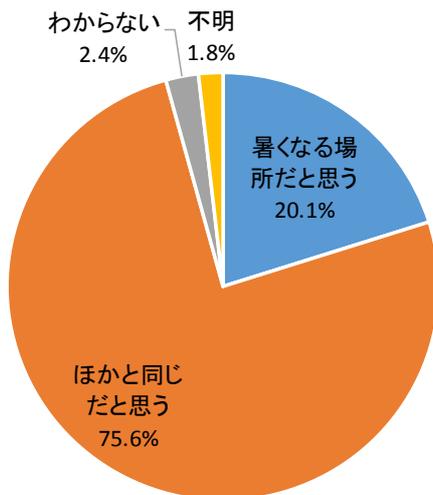
● 問3-1) 住まい近辺の自然環境

(n=164)



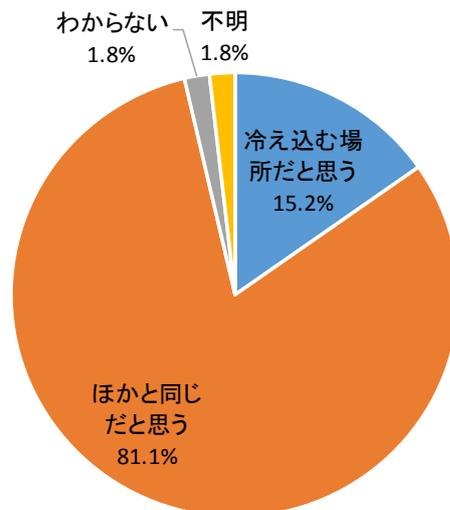
● 問3-2) 夏の気候

(n=164)



● 問3-3) 冬の気候

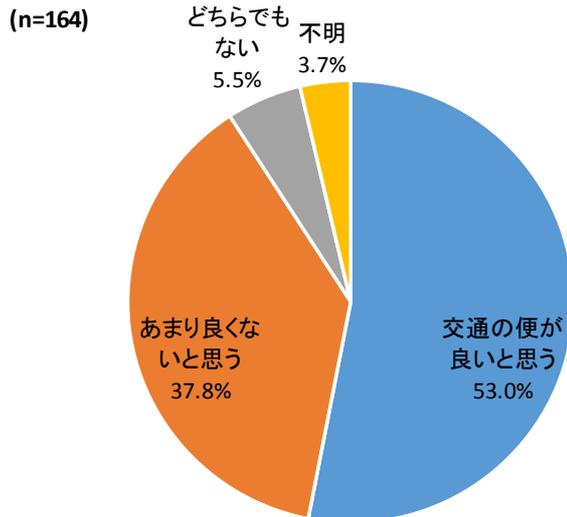
(n=164)



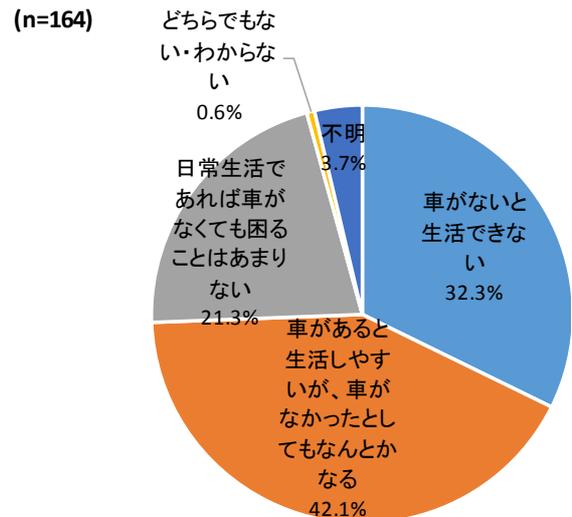
3.1.8 居住地の交通環境

- 居住地の公共交通機関の利便性について尋ねた設問では、交通の便が良いと思うという回答が5割強を占めている。
- 車の必要性をたずねた設問では、車がないと生活できないと答えた回答者は約3割で、残りは車がなくても日常生活であれば何とかなるという回答になっている。
- 住まいの立地について、市街地周辺部に立地すると答えた回答者が5割弱で最も多く、次いで、都市部や市街地の中に住むと答えた回答者が2割で多くなっている。

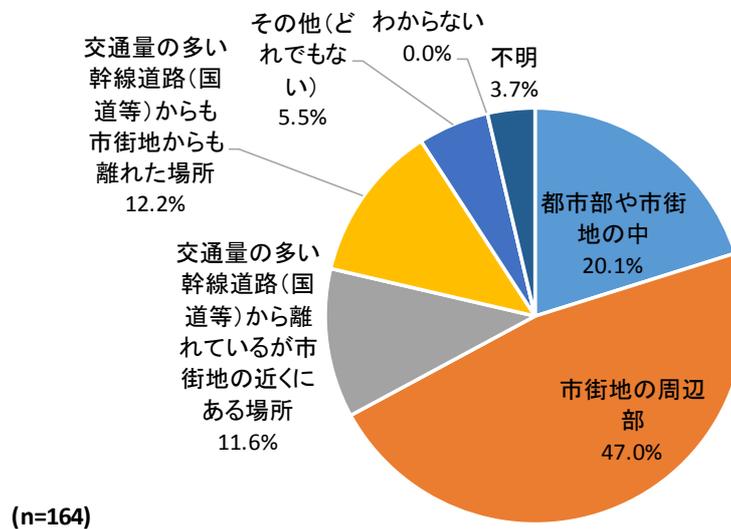
●問3-4) 公共交通機関の利便性



●問3-5) 車の必要性



●問3-6) 住まいの立地



- 公共交通機関の利便性と住まいの立地を掛け合わせると下表の通りとなり、利便性の高い地域に住む回答者が2割弱、比較的利便性の良い地域に住む回答者が5割強、比較的利便性の良くない地域に住む回答者が1割強ほどとなっている。

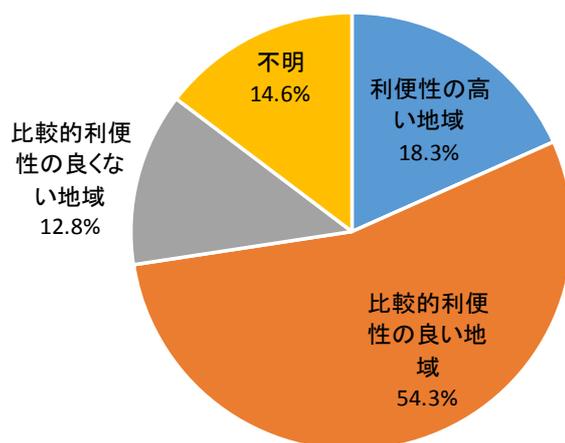
●問3-4) 公共交通機関の利便性 × 問3-6) 住まいの立地

項目	都市部や市街地の中	市街地の周辺部	交通量の多い幹線道路(国道等)から離れているが市街地の近くにある場所	交通量の多い幹線道路(国道等)からも市街地からも離れた場所	その他(どれでもない)	わからない	不明	計
交通の便が良いと思う	30	42	11	3	1	0	0	87
あまり良くないと思う	3	30	5	16	7	0	1	62
どちらでもない	0	4	3	1	1	0	0	9
不明	0	1	0	0	0	0	5	6
計	33	77	19	20	9	0	6	164

利便性の高い地域	
比較的利便性の良い地域	
比較的利便性の良くない地域	
不明	

●問3-4・6) 交通の利便性における住まいの立地状況

(n=164)



3.2 電気製品等の使用状況

- 電気製品等の使用状況について尋ねた設問で、エアコンの設定温度や各種家電類の使用時間等の平均値は下表の通りの調査結果になった。
- エアコンの冷房時の設定温度 26.74 度、暖房時の設定温度 22.21 度、照明器具の使用時間 7.43 時間/日、テレビの視聴時間 5.69 時間/日、こたつや電気ストーブなど暖房器具の使用時間 5.94 時間/日が今回の調査の平均値となっている。
- テレビの主電源が入っている平均時間は 14.05 時間/日という結果になっており、標準偏差の数値が高いことから、主電源を切っている家庭とそうでない家庭でばらつきがあることがうかがえる。
- エアコンについては、使わない（使用時間 0 時間）という回答も散見され、特に暖房として使っていない家庭が多くみられる。
- シャワーは世帯全体での 1 日の使用時間を調査しており、これを世帯人数で割った場合の平均値は表の右端欄になり、1 人あたりの使用時間の平均は 7.85 時間/日である。

●問4. 電気製品の使用状況

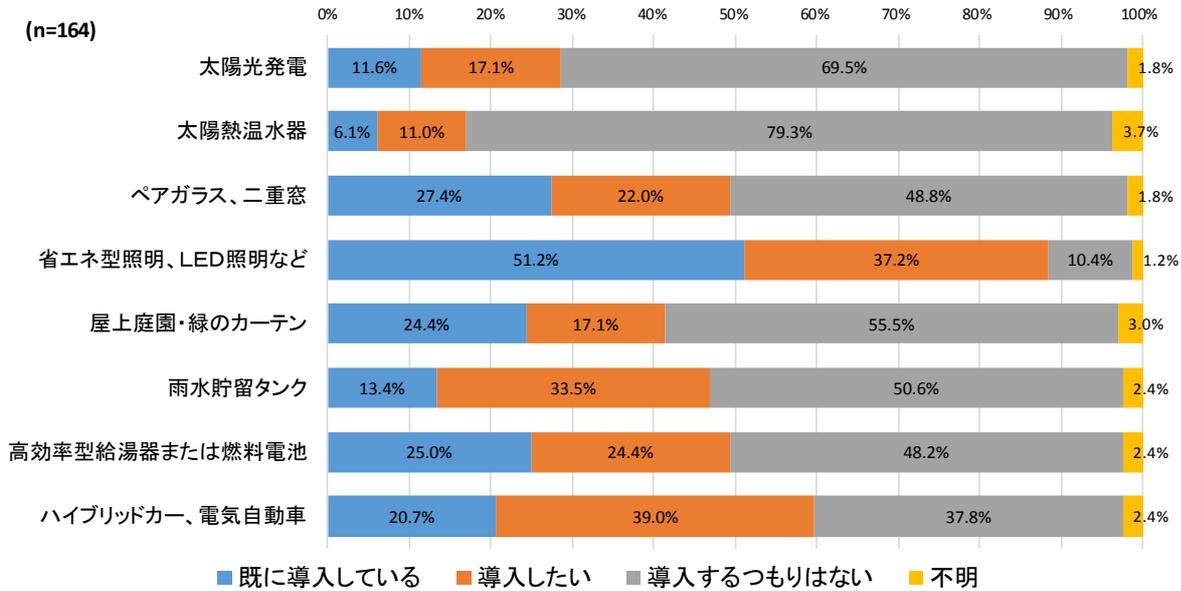
項目	エアコン【冷房時】		エアコン【暖房時】		照明器具	テレビ		暖房器具 (こたつ、電気ストーブなど)	シャワー	
	設定温度	1日の使用時間	設定温度	1日の使用時間		1日の使用時間	1日の視聴時間		主電源が入っている時間	1日の使用時間
回答者数	151	150	112	122	157	159	149	154	157	—
全回答者の平均	26.74 度	6.00 時間	22.21 度	4.33 時間	7.43 時間	5.69 時間	14.05 時間	5.94 時間	21.29 分	7.85 分
標準偏差	2.19	4.60	5.43	3.57	3.55	3.24	9.36	3.94	19.78	6.72
最低値	18 度	0 時間	0 度	0 時間	2 時間	0 時間	0 時間	0 時間	0 分	0 分
最高値	30 度	24 時間	30 度	20 時間	20 時間	20 時間	24 時間	20 時間	130 分	43 分

3.3 省エネルギー設備等の導入状況

3.3.1 導入状況と導入意向

- 省エネ設備等の導入状況について尋ねた設問では、省エネ型照明、LED照明などを導入している・導入したいと答えた回答が最も多く、次いで、既に導入しているものとしてはペアガラス、二重窓、高効率型給湯器または燃料電池、屋上庭園・緑のカーテンが多い。
- (現在導入していないが、今後) 導入したいものとしては、ハイブリッドカー、電気自動車、雨水貯留タンクと答えた回答者が多くなっている。
- 太陽熱温水器、太陽光発電は他の省エネ設備に比べると、導入している割合、導入したい割合ともに低い結果になっている。

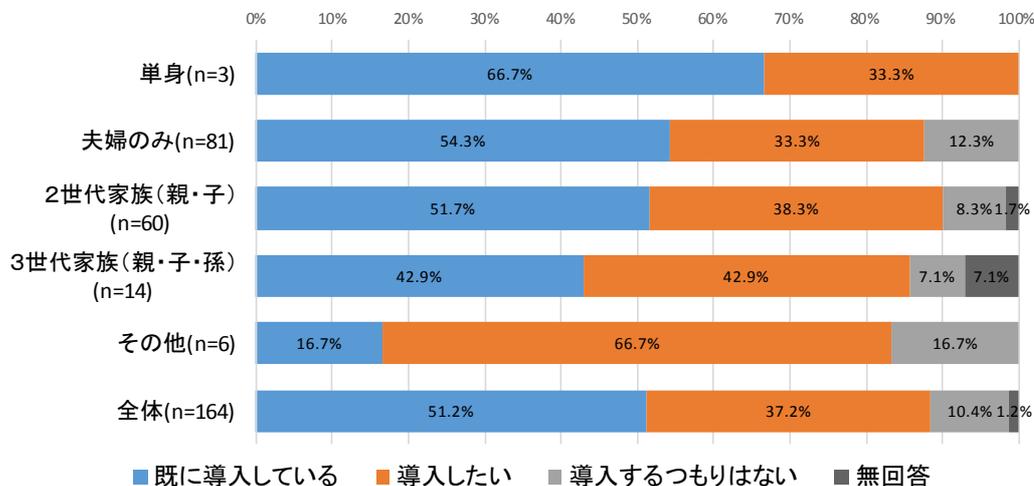
●問6. 省エネルギー設備等の導入状況



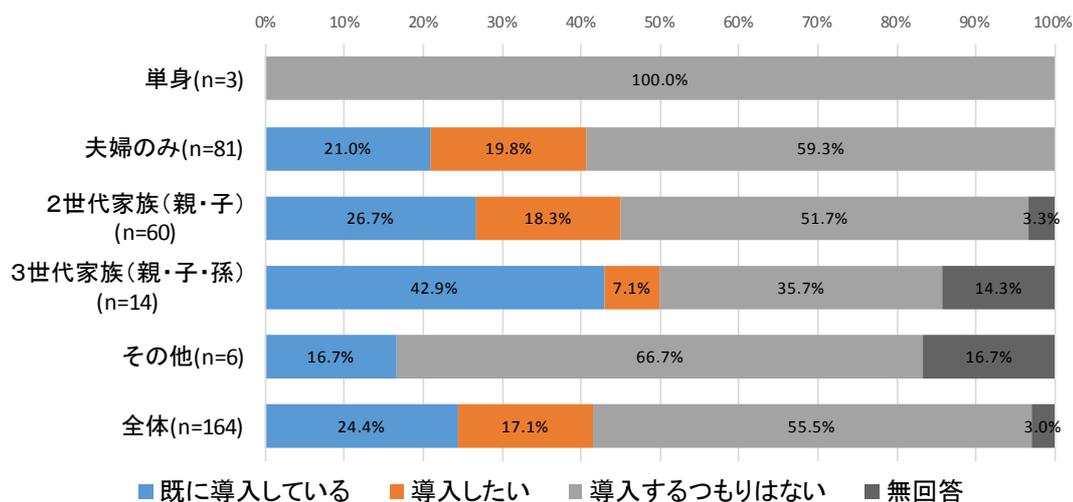
3.3.1.1 世帯構成別にみた各省エネ設備の導入状況

- 省エネ型照明、LED照明などは、世帯構成が単身、夫婦のみ世帯で導入済みの割合が高いが、2世代・3世代家族になると導入済みの割合が低く、これから導入したいという回答割合が高くなっている。
- 反対に、屋上庭園・緑のカーテンと高効率型給湯器または燃料電池は、3世代家族で導入済みの割合が高くなっている。

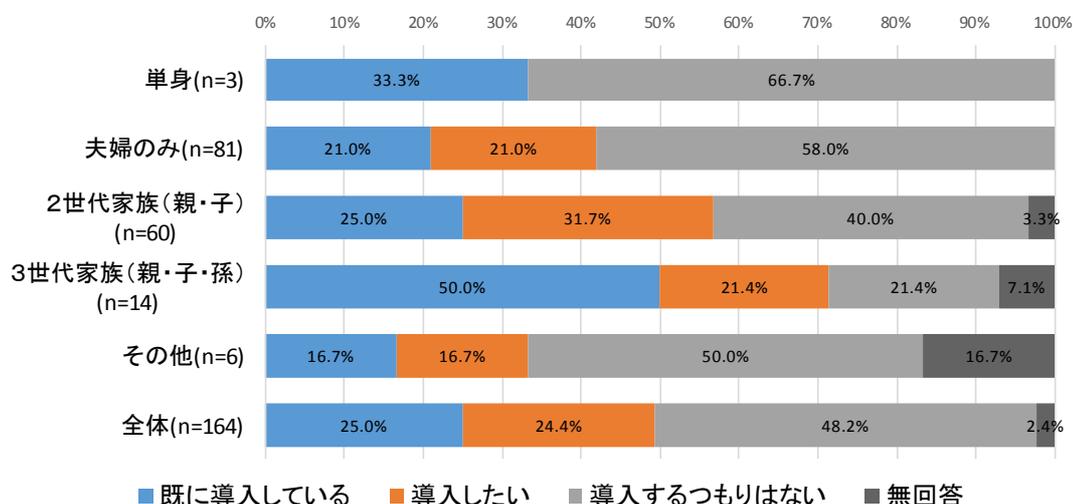
●問1-5：世帯構成 × 問6：省エネ設備導入状況 ④省エネ型照明、LED照明など



●問1-5：世帯構成 × 問6：省エネ設備導入状況 ⑤屋上庭園・緑のカーテン



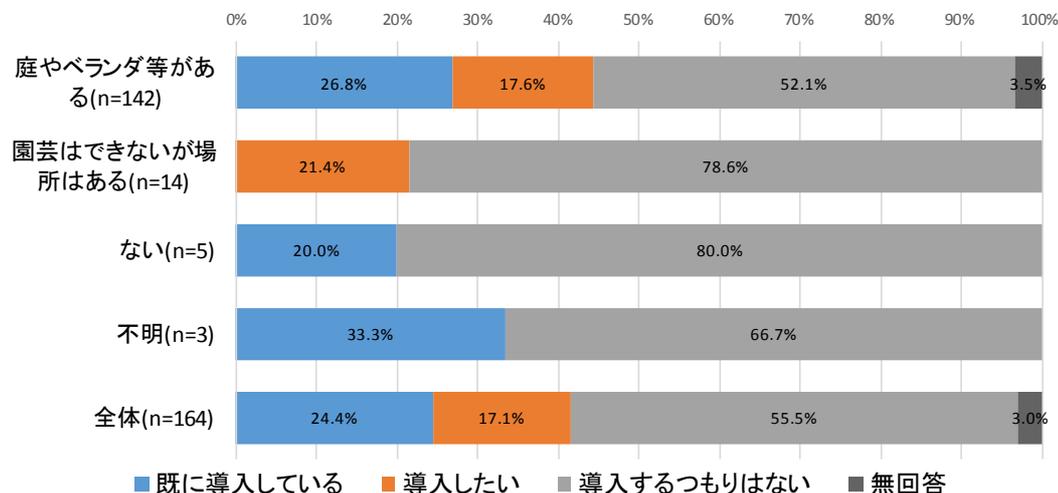
●問1-5：世帯構成 × 問6：省エネ設備導入状況 ⑦高効率型給湯器または燃料電池



3.3.1.2 庭やベランダの有無別にみた屋上庭園・緑のカーテン導入状況

- 庭の有無別に屋上庭園・緑のカーテンの導入状況を見ると、園芸等可能な庭やベランダがある回答者で導入済みの割合は3割に満たない結果となっており、また、その過半数が導入するつもりはないと回答している。

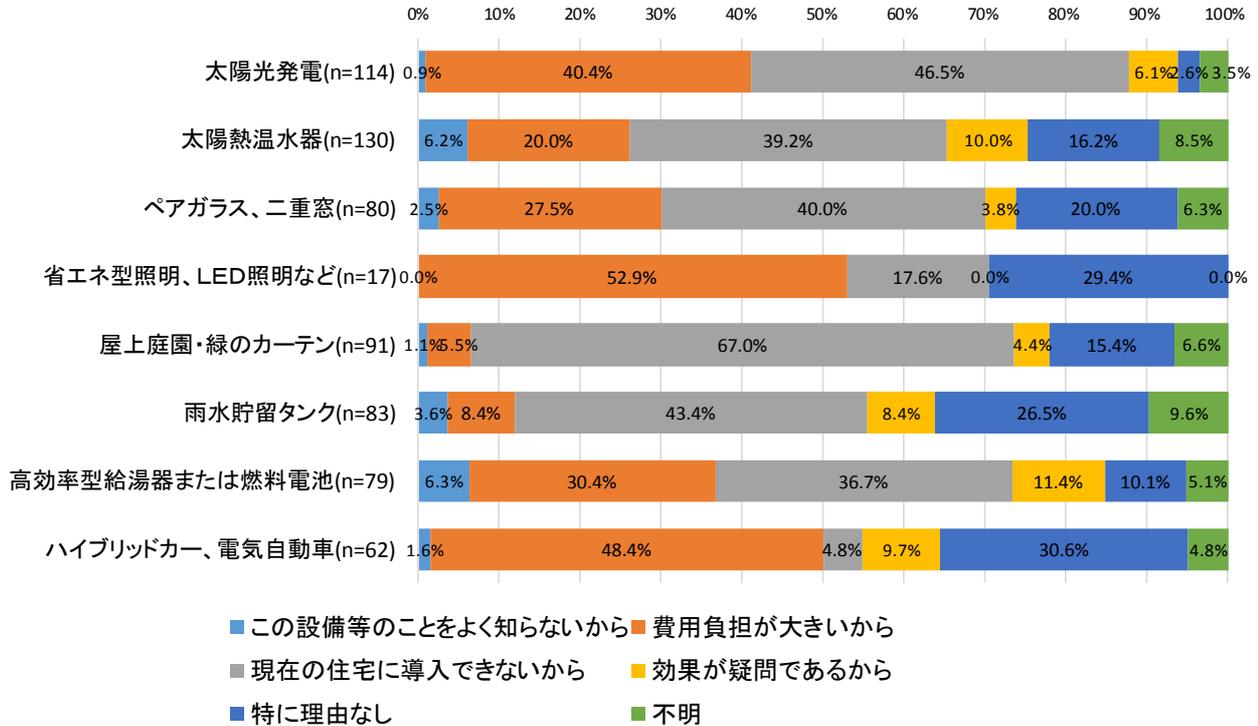
●問2-5：庭やベランダなどの有無 × 問6：省エネ設備導入状況 ⑤屋上庭園・緑のカーテン



3.3.2 導入しない理由

- 省エネ設備の導入状況について尋ねた設問で、導入するつもりはないと答えた回答者に対し、その理由を尋ねた結果は下表の通りである。
- 全体的に、現在の住宅に導入できないからと、費用負担が大きいためという回答が多い。
- 反対に、この設備等のことをよく知らないから、効果が疑問であるからを理由に選んだ回答者は今回の調査結果では少ない。

●問6. 省エネルギー設備等の「導入するつもりはない」の理由

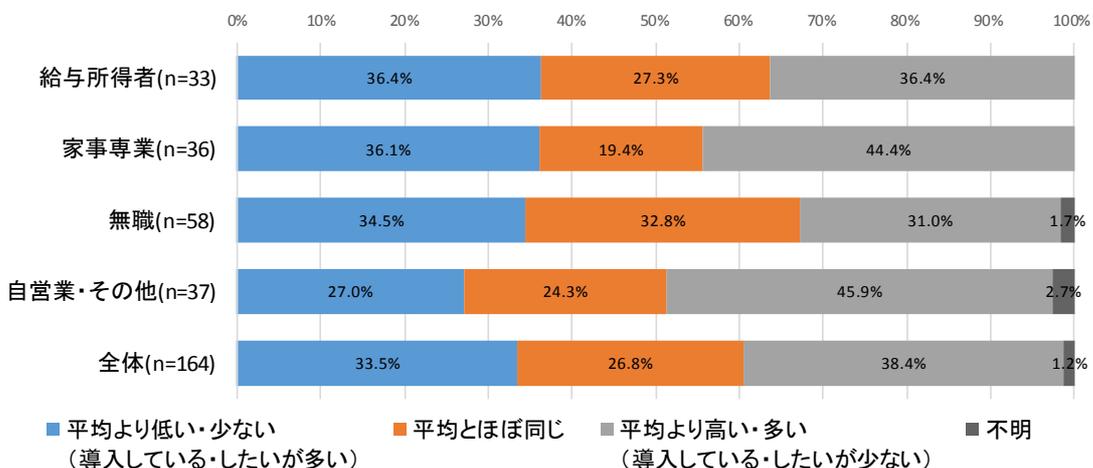


3.3.3 ポイント集計結果

3.3.3.1 職業別

- 回答者の職業別にみると、自営業・その他の回答者で、省エネ設備全体的な導入状況・導入意向が低くなる傾向がみられる。

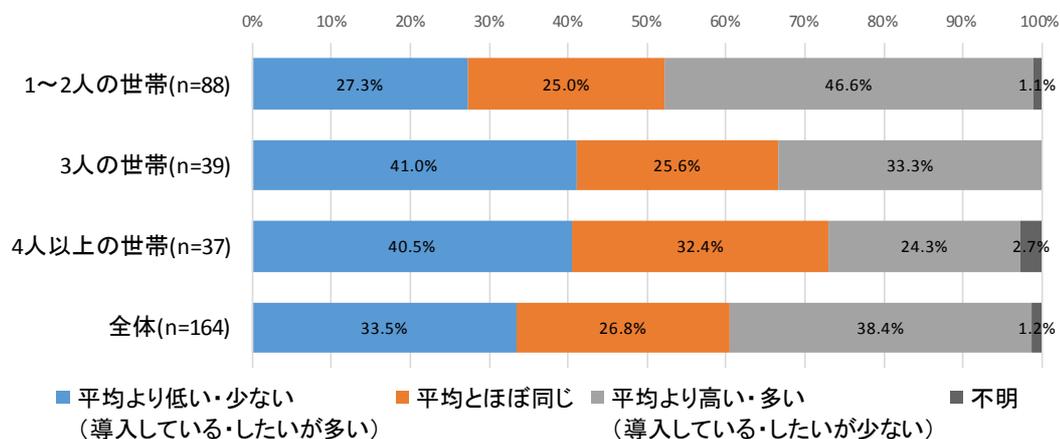
●問1-3：職業（再区分） × 問6：省エネ設備導入状況ポイント集計



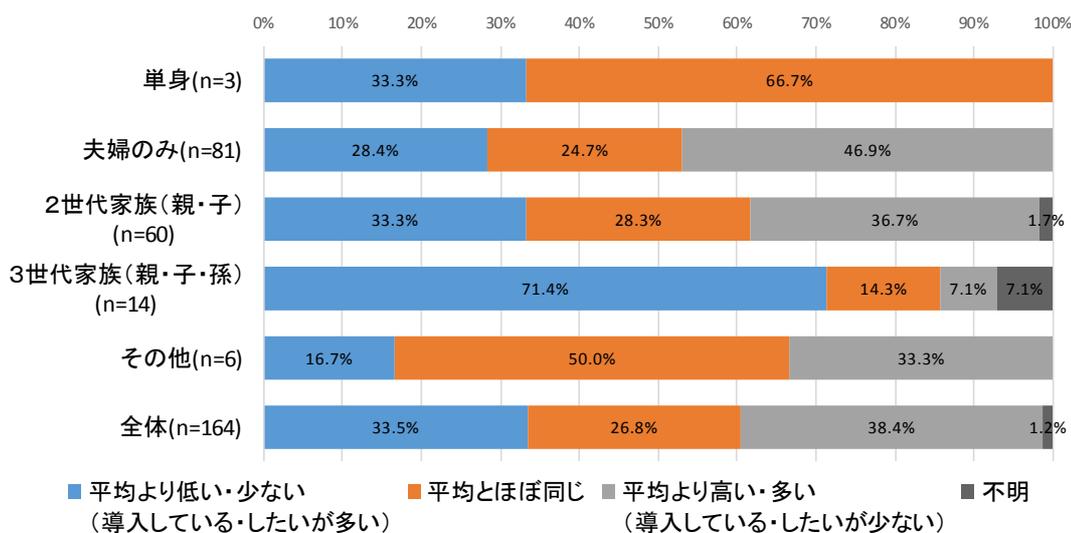
3.3.3.2 世帯人数・世帯構成別

- 世帯人数別にみると、世帯人数が多くなるほど、省エネ設備全般を導入している割合、導入したい意向が高くなる傾向がみられる。
- 世帯構成別にみると、3世代家族の回答者で導入している・導入したいの回答割合が、夫婦のみ世帯や2世代家族よりも高くなる傾向がみられる。

● 問1-4：世帯人数 × 問6：省エネ設備導入状況ポイント集計



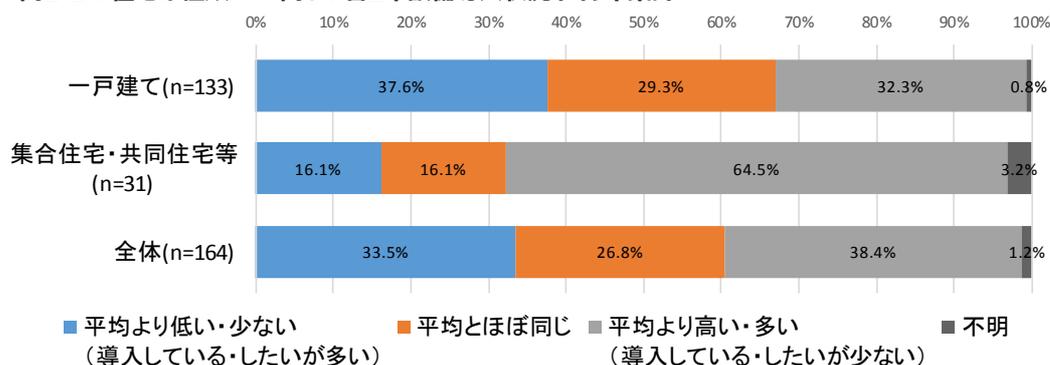
● 問1-5：世帯構成 × 問6：省エネ設備導入状況ポイント集計



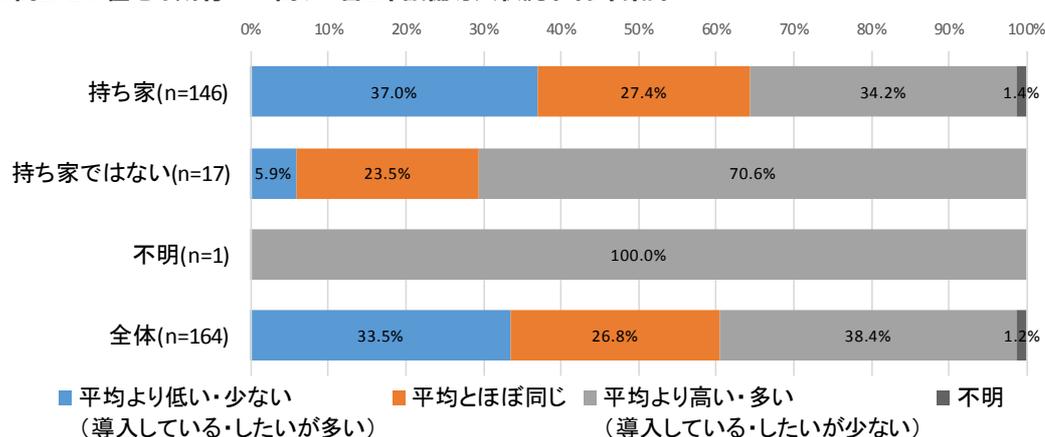
3.3.3.3 住宅の種類・所有形態・築年数・延べ床面積別

- 住宅の種類と所有形態別にみると、一戸建て、持ち家で省エネ設備全般の導入している割合や導入したいという意向が高くなる傾向がみられる。
- 反対に、集合住宅や持ち家でない層では、導入するつもりはないが多くなる傾向が顕著に表出している。
- 住宅の築年数別にみると、新しい家に住む層ほど導入している・導入したいが多くなる傾向がみられる。
- また、住宅建物の延べ床面積別にみると、広い住宅に住む層ほど導入している・導入したいが多くなる傾向がみられる。

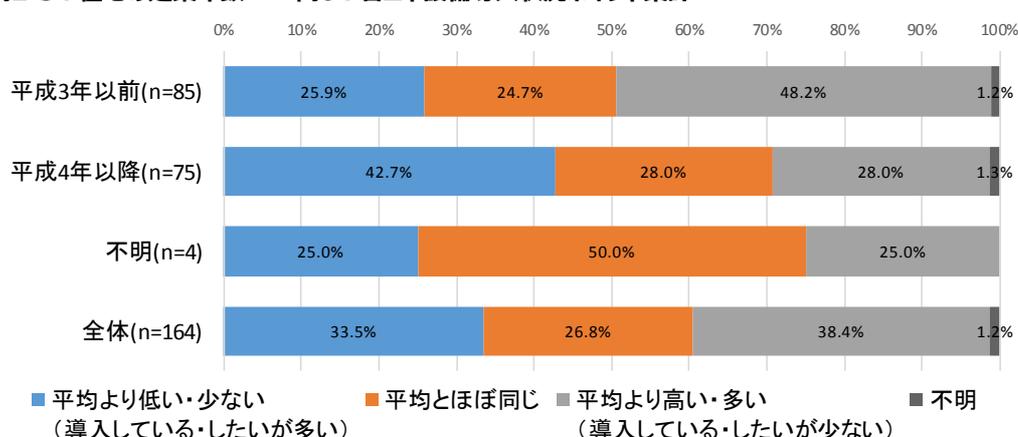
●問2-1：住宅の種類 × 問6：省エネ設備導入状況ポイント集計



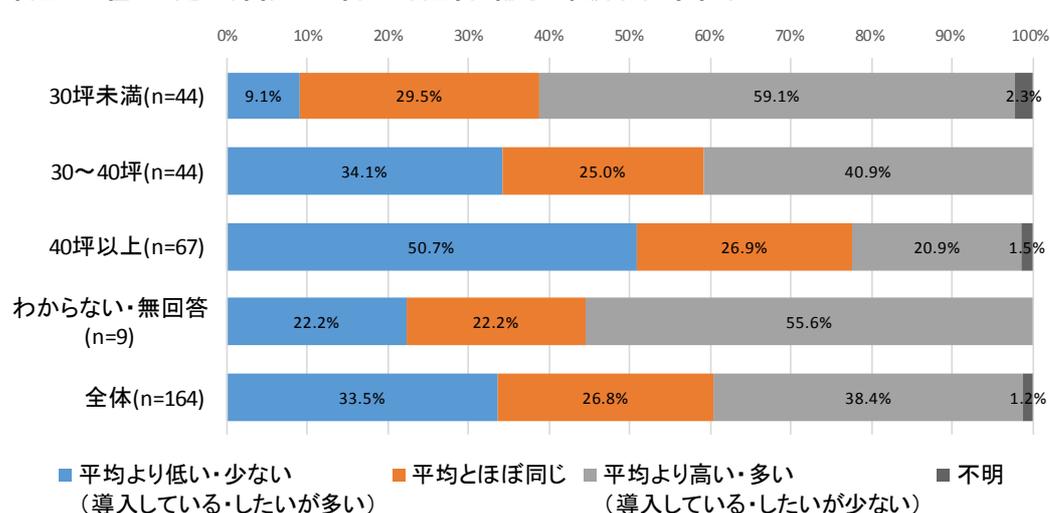
●問2-2：住宅の所有 × 問6：省エネ設備導入状況ポイント集計



●問2-3：住宅の建築年数 × 問6：省エネ設備導入状況ポイント集計



●問2-4：住宅の延べ床面積 × 問6：省エネ設備導入状況ポイント集計



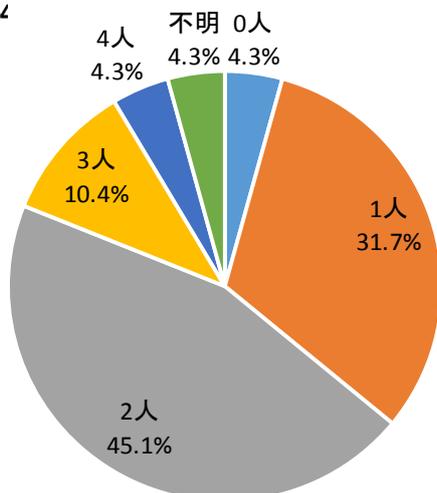
3.4 車の使用状況

3.4.1 車を日常的に使用する家族の人数と所有する車の台数

- 今回の調査回答者の半数近くが家庭で日常的に車を使う家族の人数は2人と回答しており、次いで日常的な使用は1人という回答が3割で多くなっている。
- 所有している車の台数は1台の家庭が約4割、2台の家庭が約3割、3台以上が約2割となっており、0台という家庭は164名中6名のみとなっている。
- 所有している車のほとんどがガソリン車である。
- 省エネ設備等の導入状況についての設問で、ハイブリッドカー、電気自動車を既に導入していると答えた回答者は、164名中34名・約3割という結果になっている。
- 車を1台所有している層では約2割がハイブリッドカー、電気自動車を導入済みであり、2台所有している層では約3割、3台以上の車を所有している層では1～2割にとどまっている。
- また、車を3台以上所有している層ではハイブリッドカー、電気自動車を（これから）導入したいという回答が6割弱を占めている。

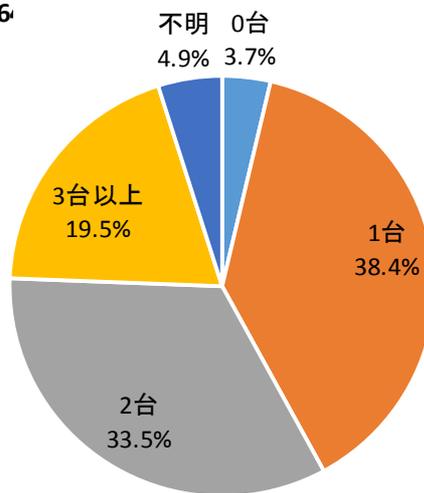
●問7-1)-2日常的に車を使う家族の人数

(n=164)



●問7-1)-3車の台数(分類項目)

(n=16)



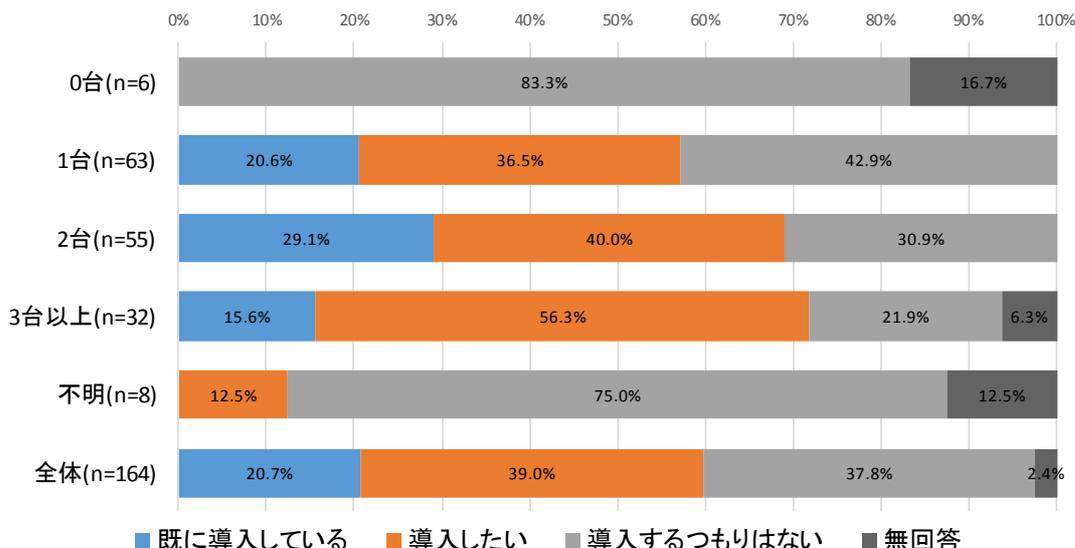
●問7-1)-2日常的に車を使う家族の人数 × 問7-1)-1車の免許を持つ家族の人数

項目	車の免許を持つ							
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	不明	計
日常的に使う	2	4	1					7
0人		27	20	4	1			52
1人		3	54	15	2			74
2人				12	4	1		17
3人					7			7
4人							7	7
不明								7
全体	2	34	75	31	14	1	7	164

●問7-1)-3車の台数

項目	1台	2台	3台	4台	8台	0台	不明	計
ガソリン車の台数	66	55	22	7	-	6	8	164
軽油車の台数	4	1	-	1	-	91	67	164
所有する車の台数	63	55	25	6	1	6	8	164

●問7-1：車の台数 × 問6：省エネ設備導入状況 ⑧ハイブリッドカー、電気自動車

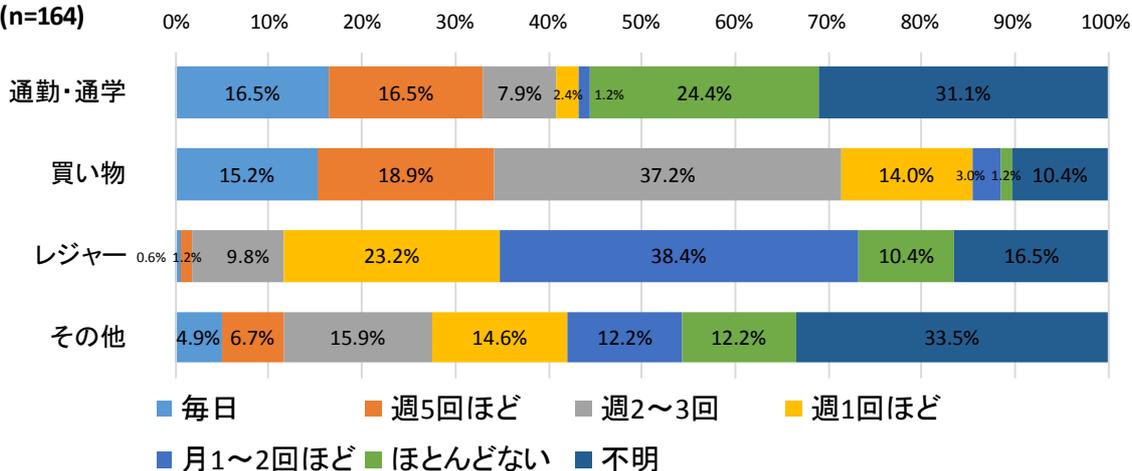


3.4.2 車の用途と使用頻度

- 車の用途と使用頻度について、通勤・通学で毎日または週 5 回ほど使用している回答者が全体の 3 割で、通勤・通学で利用することがほとんどないと答えた回答者は 2 割強となっている。
- 買い物で車を利用する頻度は週 2～3 回が 4 割弱と最も多いが、毎日または週 5 回ほど使用している回答者が合わせて 3 割強で、通勤・通学よりも利用される頻度が多い結果になっている。
- レジャーでの車の利用頻度は月 1～2 回が 4 割弱ほどで最も多く、次いで週 1 回ほどが 2 割強と多い。
- その他の用途で、毎日または週 5 回ほど車を利用している回答者が計 1 割ほどいる。

●問7-2)車の用途と使用頻度

(n=164)

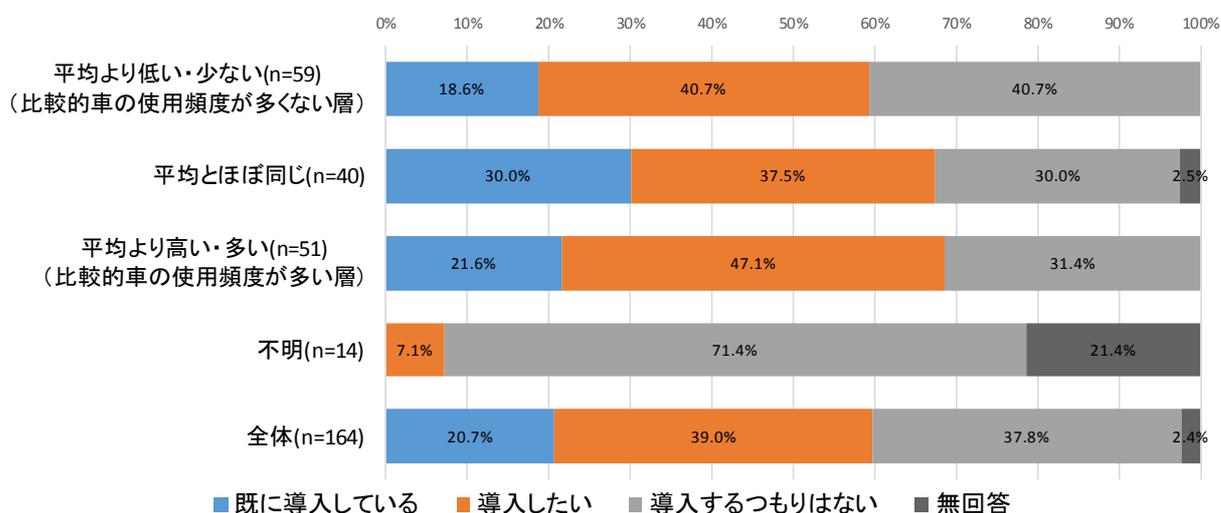


3.4.3 車の使用頻度のポイント集計

3.4.3.1 車の使用頻度別ハイブリッドカー、電気自動車の導入状況

- 車の使用頻度をポイント集計し、全般的な車の使用頻度の多くない層と多い層のハイブリッドカー、電気自動車を導入している割合をみると、導入済みは2割前後で大きな差はなく、（これから）導入したいという回答割合は使用頻度の多い層の方が高くなっている。

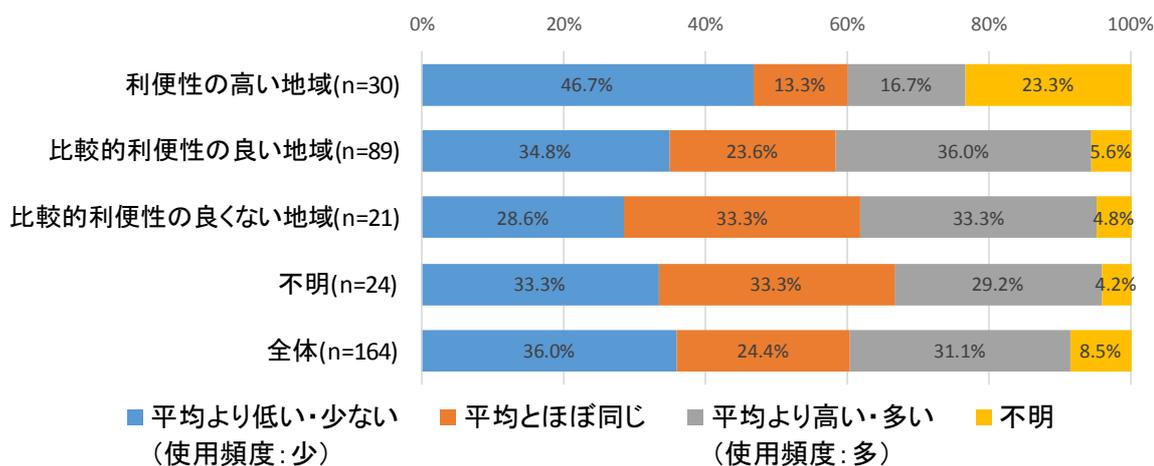
●問7-2：車の使用頻度ポイント集計 × 問6：省エネ設備導入状況 ⑧ハイブリッドカー、電気自動車



3.4.3.2 住まいの立地条件別の車の使用頻度

- 住まいの立地条件別に車の使用頻度を見ると、利便性の高い地域に居住する回答者ほど車の使用頻度が少なく、反対に比較的利便性の良くない地域ほど使用頻度が多くなる傾向がみられる。

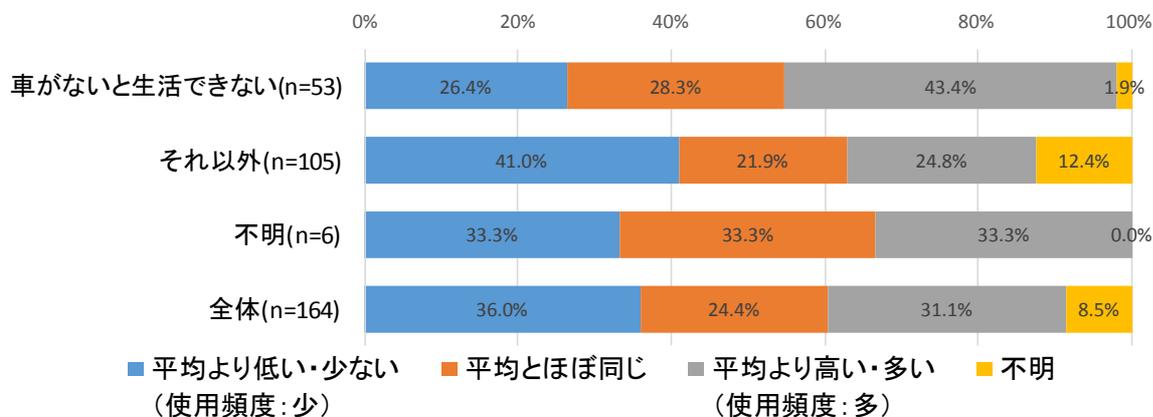
●問3-4) × 問3-6)交通の利便性における住まいの立地状況 × 問7-2)車の用途別使用頻度ポイント集計



3.4.3.3 車の必要性別車の使用頻度

- 車の必要性について尋ねた設問で、車がないと生活できないと答えた回答者は、それ以外（車がなくとも何とかなる選択肢を選んだ回答者）に比べて車の使用頻度が多くなる傾向がみられる。

●問3-5)車の必要性 × 問7-2)車の用途別使用頻度ポイント集計



3.4.4 車の燃料代

- 車の1か月の燃料代について尋ねた設問では、回答者全体で車1台あたり7,362円が平均燃料代となっている。
- 車を日常的に使う家族の人数と所有する車の台数の増加する数と、それら人数・台数に伴って1月の平均燃料代が増加していく割合は相似していることがわかる。

●問7-3)車の1か月の燃料代

項目	回答者数 ※	全回答者の平均	標準偏差	最低値	最高値
車1台あたりの1か月の平均燃料代	145	7,362円	4,510	0円	27,000円

※燃料代、車の台数の両方とも記入した回答者のみ抽出した数。

項目		回答者数	平均燃料代
日常的に使う家族	0人	7	1,000円
	1人	52	8,066円
	2人	74	13,313円
	3人	17	20,696円
	4人	7	43,571円
	不明	7	—
	全体	164	13,512円

項目		回答者数	平均燃料代
車の台数	0台	6	—
	1台	63	8,293円
	2台	55	13,330円
	3台	25	18,642円
	4台	6	49,167円
	8台	1	50,000円
	不明	8	—
	全体	164	13,512円

3.4.5 車の使用頻度別車の燃料代

- 1か月の車1台あたりの燃料代について、車の使用頻度が少ない回答者と、車の使用頻度が多い回答者を比べると、約400円の差（車の使用頻度が多い回答者の燃料代が高い）で今回の調査結果では大きな差になっていない。
- 居住地の公共交通機関の便が良いと思っている回答者とそうでない回答者を比べると、約700円差で交通の便が良くないと答えた回答者の燃料代が高い。
- 同様に車がないと生活できないと答えた回答者とそれ以外の回答者を比べると、約900円差で車がないと生活できない回答者の燃料代が高い。
- 住まいの立地別に燃料代をみると、幹線道路（国道等）からも市街地からも離れた場所に住む回答者の燃料代が一番高く、次に都市部や市街地の中に住む回答者の燃料代が高い。また、幹線道路から離れているが市街地の近くに住む回答者の燃料代が一番低い平均値になっている。

●7-2)車の用途別使用頻度ポイント集計結果別燃料代

項目	回答者数	平均燃料代
平均より低い・少ない (使用頻度:少)	59	6,784円
平均とほぼ同じ	40	8,773円
平均より高い・多い (使用頻度:多)	51	7,197円
全体	154	7,362円

●問3-4)公共交通機関の利便性別車の燃料代

項目	回答者数	平均燃料代
交通の便が良いと思う	87	7,048円
あまり良くないと思う	62	7,742円
どちらでもない	9	7,960円
不明	6	6,688円
全体	164	7,362円

●問3-5)車の必要性別車の燃料代

項目	回答者数	平均燃料代
車がないと生活できない	53	7,944円
それ以外	105	7,071円
無回答	6	6,688円
全体	164	7,362円

●問3-6)住まいの立地別車の燃料代

項目	回答者数	平均燃料代
都市部や市街地の中	33	7,765円
市街地の周辺部	77	7,309円
交通量の多い幹線道路(国道等)から離れているが市街地の近くにある場所	19	6,775円
交通量の多い幹線道路(国道等)からも市街地からも離れた場所	20	7,933円
その他(どれでもない)	9	7,499円
不明	6	6,132円
全体	164	7,362円

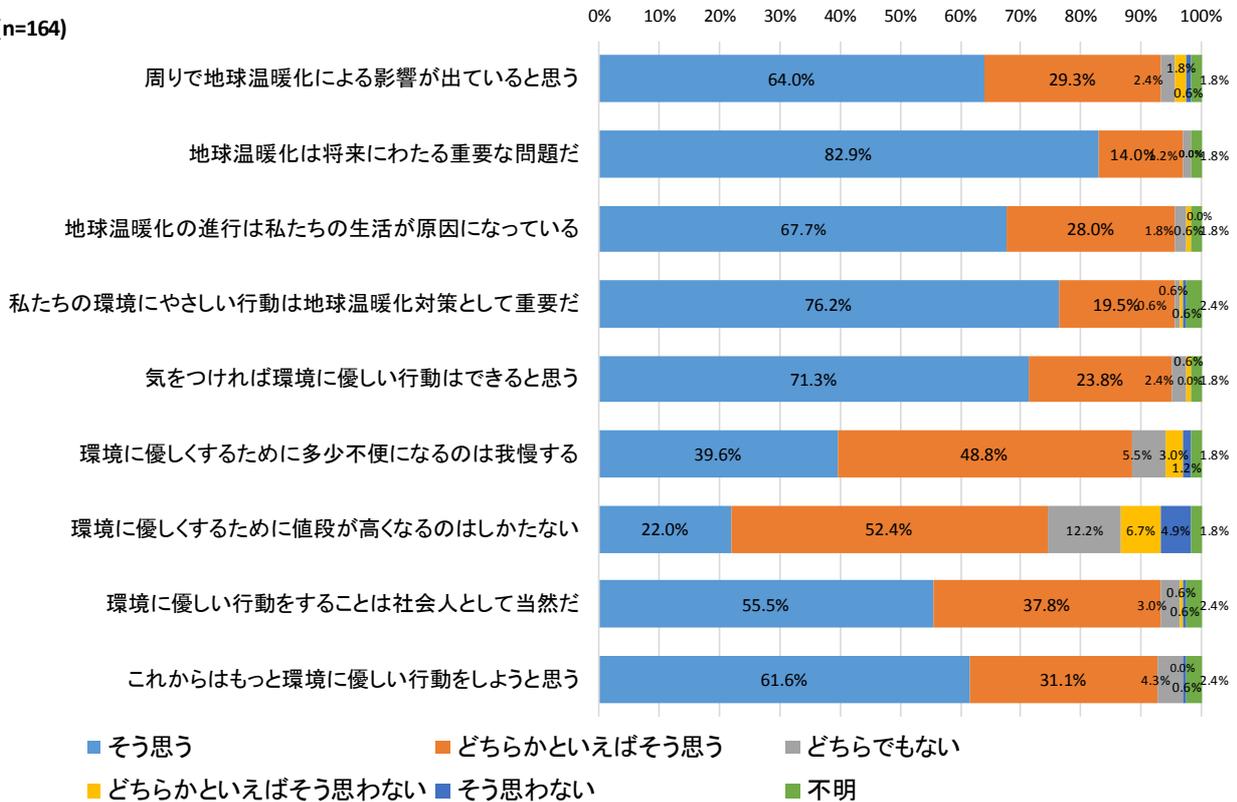
3.5 地球温暖化や環境に対する問題意識

3.5.1 地球温暖化問題や環境問題についての認識状況

- 地球温暖化や環境に対する認識について尋ねた設問では、温暖化や環境問題の重要性等を全般的に肯定する回答者が多数を占めている。
- その中で、環境に優しくするために多少不便になるのは我慢する、環境に優しくするために値段が高くなるのはしかたないの2項目は、他の項目に比べてそう思うの割合が少なく、どちらでもないの割合が多い。

●問8. 地球温暖化に対する認識

(n=164)

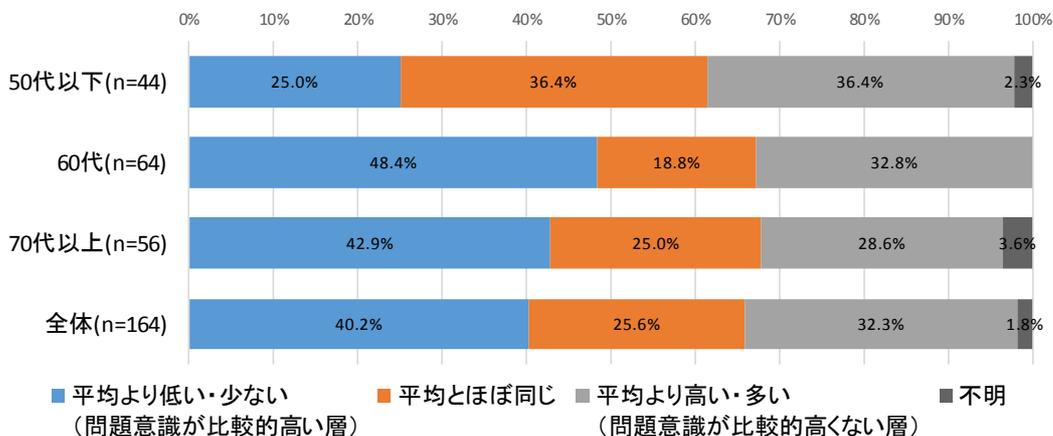


3.5.2 ポイント集計

3.5.2.1 年齢別

- 年齢別に地球温暖化に対する問題意識のポイント集計結果をみると、60代、70代以上に比べて、50代以下で問題意識の高い層が占める割合が少なくなっており、年齢の若い層ほど問題意識が低くなる傾向が見られる。

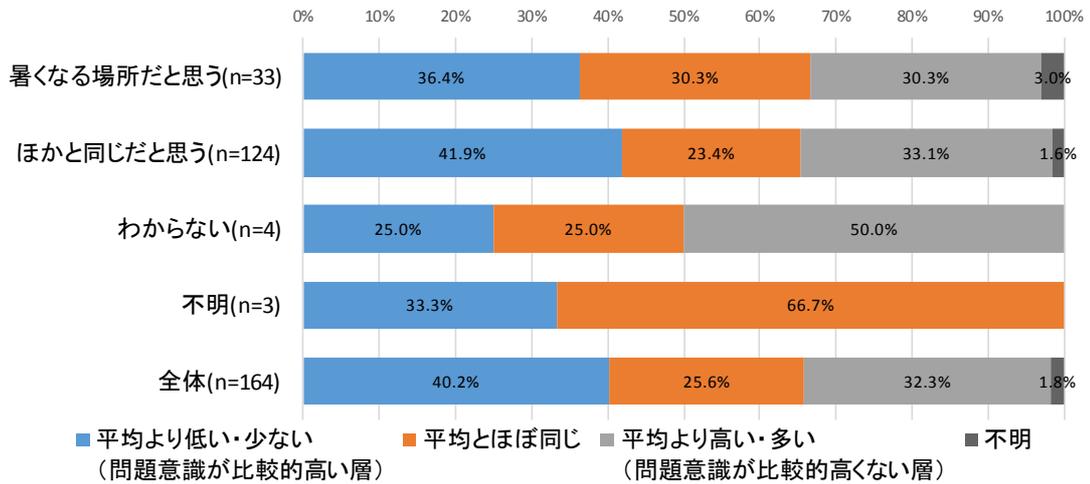
●問1-2：年齢（再区分） × 問8：地球温暖化や環境に対する問題意識ポイント集計



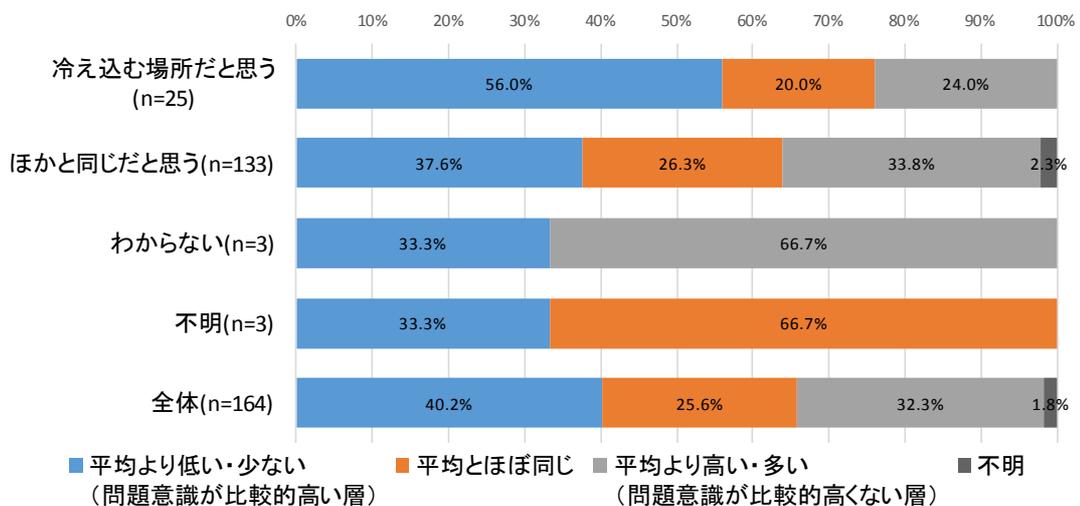
3.5.2.2 住んでいる場所の夏・冬の気候別

- 住んでいる場所の夏・冬の気候別に見ると、夏に県内のほかの場所より暑くなると感じている回答者では問題意識が比較的高い層は4割弱であるが、冬にほかの場所より寒くなると感じている回答者では6割弱と大きく上回る結果になっている。
- 県内でもやや寒冷な地域性をもつ場所に住む人や、寒さに敏感な人の方が温暖化に対する問題意識が高くなる傾向がみられる。

● 問3-2：住んでいる場所の夏の気候 × 問8：地球温暖化や環境に対する問題意識ポイント集計



● 問3-3：住んでいる場所の冬の気候 × 問8：地球温暖化や環境に対する問題意識ポイント集計

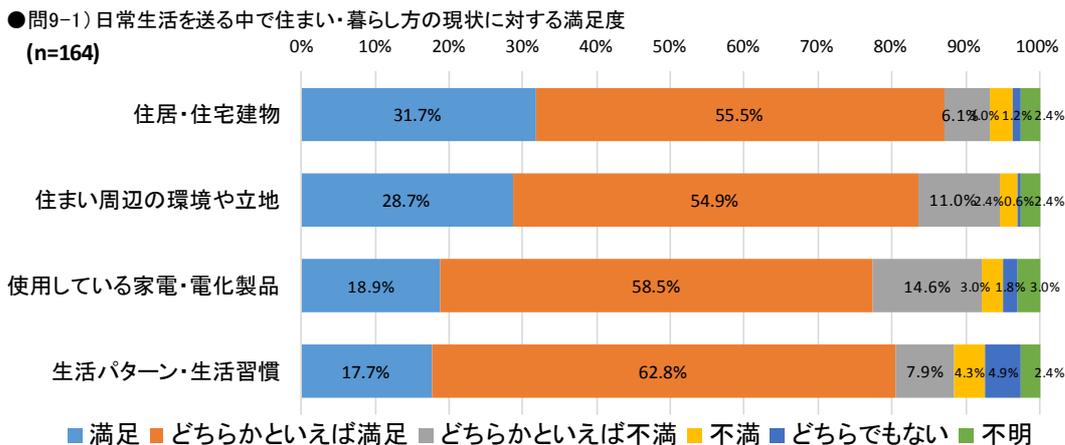


3.6 住まい・暮らし方に対する評価

3.6.1 現在の住まい・暮らし方の満足度

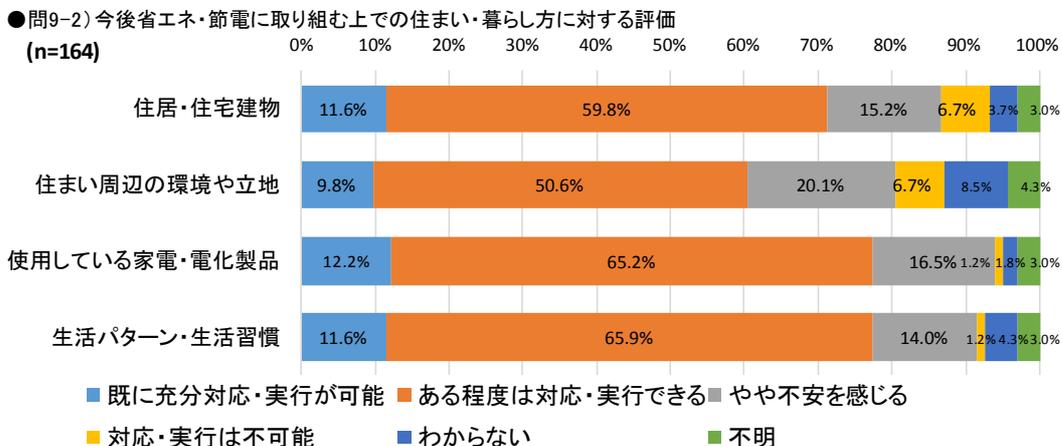
- 日常生活を送る中で、下枠内 4 項目それぞれの現状に対する満足度を尋ねたところ、いずれの項目も満足・どちらかといえば満足と答えた回答者が合わせて 7~9 割を占め、今回の調査回答者の日常生活に対する満足度は全般的高くなっていることがわかる。

① 住居・住居建物	… 賃貸／持ち家、断熱性、風通し、日当たり 等のこと
② 住まい周辺の環境や立地	… 気候・地理的条件、自然環境、交通の便 等のこと
③ 使用している家電・電化製品	… 新しい／古い、消費電力、性能、台数 等のこと
④ 生活パターン・生活習慣	… 衣食住に係る時間・費用やその志向性 等のこと



3.6.2 省エネ・節電を行う上での住まい・暮らし方に対する評価

- 同じく 4 項目について、省エネ・節電に取り組む上ではどのように評価するか尋ねた設問では、既に充分対応・実行が可能、またはある程度対応・実行できるという答えた回答者が 6~8 割を占め、こちらの評価も全体的に高くなっている。
- 上記・満足度に比べると省エネに取り組む上での評価は若干低くなる傾向がみられ、特に住まい周辺の環境や立地、住居・住宅建物に対する省エネ評価が満足度より低くなっており、家電・電化製品、生活パターン・生活習慣よりも肯定的に評価する割合が小さくなっている。

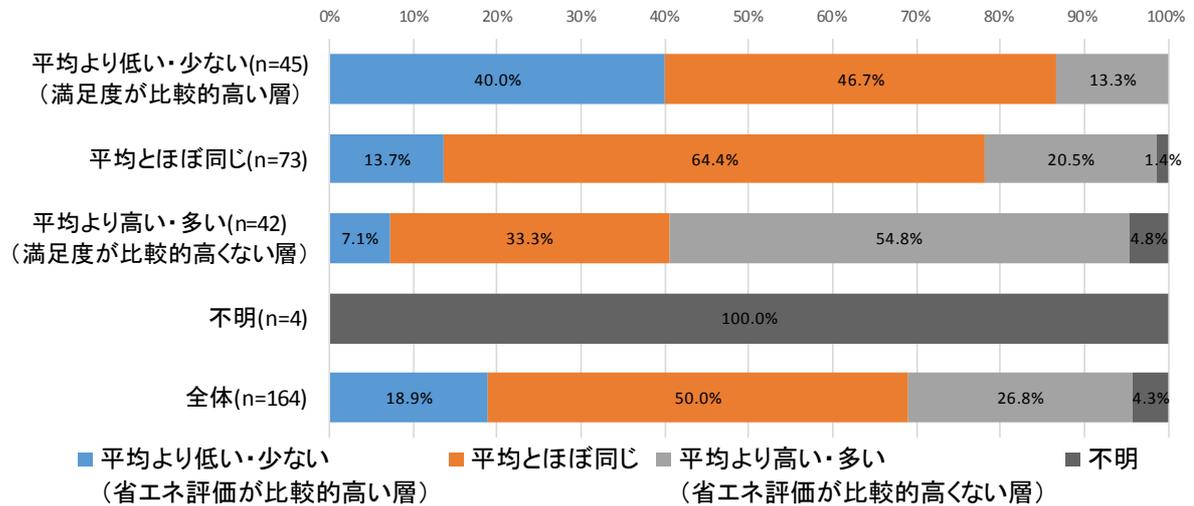


3.6.3 ポイント集計

3.6.3.1 住まい・暮らし方の満足度別省エネ評価

- 住まい・暮らし方の4項目を満足度によるポイント集計を行った結果と、4項目の省エネ評価をポイント集計した結果を掛け合わせると、満足度が高い層ほど省エネ評価も高くなる傾向がみられる。

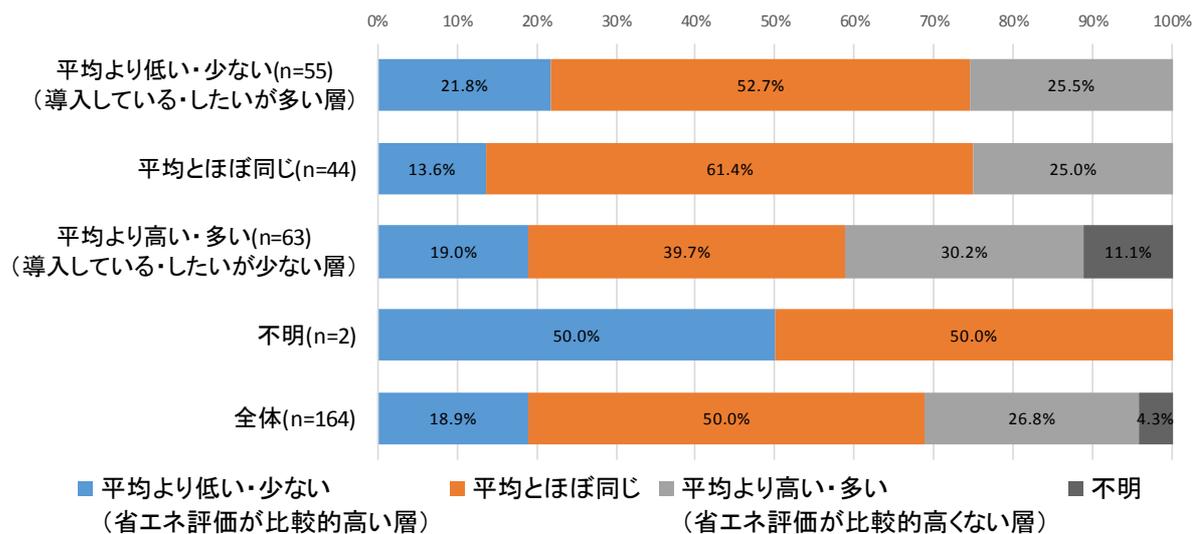
●問9-1：住まい・暮らし方の満足度ポイント集計 × 問9-2：住まい・暮らし方の省エネ評価ポイント集計



3.6.3.2 省エネ設備等導入状況別

- 省エネ設備等導入状況のポイント集計結果別に、住まい・暮らし方に対する省エネ評価のポイント集計結果をみると、省エネ設備を導入している・導入したいが多い層ほど、住まい・暮らし方の現状に対する省エネ評価も高くなる傾向が見られる。

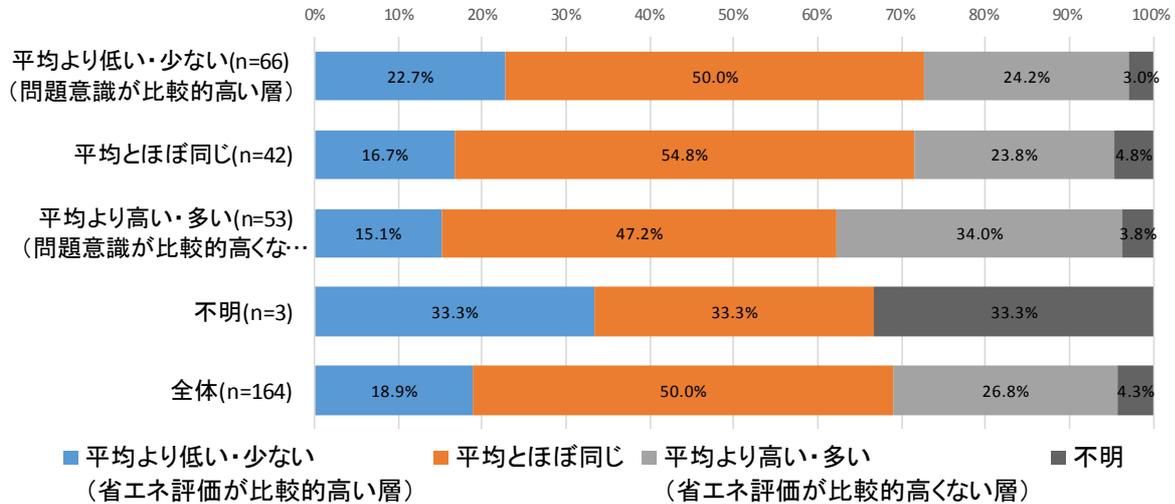
●問6：省エネ設備導入ポイント集計 × 問9-2：住まい・暮らし方の省エネ評価ポイント集計



3.6.3.3 地球温暖化や環境に対する問題意識別

● 地球温暖化や環境に対する問題意識のポイント集計結果別に省エネ評価のポイント集計結果をみると、温暖化に対する問題意識の高い層ほど、住まい・暮らし方に対する省エネ評価も高くなる傾向が見られる。

● 問8：地球温暖化に対する問題意識ポイント集計 × 問9-2：住まい・暮らし方の省エネ評価ポイント集計

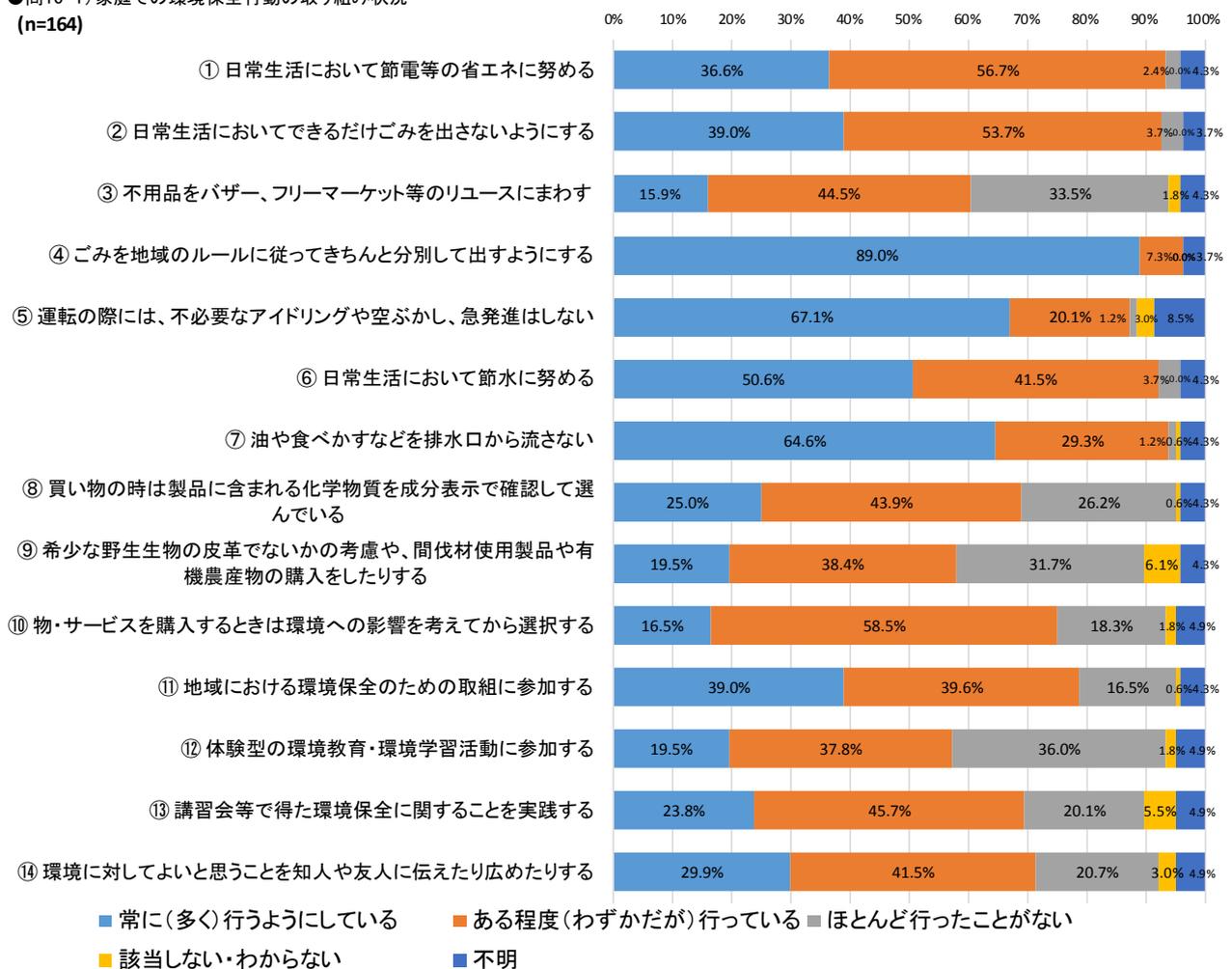


3.7 環境保全行動の取り組み状況

3.7.1 取り組み状況全般

- 環境保全行動・14項目について、家庭で行っているか否か尋ねた設問で、14項目全般的に常に（多く）行うようにしている、ある程度（わずかだが）行っているがほとんどを占めており、今回の回答者の多くが環境保全行動によく取り組んでいることがわかる。
- 特に、④ごみを地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにする、⑤運転の際には、 unnecessaryなアイドリングや空ぶかし、急発進はしない、⑦油や食べかすなどを排水口から流さない、⑥日常生活において節水に努めるの4項目は常に（多く）行うようにしているの割合が9～5割で、14項目の中でもよく取り組まれている行動になっている。
- 反対に、14項目の中でほとんど行ったことがないの回答割合が比較的高いものは、⑫体験型の環境教育・環境学習活動に参加する、③不用品をバザー、フリーマーケット等のリユースにまわす、⑨希少な野生生物の皮革でないかの考慮や、間伐材使用製品や有機農産物の購入をしたりするの3項目となっている。

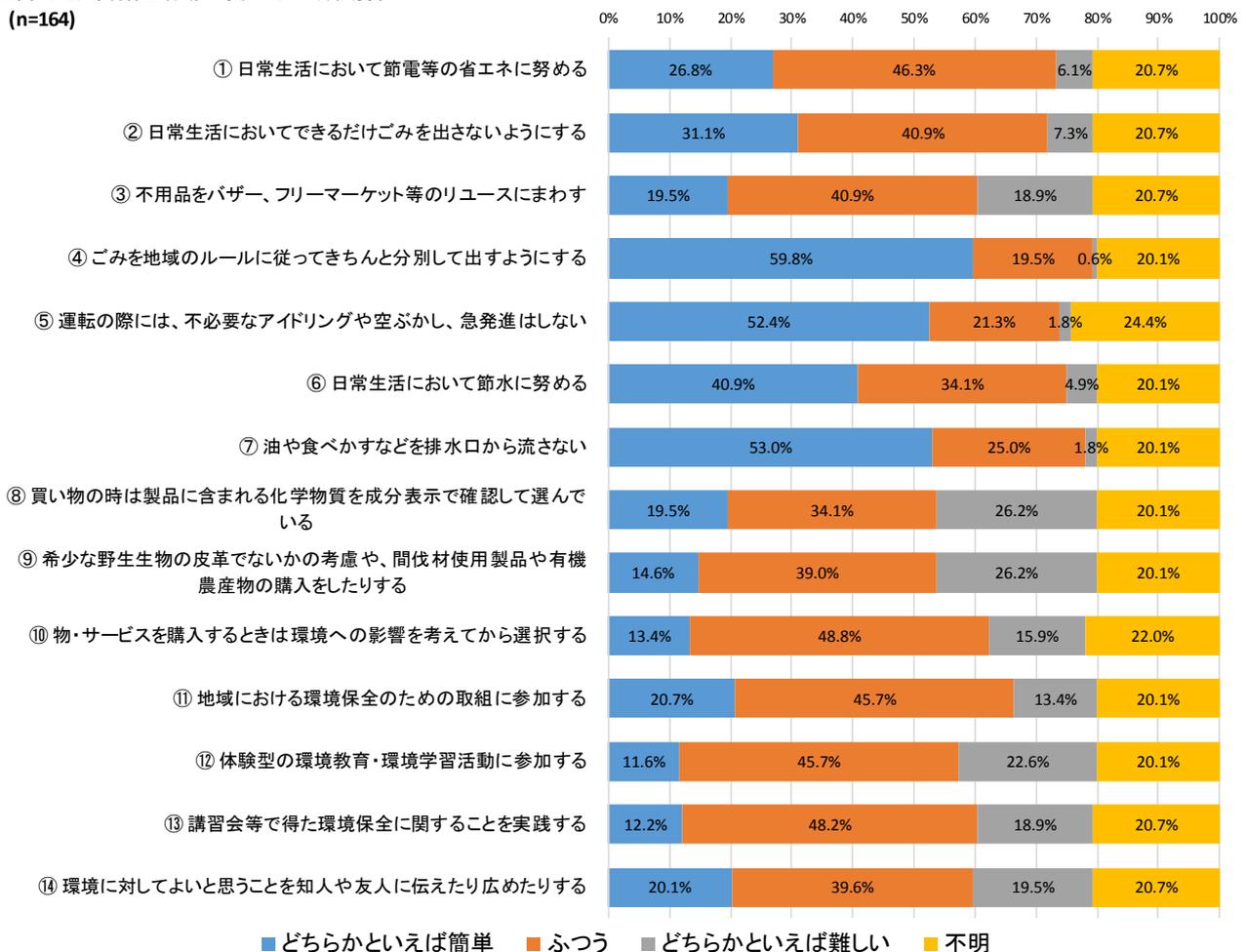
●問10-1) 家庭での環境保全行動の取り組み状況
(n=164)



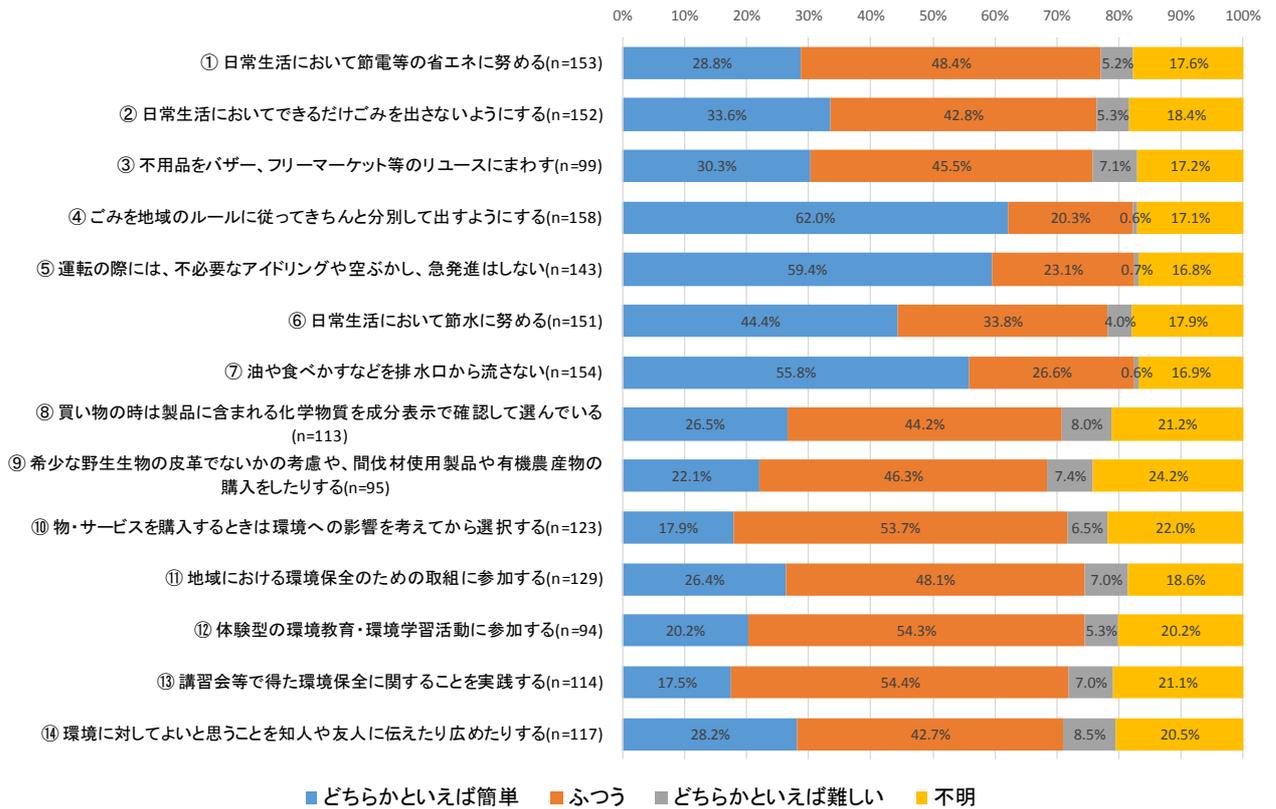
3.7.2 取り組みの難易度

- 環境保全行動 14 項目について、家庭で取り組む上での難易度を尋ねた設問では、全般的に選択肢・ふつうを選ぶ回答者多くなっている。
- その中でどちらかといえば簡単な回答割合が高かったものは、よく取り組まれている 4 項目であげた④ごみを地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにする、⑦油や食べかすなどを排水口から流さない、⑤運転の際には、 unnecessary アイドリングや空ぶかし、急発進はしない、⑥日常生活において節水に努めるであり、簡単と答えた回答者が 6~4 割を占めている。
- 反対に、どちらかといえば難しいの回答割合が高かった項目は、⑧買い物の時は製品に含まれる化学物質を成分表示で確認して選んでいる、⑨希少な野生生物の皮革でないかの考慮や、間伐材使用製品や有機農産物の購入をしたりする、⑫ 体験型の環境教育・環境学習活動に参加するの 3 項目であり、あまり取り組まれていない項目としてあげられものになっている。
- 環境保全行動それぞれについて、「行っている（常に行っている・ある程度行っているの合計）」と「ほとんど行ったことがない」別に難易度をみると、ほとんど行ったことがないと答えた回答者は、14 項目いずれにおいても簡単と答えた回答者はほとんどなく、難しいまたはふつうと答えた回答者が多くなっている。

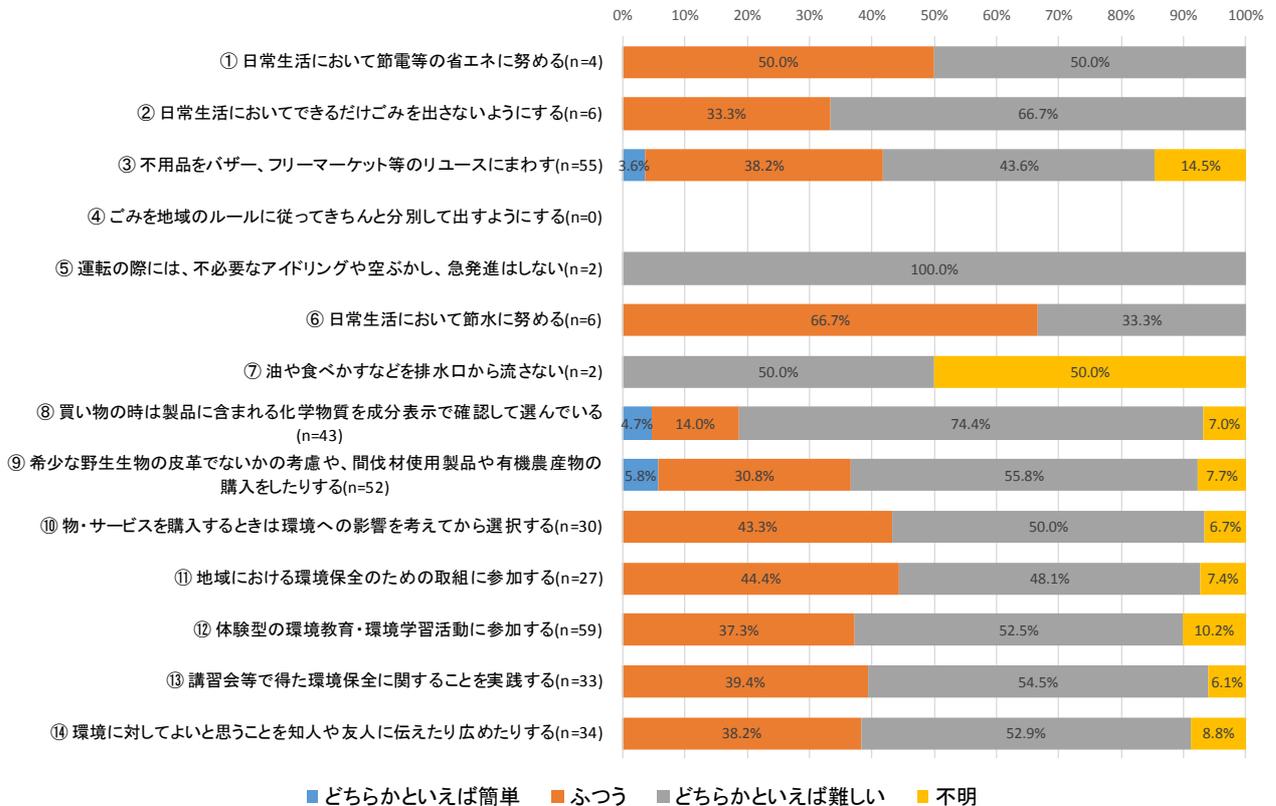
●問10-2) 環境保全行動の家庭における難易度 (n=164)



●問10：環境保全行動を「常に／ある程度行っている」のその難易度



●問10：環境保全行動を「ほとんど行っていない」のその難易度

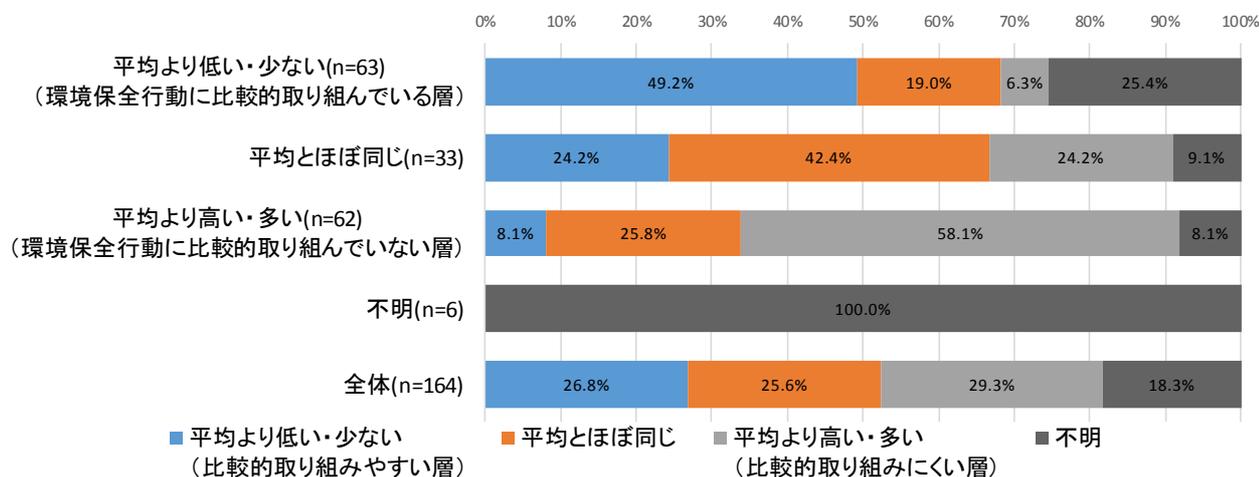


3.7.3 ポイント集計

3.7.3.1 環境保全行動の取り組み状況別難易度

- 環境保全行動の取り組み状況のポイント集計結果別に環境保全行動の難易度のポイント集計結果を見ると、よく取り組んでいる層ほど、取り組むことが簡単と答えた項目が多くなっていることがうかがえる。

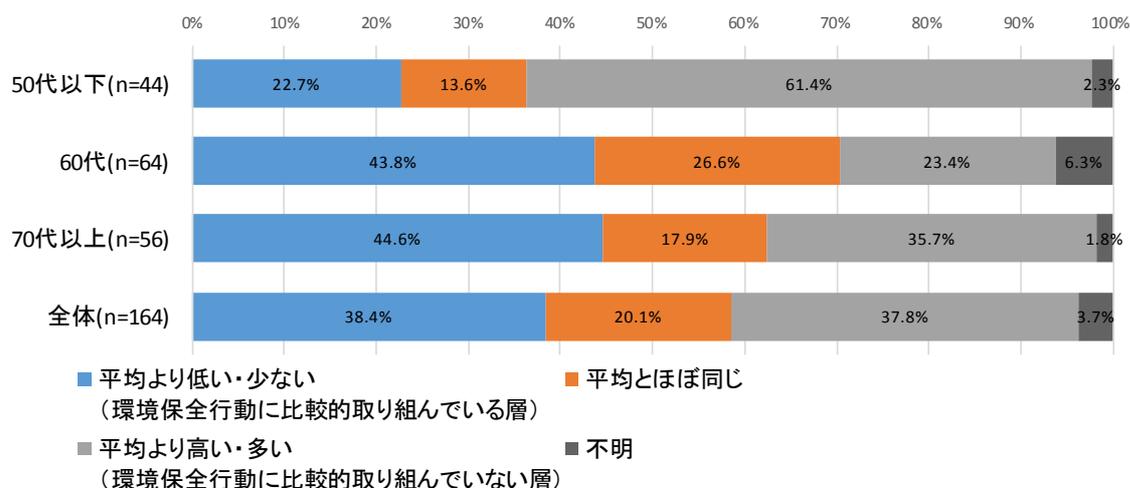
●問10-1：環境保全行動取り組み状況ポイント集計 × 問10-2：環境保全行動の難易度ポイント集計



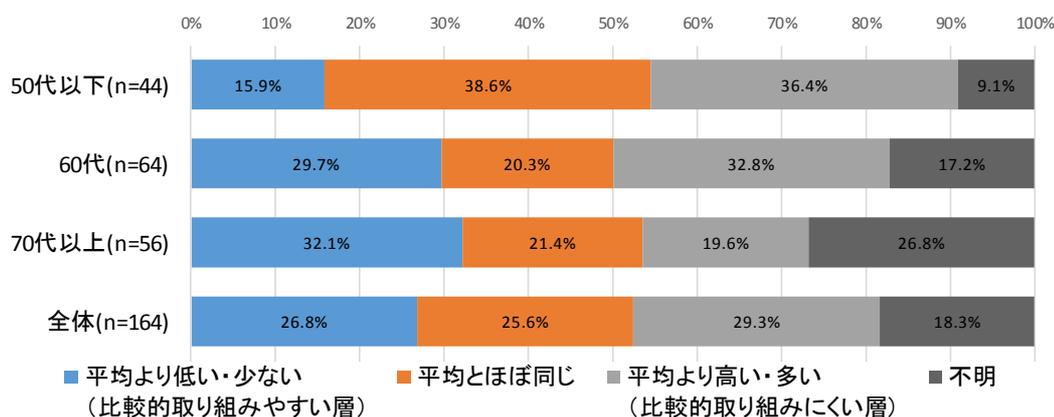
3.7.3.2 年齢別

- 年齢別に取り組み状況のポイント集計結果を見ると、50代以下と60代・70代以上とでは、よく取り組んでいる層の割合に顕著な差があり、年齢が若くなるほど環境保全行動に取り組まれていない傾向がうかがえる結果になっている。
- 一方、難易度のポイント集計結果を年齢別にみると、取り組み状況同様に年齢が若くなるほど取り組むことが簡単と答えた層が少なくなる傾向がみられるが、取り組み状況ほど大きな差とはなっていない。

●問1-2：年齢（再区分） × 問10-1：環境保全行動の取り組み状況ポイント集計



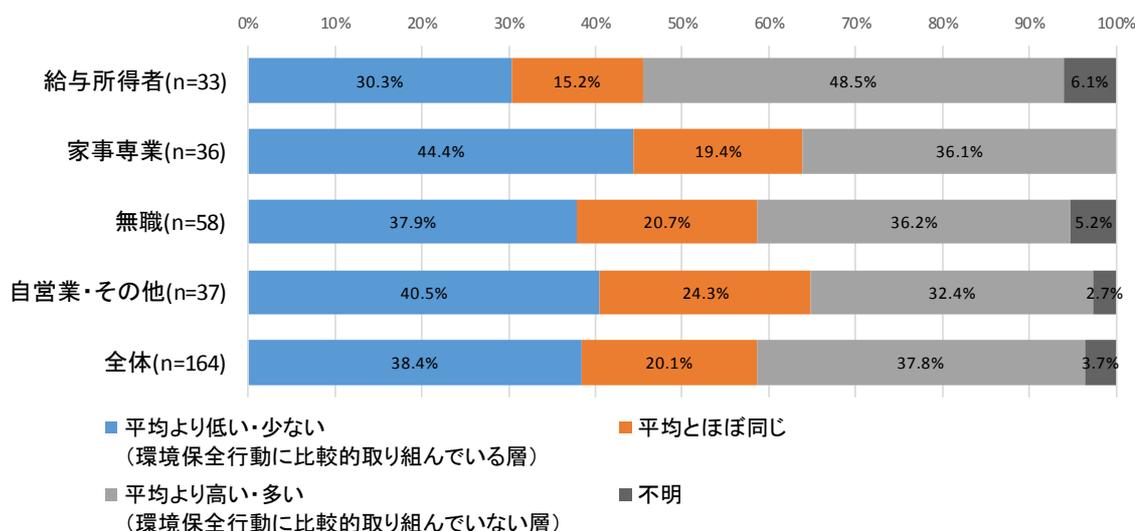
●問1-2：年齢（再区分） × 問10-2：環境保全行動の難易度ポイント集計



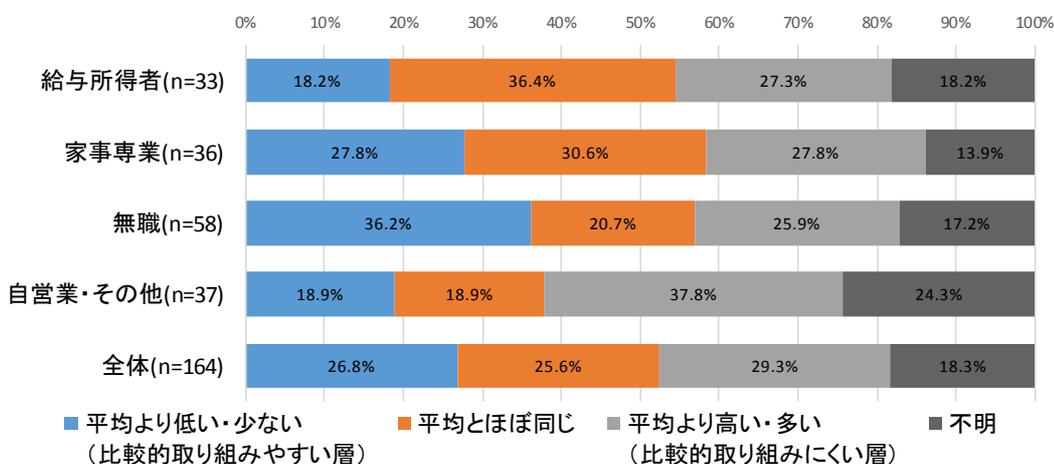
3.7.3.3 職業別

- 職業別に取り組み状況見ると、給与所得者で、よく取り組んでいる割合が低くなる傾向が見られる。
- 職業別に難易度を見ると、給与所得者で取り組みにくい層はそれほど多くなく、自営業・その他で取り組みにくいと答える回答者が多くなる傾向が見られる。

●問1-3：職業（再区分） × 問10-1：環境保全行動の取り組み状況ポイント集計



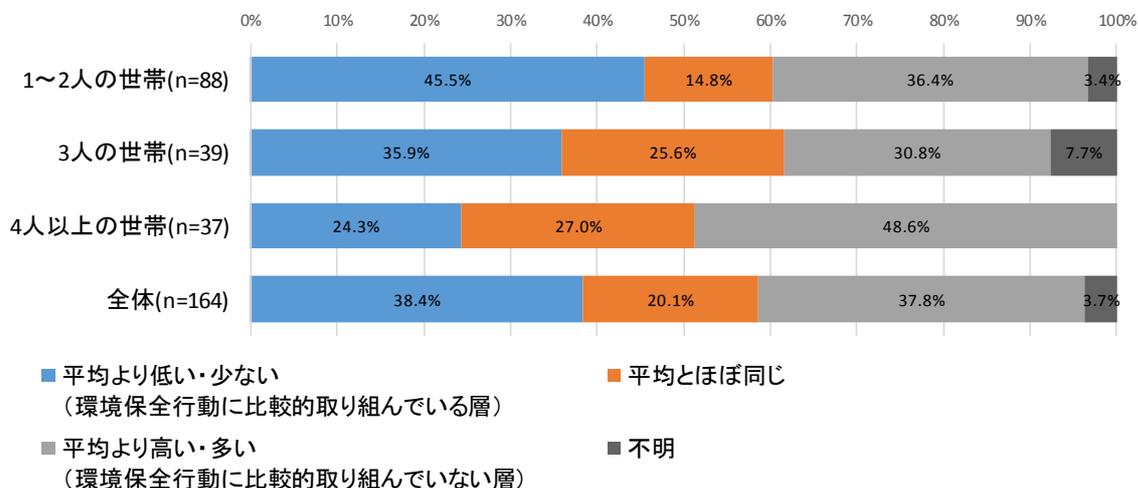
●問1-3：職業（再区分） × 問10-2：環境保全行動の難易度ポイント集計



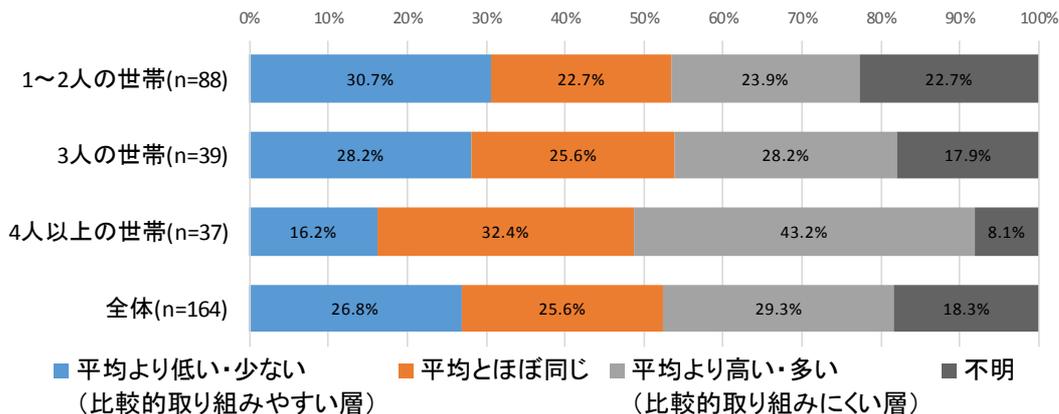
3.7.3.4 世帯人数・世帯構成別

- 世帯人数別にみると、人数が多くなるほどよく取り組まれる割合が小さくなり、また、難易度においても人数が多くなるほど取り組みにくくなる傾向が見られる。
- また、取り組み状況、難易度とも、3世代家族のよく取り組んでいる割合、取り組みにくくなる割合が大きい。

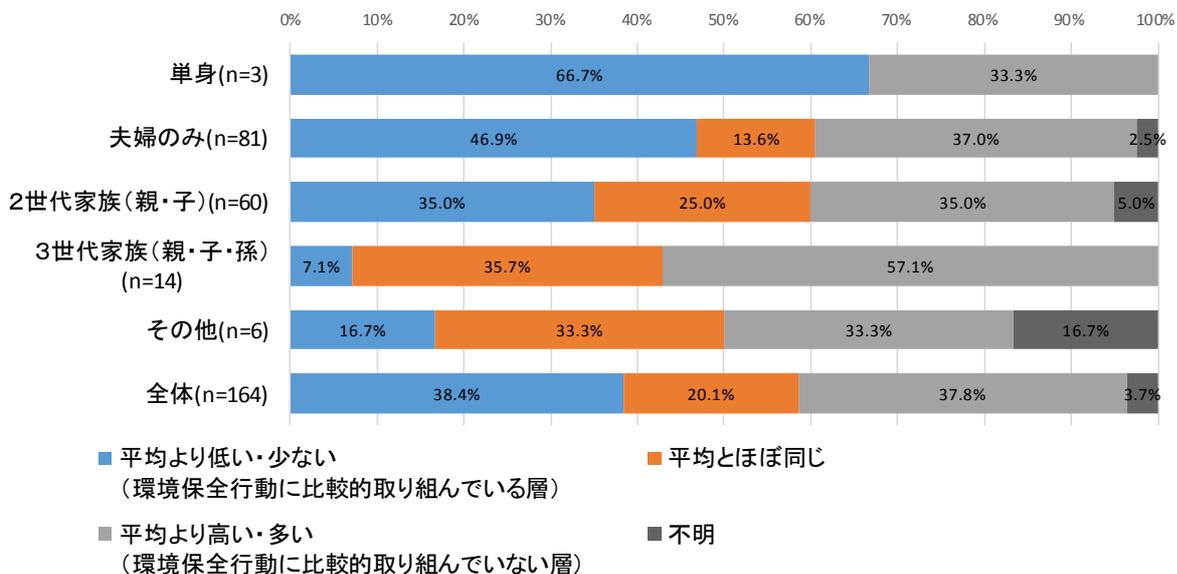
●問1-4：世帯人数 × 問10-1：環境保全行動の取り組み状況ポイント集計



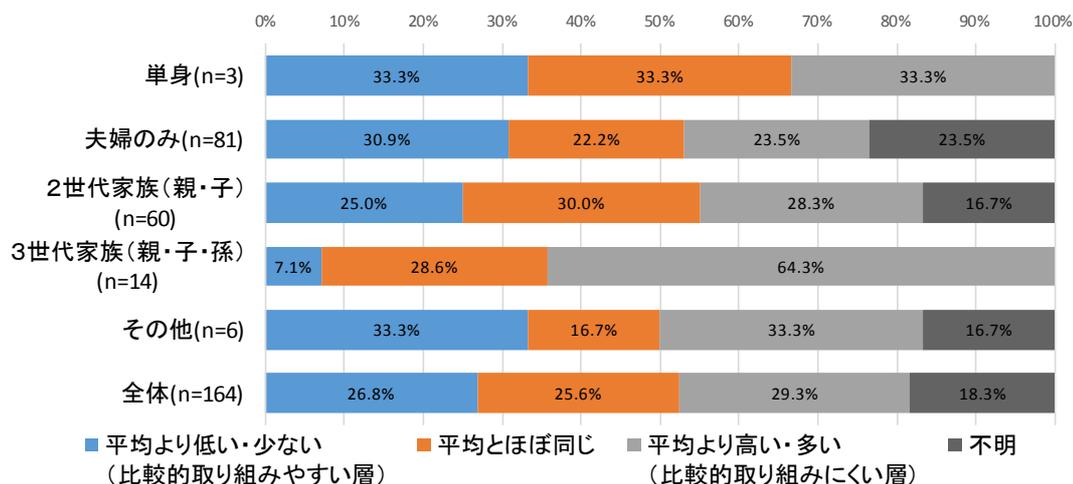
●問1-4：世帯人数 × 問10-2：環境保全行動の難易度ポイント集計



●問1-5：世帯構成 × 問10-1：環境保全行動の取り組み状況ポイント集計



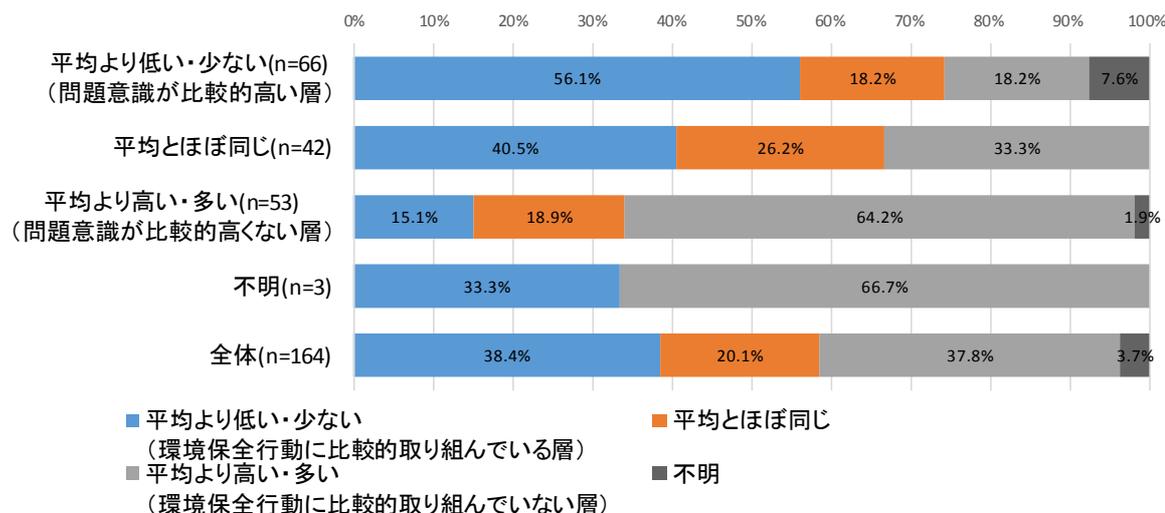
●問1-5：世帯構成 × 問10-2：環境保全行動の難易度ポイント集計



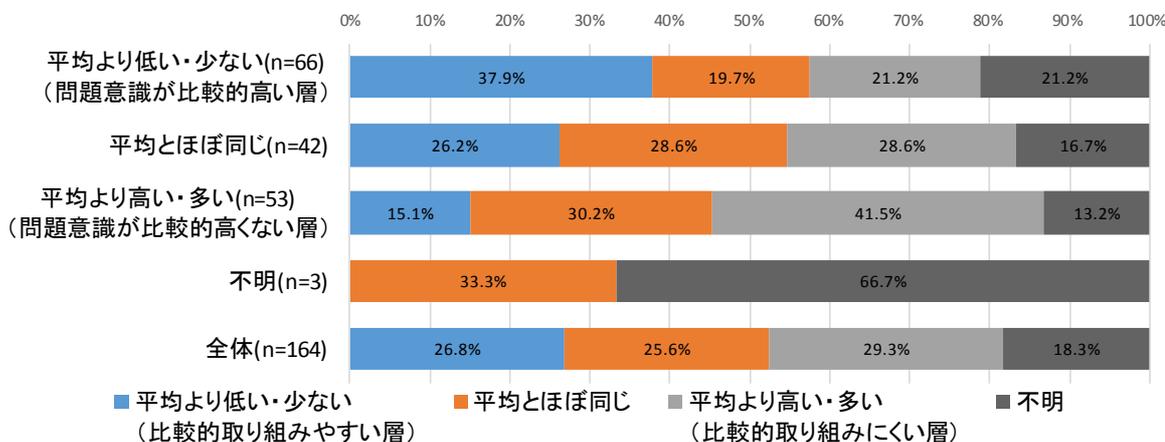
3.7.3.5 地球温暖化に対する問題意識ポイント集計結果別

- 地球温暖化に対する問題意識のポイント集計結果別に、環境保全行動の取り組み状況、難易度のポイント集計結果をみると、問題意識が高い層ほど、環境保全行動によく取り組み、取り組みが簡単だと答える傾向がみられる。

●問8：地球温暖化に対する問題意識ポイント集計 × 問10-1：環境保全行動の取り組み状況ポイント集計



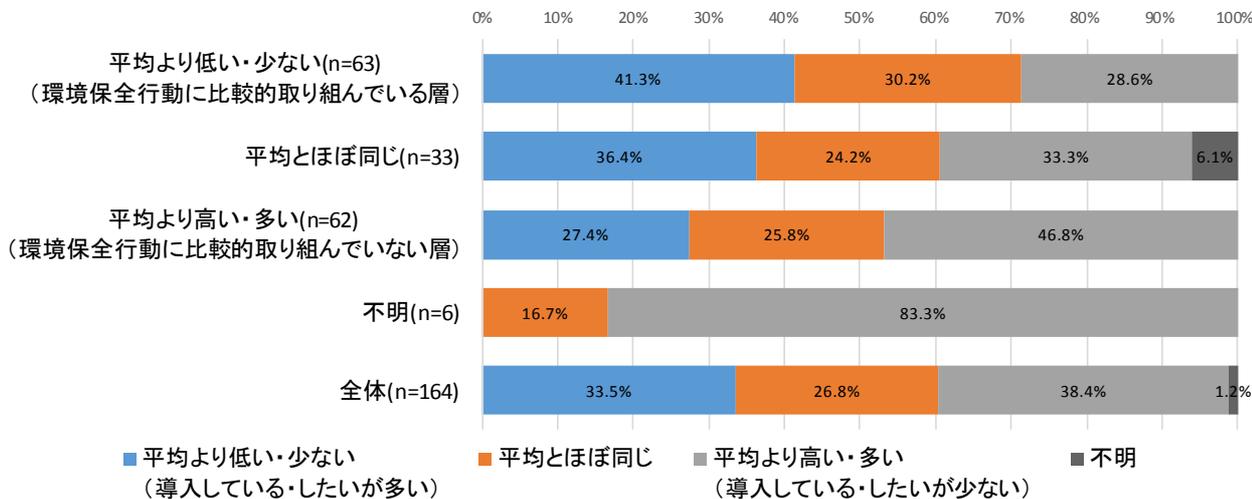
●問8：地球温暖化に対する問題意識ポイント集計 × 問10-2：環境保全行動の難易度ポイント集計



3.7.3.6 取り組み状況別省エネ設備導入状況

- 取り組み状況のポイント集計結果別に省エネ設備等の導入状況（ポイント集計結果）を見ると、環境保全行動によく取り組んでいる層ほど省エネ設備を導入している・導入したいの割合が高くなる傾向がみられる。

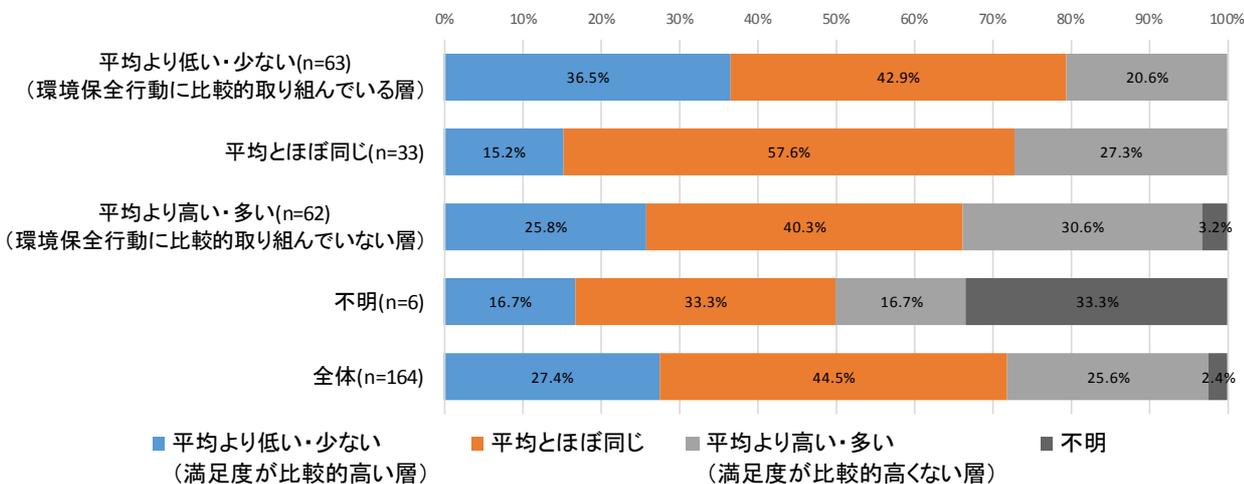
●問10-1：環境保全行動取り組み状況ポイント集計 × 問6：省エネ設備導入状況ポイント集計



3.7.3.7 取り組み状況別住まい・暮らし方の満足度

- 取り組み状況のポイント集計結果別に、住まい・暮らし方の満足度（ポイント集計結果）をみると、環境保全行動によく取り組んでいる層ほど住まい・暮らし方に対する満足度も高くなる傾向がみられる。

●問10-1：環境保全行動取り組み状況ポイント集計 × 問9-1：住まい・暮らし方の満足度ポイント集計

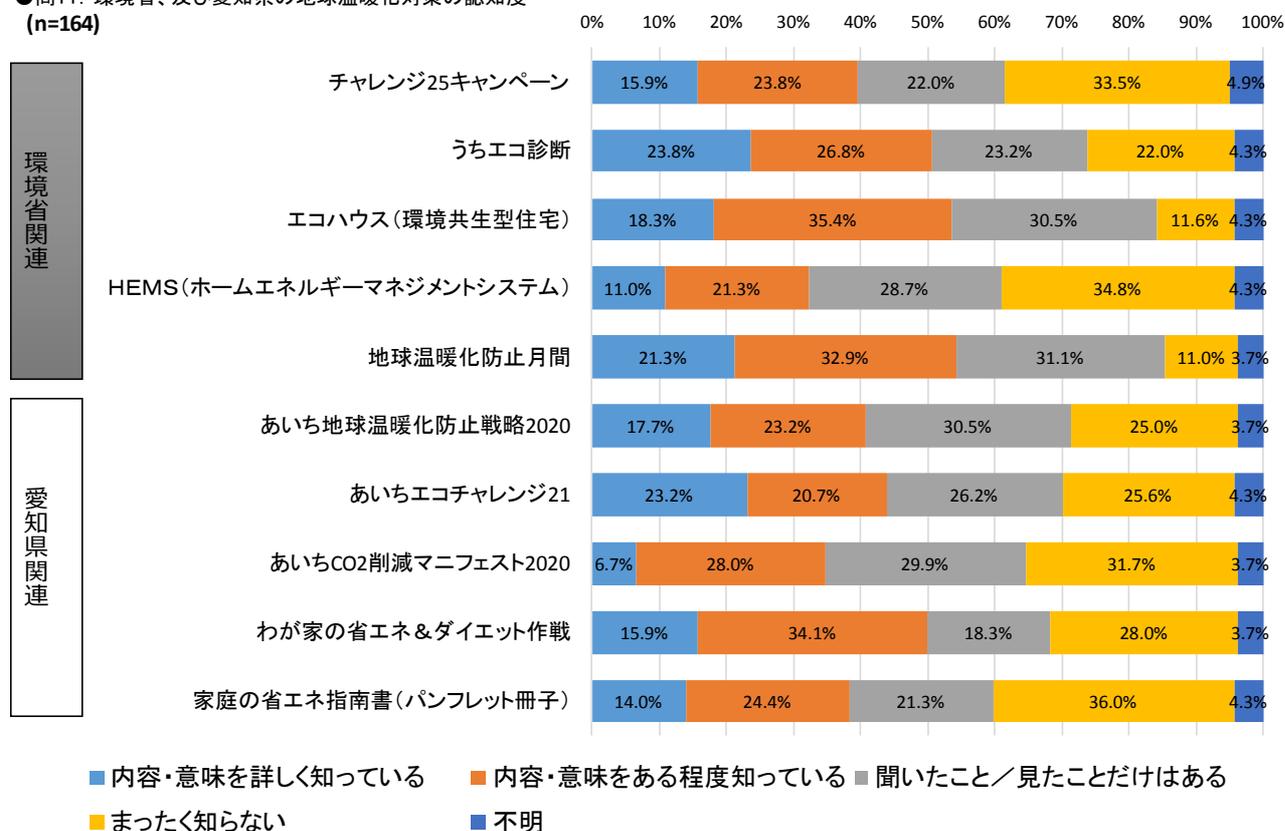


3.8 国・県の取り組みに対する認知度

3.8.1 環境省及び愛知県の温暖化対策についての認知状況

- 環境省及び愛知県の地球温暖化対策関連の取り組み（10項目）について知っているか否かを尋ねた設問において、取り組みによつての認知度はそれぞれ異なり、その結果は下図の通りである。
- 内容・意味を詳しく知っている・ある程度知っているを合わせた割合が過半数あるものは、環境省：地球温暖化防止月間、エコハウス（環境共生型住宅）、うちエコ診断、愛知県：わが家の省エネ&ダイエット作戦となっている。
- 10項目の中で比較して認知度が低いものは、環境省：HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）、愛知県：あいちCO2削減マニフェスト2020があげられる。
- また、家庭の省エネ指南書（パンフレット冊子）については、まったく知らないと答えた回答者が最多になっている。
- 全般的に、愛知県関連の取り組みよりも環境省関連の取り組み認知度が高くなっている。

● 問11. 環境省、及び愛知県の地球温暖化対策の認知度 (n=164)

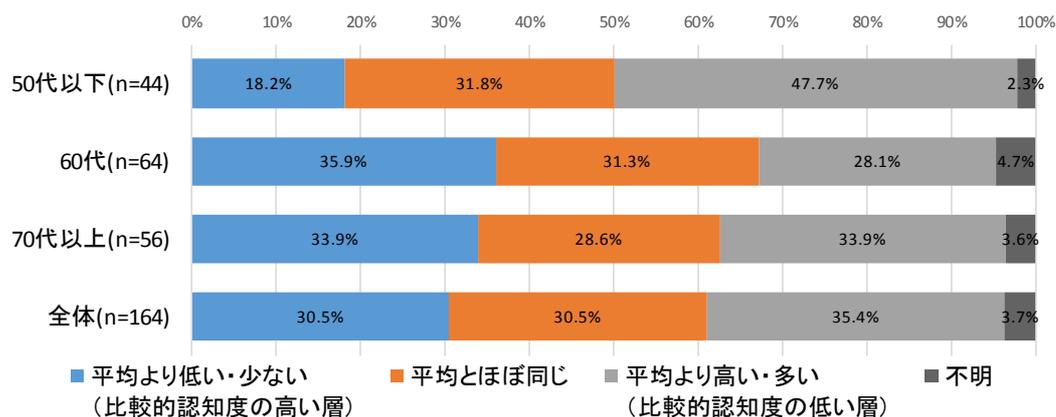


3.8.2 ポイント集計

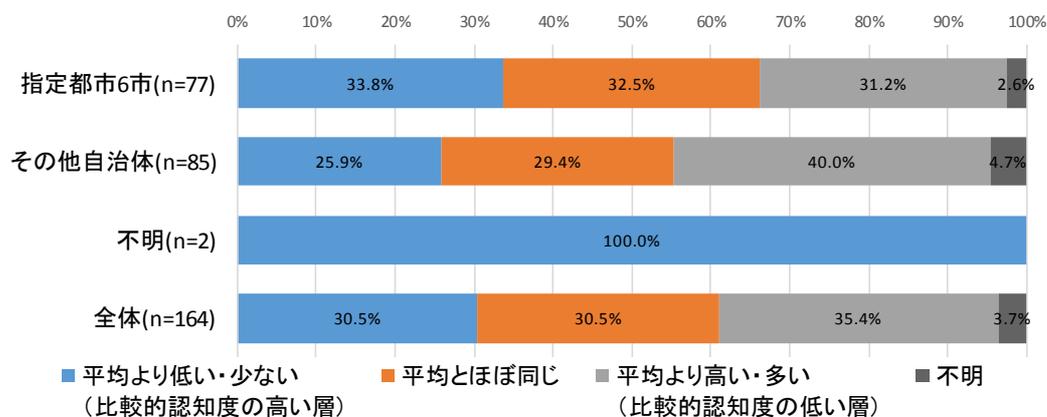
3.8.2.1 年齢・居住地別

- 年齢別に国・県の温暖化対策の取り組みの認知度のポイント集計結果をみると、50代以下は60代・70代以上よりも認知度の高い層の割合が低く、年齢が若くなるほど認知度が下がる傾向が見られる。
- 居住地別で、指定都市（政令指定都市・中核都市・特例都市）6市在住者とそれ以外の市町在住者を比べると、指定都市在住者の認知度の方が高く、規模の大きい自治体の方が行政の温暖化対策の取り組みの認知度が高くなる傾向がうかがえる。

●問1-2：年齢（再区分） × 問11：国・県の温暖化対策の取り組みの認知度ポイント集計



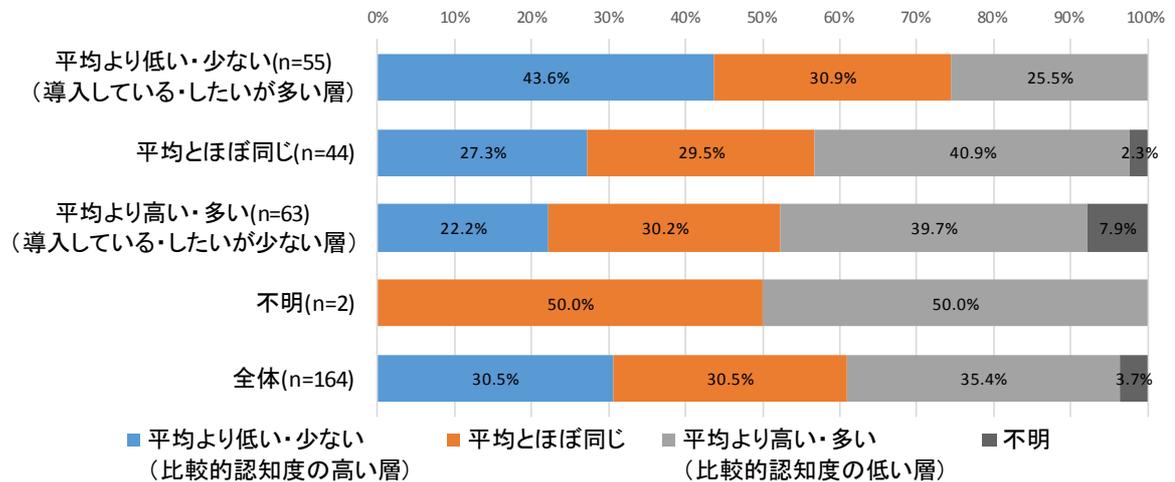
●問1-6：居住地 × 問11：国・県の温暖化対策の取り組みの認知度ポイント集計



3.8.2.2 省エネ設備導入状況別

- 省エネ設備導入状況のポイント集計結果別に見ると、省エネ設備を多く導入している・導入したいと考えている層ほど、国・県の温暖化対策の取り組みの認知度が高くなる傾向が見られる。
- 省エネ設備を導入している・導入したい人ほど、行政の温暖化対策関連の動向に対する情報収集がなされている傾向がうかがえる。

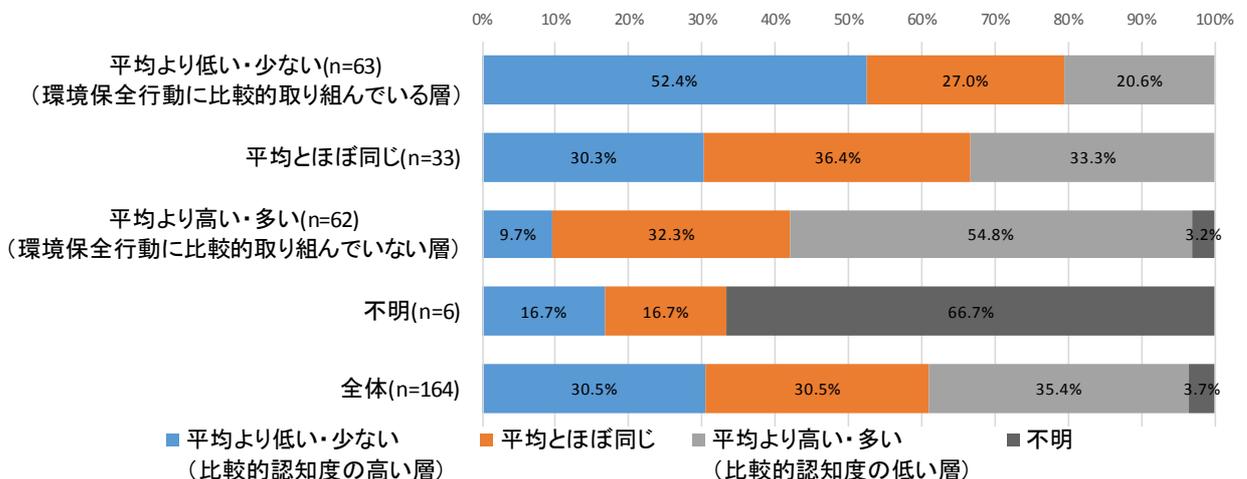
● 問6：省エネ設備導入ポイント集計 × 問11：国・県の温暖化対策の取り組みの認知度ポイント集計



3.8.2.3 環境保全行動の取り組み状況別

- 環境保全行動の取り組み状況のポイント集計結果別に見ると、環境保全行動によく取り組んでいる層ほど、国・県の温暖化対策の取り組みの認知度が高くなる傾向が見られる。

● 問10-1：環境保全行動取り組み状況ポイント集計 × 問11：国・県の温暖化対策の取り組みの認知度ポイント集計



3.9 エネルギーの使用状況

- 今回の調査で把握された各家庭のエネルギー使用状況は次頁以降の表の通りである。
- 世帯人数により、エネルギー使用量は異なり、人数に比例して使用量も増えているが、3-4人、5-6人の世帯における差は小さいが、2-3人、4-5人では差が大きい。
- 電気、都市ガス、LPGとも、秋の使用量が最も少なく、春、夏、冬の順に多くなっている。
- 灯油は夏が最も少なく、秋・春・冬の順に多くなっているが、冬の使用量は76名が回答しているが、他の季節は8~14人のみで、灯油については冬のみ購入している家庭が多くなっていることがわかる。

●問5. 家庭のエネルギー使用量1【料金の平均】

項目		回答者が記入したエネルギー使用料金の平均値										
		2月(冬)		5月(春)		8月(夏)		10月(秋)		1か月分	1年分	
		世帯 人数	回答者 数(人)	回答者 数(人)	回答者 数(人)	回答者 数(人)	回答者 数(人)	回答者 数(人)				
①	電気	1人	3	7,330円	3	5,009円	3	6,195円	3	4,710円	5,811円	69,731円
		2人	67	9,259円	68	6,944円	70	9,415円	70	6,940円	8,140円	97,675円
		3人	33	15,325円	34	10,626円	35	13,348円	33	9,811円	12,277円	147,327円
		4人	21	14,078円	22	10,061円	22	13,635円	20	9,187円	11,740円	140,883円
		5人	4	13,577円	4	11,651円	4	15,763円	4	11,601円	13,148円	157,777円
		6人	4	17,190円	4	13,149円	4	16,381円	4	13,483円	15,051円	180,608円
		7人	1	27,000円	1	24,000円	1	23,000円	1	22,000円	24,000円	288,000円
		全体	133	11,983円	136	8,772円	139	11,485円	135	8,368円	10,152円	121,827円
②	都市ガス	1人	2	8,949円	2	3,458円	2	1,482円	2	2,382円	4,067円	48,807円
		2人	32	7,124円	32	5,064円	34	3,589円	33	3,918円	4,924円	59,085円
		3人	16	9,485円	16	6,403円	16	4,311円	17	4,801円	6,250円	75,002円
		4人	11	11,276円	11	6,723円	11	3,855円	11	4,727円	6,645円	79,742円
		5人	4	10,639円	4	6,145円	4	4,017円	4	5,883円	6,671円	80,051円
		6人	2	13,852円	2	7,583円	2	4,006円	2	4,650円	7,523円	90,270円
		7人	1	26,000円	1	20,000円	1	14,000円	1	18,000円	19,500円	234,000円
		全体	68	9,087円	68	5,958円	70	3,921円	70	4,550円	5,879円	70,546円
③	LPG (プロパンガス)	1人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2人	22	7,822円	22	5,499円	22	3,904円	23	4,341円	5,392円	64,701円
		3人	10	13,116円	10	8,273円	10	6,192円	10	6,336円	8,479円	101,747円
		4人	6	13,944円	6	8,896円	7	5,254円	6	5,585円	8,419円	101,033円
		5人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		6人	2	13,500円	2	10,250円	2	10,500円	2	10,750円	11,250円	135,000円
		7人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		全体	40	10,348円	40	6,939円	41	5,014円	41	5,322円	6,906円	82,871円
④	灯油	1人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2人	45	5,913円	5	3,675円	5	3,075円	9	5,197円	4,465円	53,579円
		3人	16	6,737円	3	1,803円	-	-	2	1,871円	-	-
		4人	10	5,852円	1	15,000円	1	4,000円	1	4,000円	7,213円	86,556円
		5人	3	22,077円	1	14,371円	1	3,957円	1	4,166円	11,143円	133,714円
		6人	2	12,650円	1	10,000円	1	7,000円	1	7,000円	9,163円	109,950円
		7人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		全体	76	6,894円	11	5,741円	8	3,791円	14	4,691円	5,279円	63,353円
⑤	ソーラー発電等	1人	1	15,200円	1	30,400円	1	30,400円	1	22,800円	24,700円	296,400円
		2人	4	12,156円	4	23,663円	4	19,019円	4	16,652円	17,872円	214,467円
		3人	3	9,437円	3	17,239円	3	14,225円	4	8,683円	12,396円	148,751円
		4人	3	9,563円	3	21,660円	3	16,391円	3	12,996円	15,153円	181,830円
		5人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		6人	1	14,592円	2	32,965円	2	24,263円	2	21,147円	23,242円	278,901円
		7人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		全体	12	11,285円	13	23,668円	13	18,988円	14	14,673円	17,153円	205,840円
①②③④の合計の平均値	①②③④の合計の平均値	1人	3	13,295円	3	7,314円	3	7,183円	3	6,298円	8,522円	102,269円
		2人	85	16,928円	85	11,211円	85	12,605円	85	10,728円	12,868円	154,418円
		3人	39	26,366円	39	15,768円	39	17,087円	39	13,499円	18,180円	218,160円
		4人	27	25,539円	27	16,531円	27	17,416円	27	13,011円	18,124円	217,491円
		5人	5	40,774円	5	21,389円	5	20,769円	5	18,525円	25,364円	304,372円
		6人	4	37,191円	4	24,566円	4	25,384円	4	22,933円	27,518円	330,218円
		7人	1	53,000円	1	44,000円	1	37,000円	1	40,000円	43,500円	522,000円
		全体	164	21,872円	164	14,050円	164	15,156円	164	12,461円	15,885円	190,618円
①②③④の合計の平均値を引いた⑤の平均値	①②③④の合計の平均値を引いた⑤の平均値	1人	3	8,229円	3	-2,820円	3	-2,950円	3	-1,302円	289円	3,469円
		2人	85	16,288円	85	9,840円	85	11,519円	85	9,790円	11,859円	142,308円
		3人	39	25,533円	39	14,290円	39	15,868円	39	12,507円	17,049円	204,594円
		4人	27	24,235円	27	13,577円	27	15,181円	27	11,155円	16,037円	192,443円
		5人	5	40,774円	5	21,389円	5	20,769円	5	18,525円	25,364円	304,372円
		6人	4	33,543円	4	8,083円	4	13,252円	4	12,360円	16,809円	201,712円
		7人	1	53,000円	1	44,000円	1	37,000円	1	40,000円	43,500円	522,000円
		全体	164	20,931円	164	11,820円	164	13,381円	164	10,983円	14,279円	171,347円

●問5. 家庭のエネルギー使用量2【使用量の平均】

回答者が記入したエネルギーの使用量の平均値

項目	回答者が記入したエネルギーの使用量の平均値										
	2月(冬)		5月(春)		8月(夏)		10月(秋)		1か月分	1年分	
	世帯人数	回答者数(人)	回答者数(人)	回答者数(人)	回答者数(人)	回答者数(人)	回答者数(人)				
① 電気	1人	3	308 kWh	3	211 kWh	3	261 kWh	3	198 kWh	245 kWh	2,935 kWh
	2人	67	390 kWh	68	292 kWh	70	396 kWh	70	292 kWh	343 kWh	4,111 kWh
	3人	33	645 kWh	34	447 kWh	35	562 kWh	33	413 kWh	517 kWh	6,201 kWh
	4人	21	592 kWh	22	423 kWh	22	574 kWh	20	387 kWh	494 kWh	5,929 kWh
	5人	4	571 kWh	4	490 kWh	4	663 kWh	4	488 kWh	553 kWh	6,640 kWh
	6人	4	723 kWh	4	553 kWh	4	689 kWh	4	567 kWh	633 kWh	7,601 kWh
	7人	1	1,136 kWh	1	1,010 kWh	1	968 kWh	1	926 kWh	1,010 kWh	12,121 kWh
	全体	133	504 kWh	136	369 kWh	139	483 kWh	135	352 kWh	427 kWh	5,127 kWh
② 都市ガス	1人	2	56.1 m3	2	21.7 m3	2	9.3 m3	2	14.9 m3	25.5 m3	305.8 m3
	2人	32	44.6 m3	32	31.7 m3	34	22.5 m3	33	24.5 m3	30.9 m3	370.2 m3
	3人	16	59.4 m3	16	40.1 m3	16	27.0 m3	17	30.1 m3	39.2 m3	469.9 m3
	4人	11	70.6 m3	11	42.1 m3	11	24.2 m3	11	29.6 m3	41.6 m3	499.6 m3
	5人	4	66.7 m3	4	38.5 m3	4	25.2 m3	4	36.9 m3	41.8 m3	501.6 m3
	6人	2	86.8 m3	2	47.5 m3	2	25.1 m3	2	29.1 m3	47.1 m3	565.6 m3
	7人	1	162.9 m3	1	125.3 m3	1	87.7 m3	1	112.8 m3	122.2 m3	1,466.2 m3
	全体	68	56.9 m3	68	37.3 m3	70	24.6 m3	70	28.5 m3	36.8 m3	442.0 m3
③ (プロパンガス)	1人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2人	22	15.55 m3	22	10.93 m3	22	7.76 m3	23	8.63 m3	10.72 m3	128.60 m3
	3人	10	26.07 m3	10	16.44 m3	10	12.31 m3	10	12.59 m3	16.85 m3	202.24 m3
	4人	6	27.72 m3	6	17.68 m3	7	10.44 m3	6	11.10 m3	16.74 m3	200.82 m3
	5人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6人	2	26.83 m3	2	20.37 m3	2	20.87 m3	2	21.37 m3	22.36 m3	268.34 m3
	7人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	全体	40	20.57 m3	40	13.79 m3	41	9.97 m3	41	10.58 m3	13.73 m3	164.72 m3
④ 灯油	1人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2人	45	57 L	5	35 L	5	30 L	9	50 L	43 m3	514 L
	3人	16	65 L	3	17 L	-	-	2	18 L	-	-
	4人	10	56 L	1	144 L	1	38 L	1	38 L	69 m3	831 L
	5人	3	212 L	1	138 L	1	38 L	1	40 L	107 m3	1,284 L
	6人	2	121 L	1	96 L	1	67 L	1	67 L	88 m3	1,056 L
	7人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	全体	76	66 L	11	55 L	8	36 L	14	45 L	51 m3	608 L
⑤ ソーラー発電等	1人	1	640 kWh	1	1,279 kWh	1	1,279 kWh	1	960 kWh	1,040 kWh	12,475 kWh
	2人	4	512 kWh	4	996 kWh	4	800 kWh	4	701 kWh	752 kWh	9,026 kWh
	3人	3	397 kWh	3	726 kWh	3	599 kWh	4	365 kWh	522 kWh	6,261 kWh
	4人	3	402 kWh	3	912 kWh	3	690 kWh	3	547 kWh	638 kWh	7,653 kWh
	5人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6人	1	614 kWh	2	1,387 kWh	2	1,021 kWh	2	890 kWh	978 kWh	11,738 kWh
	7人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	全体	12	475 kWh	13	996 kWh	13	799 kWh	14	618 kWh	722 kWh	8,663 kWh

●問5. 家庭のエネルギー使用量3【CO2排出量の平均】

項目		回答者が記入したエネルギー使用量によるCO2排出量の平均値										
		2月(冬)		5月(春)		8月(夏)		10月(秋)		1か月分	1年分	
世帯人数	回答者数(人)											
		回答者数(人)		回答者数(人)		回答者数(人)		回答者数(人)				
①	電気	1人	3	104.89 kg	3	71.67 kg	3	88.65 kg	3	67.40 kg	83.15 kg	997.83 kg
		2人	67	132.50 kg	68	99.36 kg	70	134.73 kg	70	99.31 kg	116.48 kg	1,397.70 kg
		3人	33	219.30 kg	34	152.05 kg	35	191.00 kg	33	140.39 kg	175.68 kg	2,108.22 kg
		4人	21	201.45 kg	22	143.98 kg	22	195.11 kg	20	131.46 kg	168.00 kg	2,016.01 kg
		5人	4	194.28 kg	4	166.73 kg	4	225.57 kg	4	166.01 kg	188.15 kg	2,257.76 kg
		6人	4	245.98 kg	4	188.16 kg	4	234.40 kg	4	192.94 kg	215.37 kg	2,584.46 kg
		7人	1	386.36 kg	1	343.43 kg	1	329.12 kg	1	314.81 kg	343.43 kg	4,121.21 kg
		全体	133	171.48 kg	136	125.53 kg	139	164.34 kg	135	119.75 kg	145.28 kg	1,743.31 kg
②	都市ガス	1人	2	123.35 kg	2	47.66 kg	2	20.42 kg	2	32.83 kg	56.06 kg	672.78 kg
		2人	32	98.20 kg	32	69.81 kg	34	49.47 kg	33	54.00 kg	67.87 kg	814.45 kg
		3人	16	130.75 kg	16	88.27 kg	16	59.42 kg	17	66.18 kg	86.15 kg	1,038.86 kg
		4人	11	155.43 kg	11	92.68 kg	11	53.14 kg	11	65.15 kg	91.60 kg	1,099.20 kg
		5人	4	146.66 kg	4	84.71 kg	4	55.37 kg	4	81.09 kg	91.95 kg	1,103.46 kg
		6人	2	190.94 kg	2	104.52 kg	2	55.22 kg	2	64.10 kg	103.69 kg	1,244.32 kg
		7人	1	358.40 kg	1	275.69 kg	1	192.98 kg	1	248.12 kg	268.80 kg	3,225.56 kg
		全体	68	125.26 kg	68	82.12 kg	70	54.04 kg	70	62.72 kg	81.04 kg	972.44 kg
③	LPガス (プロパンガス)	1人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2人	22	93.29 kg	22	65.58 kg	22	46.56 kg	23	51.78 kg	64.30 kg	771.62 kg
		3人	10	156.42 kg	10	98.66 kg	10	73.84 kg	10	75.56 kg	101.12 kg	1,213.44 kg
		4人	6	166.30 kg	6	106.09 kg	7	62.65 kg	6	66.60 kg	100.41 kg	1,204.92 kg
		5人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		6人	2	161.00 kg	2	122.24 kg	2	125.22 kg	2	128.21 kg	134.17 kg	1,610.02 kg
		7人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		全体	40	123.41 kg	40	82.76 kg	41	59.80 kg	41	63.47 kg	82.36 kg	988.33 kg
④	灯油	1人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2人	45	141.95 kg	5	88.22 kg	5	73.82 kg	9	124.76 kg	107.18 kg	1,286.21 kg
		3人	16	161.73 kg	3	43.27 kg	-	-	2	44.91 kg	62.48 kg	749.74 kg
		4人	10	140.49 kg	1	360.09 kg	1	96.02 kg	1	96.02 kg	173.16 kg	2,077.89 kg
		5人	3	529.99 kg	1	345.00 kg	1	95.00 kg	1	100.00 kg	267.50 kg	3,209.96 kg
		6人	2	303.68 kg	1	240.06 kg	1	168.04 kg	1	168.04 kg	219.96 kg	2,639.48 kg
		7人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		全体	76	165.49 kg	11	137.82 kg	8	91.02 kg	14	112.62 kg	126.74 kg	1,520.87 kg
⑤	ソーラー発電等	1人	1	217.51 kg	1	435.02 kg	1	435.02 kg	1	326.26 kg	353.45 kg	4,241.41 kg
		2人	4	173.95 kg	4	338.61 kg	4	272.15 kg	4	238.29 kg	255.75 kg	3,068.97 kg
		3人	3	135.04 kg	3	246.69 kg	3	203.55 kg	4	124.25 kg	177.38 kg	2,128.59 kg
		4人	3	136.85 kg	3	309.95 kg	3	234.55 kg	3	185.97 kg	216.83 kg	2,601.94 kg
		5人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		6人	1	208.81 kg	2	471.72 kg	2	347.20 kg	2	302.61 kg	332.58 kg	3,991.01 kg
		7人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		全体	12	161.48 kg	13	338.68 kg	13	271.72 kg	14	209.97 kg	245.46 kg	2,945.52 kg
①②③④の合計の平均	値	1人	3	228.24 kg	3	119.33 kg	3	109.08 kg	3	100.23 kg	139.22 kg	1,670.61 kg
		2人	76	465.93 kg	69	322.97 kg	70	304.59 kg	71	329.84 kg	355.83 kg	4,269.99 kg
		3人	34	668.20 kg	35	382.25 kg	35	324.27 kg	35	327.03 kg	425.44 kg	5,105.25 kg
		4人	22	663.66 kg	22	702.84 kg	22	406.93 kg	21	359.24 kg	533.17 kg	6,398.02 kg
		5人	4	870.93 kg	4	596.43 kg	4	375.93 kg	4	347.10 kg	547.60 kg	6,571.18 kg
		6人	4	901.60 kg	4	654.99 kg	4	582.89 kg	4	553.28 kg	673.19 kg	8,078.28 kg
		7人	1	744.76 kg	1	619.12 kg	1	522.11 kg	1	562.94 kg	612.23 kg	7,346.78 kg
		全体	144	585.64 kg	138	428.24 kg	139	369.21 kg	139	358.56 kg	435.41 kg	5,224.95 kg
①②③④の合計から⑤の平均値	売電量を引いた値	1人	3	10.73 kg	3	-315.68 kg	3	-325.94 kg	3	-226.04 kg	-214.23 kg	-2,570.80 kg
		2人	76	291.99 kg	69	-15.64 kg	70	32.44 kg	71	91.55 kg	100.08 kg	1,201.02 kg
		3人	34	533.16 kg	35	135.56 kg	35	120.71 kg	35	202.78 kg	248.06 kg	2,976.66 kg
		4人	22	526.81 kg	22	392.89 kg	22	172.39 kg	21	173.27 kg	316.34 kg	3,796.08 kg
		5人	4	870.93 kg	4	596.43 kg	4	375.93 kg	4	347.10 kg	547.60 kg	6,571.18 kg
		6人	4	692.79 kg	4	183.27 kg	4	235.69 kg	4	250.68 kg	340.61 kg	4,087.27 kg
		7人	1	744.76 kg	1	619.12 kg	1	522.11 kg	1	562.94 kg	612.23 kg	7,346.78 kg
		全体	144	424.16 kg	138	89.56 kg	139	97.49 kg	139	148.59 kg	189.95 kg	2,279.42 kg

3.10 意識・行動別に見たエネルギー使用量

3.10.1 省エネ設備等の導入状況（ポイント集計結果）別

- 太陽光発電等の省エネ設備等を比較的導入している層（次表の1 段目／集計ポイントが平均より低い・少ない層；既に導入している・導入したいという回答が平均より多かったグループ）と、比較的導入していない層（3 段目／集計ポイントが平均より高い・多い；既に導入している・導入したいという回答が平均より少なかったグループ）を比較すると、いずれもの世帯人数でも省エネ設備等を導入している層のエネルギー使用量の方が多くなっている。
- ただ、2 人以下と3 人の世帯では差額 1,000 円未満であり、あまり顕著な差とはなっていない。

1段目と3段目を比較して金額が多い方

同左で、差額1,000円未満のもの

問6	集計ポイント区分	1か月のエネルギー4種合計の料金／CO2排出量	世帯人数			
			2人以下	3人	4人以上	全体
省エネ設備等導入状況	平均より低い・少ない ↑ 導入している層	回答者数	24	15	12	51
		平均料金	12,534 円	18,377 円	26,084 円	17,481 円
		平均CO2排出量	183.77 kg	259.39 kg	381.01 kg	252.99 kg
	平均とほぼ同じ	回答者数	19	9	10	38
		平均料金	13,378 円	18,537 円	18,769 円	16,048 円
		平均CO2排出量	200.13 kg	265.74 kg	285.37 kg	238.52 kg
	平均より高い・多い ↓ 導入していない層	回答者数	37	11	9	57
		平均料金	12,492 円	17,567 円	17,015 円	14,323 円
		平均CO2排出量	184.12 kg	259.36 kg	245.98 kg	210.34 kg

赤字数字：全回答者164人の1割未満(0.9%以下/14.8人以下)の回答者数

3.10.2 地球温暖化及び環境に対する問題意識（ポイント集計結果）別

- 地球温暖化及び環境に対する問題意識を比較的持っている層（次表の1 段目／集計ポイントが平均より低い・少ない層；温暖化や環境問題に肯定的な回答が平均より多かったグループ）と、比較的持っていない層（3 段目／集計ポイントが平均より高い・多い；肯定的な回答が平均より少なかったグループ）を比較すると、3 人の世帯で持っていない層のエネルギー使用量が多くなっているが、2 人以下と4 人以上の世帯は持っている層の方が多くなっている。
- ただし、2 人以下と4 人以上の世帯の差額 1,000 円未満で、全体の差額もそれほど大きな差ではないため、地球温暖化・環境に対する問題意識による差異は、今回の結果ではあまり表れていない。

問8	集計ポイント区分	1か月のエネルギー使用量の料金／CO2排出量	世帯人数			
			2人以下	3人	4人以上	全体
地球温暖化や環境に対する問題意識	問題意識が高い層 ↑	回答者数	35	13	11	59
		平均料金	12,797 円	16,909 円	20,755 円	15,204 円
		平均CO2排出量	187.11 kg	248.17 kg	330.58 kg	227.66 kg
	問題意識が低い層 ↓	回答者数	20	7	8	35
		平均料金	12,969 円	17,070 円	22,997 円	16,330 円
		平均CO2排出量	192.83 kg	242.36 kg	323.09 kg	235.82 kg
	平均とほぼ同じ	回答者数	23	15	12	50
		平均料金	12,743 円	19,792 円	20,167 円	16,796 円
		平均CO2排出量	190.89 kg	281.28 kg	285.71 kg	242.78 kg

赤字数字：全回答者164人の1割未満(0.9%以下/14.8人以下)の回答者数

3.10.3 住まい・暮らし方の満足度別、及び省エネ評価別

- 現在使用している住宅建物や家電などに対する満足度が比較的高い層（問 9-1 表の 1 段目／集計ポイントが平均より低い・少ない層；満足・どちらかといえば満足という回答が平均より多かったグループ）と、比較的高くない層（3 段目／集計ポイントが平均より高い・多い；満足・どちらかといえば満足という回答が平均より少なかったグループ）を比較すると、2 人以下の世帯では満足度が比較的高くない層の方のエネルギー使用量が多いが、3 人、4 人以上の世帯では、満足度が比較的高い層のエネルギー使用量の方が多くなっている。
- 世帯人数が多くなるほど、住まい・暮らし方の満足度が高い層でエネルギー使用量が多くなる傾向がうかがえる。
- 省エネに取り組む上での住宅建物や家電などに対する評価が比較的高い層（問 9-2 表の 1 段目／集計ポイントが平均より低い・少ない層；既に充分対応・実行が可能・ある程度は対応・実行できるという回答が平均より多かったグループ）と、比較的高くない層（3 段目／集計ポイントが平均より高い・多い；対応・実行できるとする回答が平均より少なかったグループ）を比較すると、いずれの世帯人数においても評価が比較的高くない層のエネルギー使用量の方が多い。

問9-1	集計ポイント区分	1か月のエネルギー使用量の料金／CO2排出量	世帯人数			
			2人以下	3人	4人以上	全体
住まい・暮らし方の満足度	満足度が高い層 平均より低い・少ない	回答者数	21	10	9	40
		平均料金	11,430 円	19,028 円	24,689 円	16,311 円
		平均CO2排出量	161.37 kg	277.48 kg	351.40 kg	232.99 kg
	平均とほぼ同じ	回答者数	35	15	14	64
		平均料金	13,108 円	19,638 円	17,730 円	15,724 円
		平均CO2排出量	196.82 kg	280.32 kg	272.77 kg	234.07 kg
	満足度が低い層 平均より高い・多い	回答者数	22	9	8	39
		平均料金	13,490 円	14,599 円	22,928 円	15,826 円
		平均CO2排出量	201.04 kg	205.52 kg	332.61 kg	230.94 kg

赤字数字：全回答者164人の1割未満(0.9%以下/14.8人以下)の回答者数

問9-2	集計ポイント区分	1か月のエネルギー使用量の料金／CO2排出量	世帯人数			
			2人以下	3人	4人以上	全体
住まい・暮らし方の省エネ評価	評価が高い層 平均より低い・少ない	回答者数	17	4	5	26
		平均料金	11,201 円	15,788 円	19,162 円	13,502 円
		平均CO2排出量	163.38 kg	239.79 kg	277.85 kg	197.78 kg
	平均とほぼ同じ	回答者数	38	17	16	71
		平均料金	12,034 円	19,096 円	22,030 円	16,047 円
		平均CO2排出量	176.29 kg	272.88 kg	321.09 kg	233.04 kg
	評価が低い層 平均より高い・多い	回答者数	23	11	10	44
		平均料金	15,061 円	8,475 円	20,644 円	17,279 円
		平均CO2排出量	225.73 kg	261.89 kg	312.58 kg	255.81 kg

赤字数字：全回答者164人の1割未満(0.9%以下/14.8人以下)の回答者数

3.10.4 環境保全行動の実践状況別、及び難易度別

- 環境保全行動を比較的实践している層（問 10-1 表の 1 段目／集計ポイントが平均より低い・少ない層；常に（多く）行うようにしている・ある程度（わずかながら）行っているという回答が平均より多かったグループ）と、比較的实践していない層（3 段目／集計ポイントが平均より高い・多い；行っているとする回答が平均より少なかったグループ）を比較すると、いずれの世帯人数でも、比較的实践していない層のエネルギー使用量の方が多い。
- 環境ほど全行動の家庭における実践が比較的に簡単な層（問 10-2 表の 1 段目／集計ポイントが平均より低い・少ない層；どちらかといえば簡単という回答が平均より多かったグループ）と、比較的に簡単でない層（3 段目／集計ポイントが平均より高い・多い；どちらかといえば簡単という回答が平均より少なかったグループ）を比較すると、いずれの世帯人数においても、比較的に簡単でない層のエネルギー使用量の方が多い。

問10-1	集計ポイント区分	1か月のエネルギー使用量の料金/CO2排出量	世帯人数			
			2人以下	3人	4人以上	全体
環境保全行動の取り組み状況	平均より低い・少ない	回答者数	38	12	7	57
		平均料金	11,959 円	15,712 円	20,971 円	13,885 円
		平均CO2排出量	174.32 kg	227.41 kg	308.69 kg	202.42 kg
	平均とほぼ同じ	回答者数	13	10	9	32
		平均料金	14,148 円	19,531 円	20,585 円	17,791 円
		平均CO2排出量	213.78 kg	276.10 kg	326.34 kg	267.19 kg
	平均より高い・多い	回答者数	29	10	15	54
		平均料金	13,016 円	19,814 円	21,484 円	16,869 円
		平均CO2排出量	193.62 kg	283.32 kg	303.45 kg	243.90 kg

赤字数字: 全回答者164人の1割未満(0.9%以下/14.8人以下)の回答者数

問10-2	集計ポイント区分	1か月のエネルギー使用量の料金/CO2排出量	世帯人数			
			2人以下	3人	4人以上	全体
環境保全行動に取組む 難易度	平均より低い・少ない	回答者数	25	11	6	42
		平均料金	12,562 円	17,490 円	20,044 円	14,921 円
		平均CO2排出量	183.40 kg	245.11 kg	279.48 kg	213.29 kg
	平均とほぼ同じ	回答者数	20	9	10	39
		平均料金	12,294 円	16,826 円	21,848 円	15,916 円
		平均CO2排出量	182.31 kg	237.70 kg	328.12 kg	234.32 kg
	平均より高い・多い	回答者数	18	9	14	41
		平均料金	13,711 円	19,585 円	21,541 円	17,893 円
		平均CO2排出量	203.95 kg	283.00 kg	320.87 kg	264.37 kg

赤字数字: 全回答者164人の1割未満(0.9%以下/14.8人以下)の回答者数

3.10.5 国・県の地球温暖化対策の認知度別

- 環境省及び愛知県の地球温暖化対策に対する認知度が比較的高い層（次表の1段目/集計ポイントが平均より低い・少ない層；内容・意味を詳しく知っている・ある程度知っているという回答が平均より多かったグループ）と、比較的高くない層（3段目/集計ポイントが平均より高い・多い；内容・意味を詳しく知っている・ある程度知っているという回答が平均より少なかったグループ）を比較すると、4人以上の世帯で比較的高い層の方がエネルギー使用量は多くなっているが、2人以下と3人の世帯では比較的高くない層の方が多く、またその差額は1,000円未満と小さい。
- そのため、国・県の地球温暖化対策の取り組みに対する認知度での差異は、今回の調査ではあまり表出していないものと考えられる。

問11	集計ポイント区分	1か月のエネルギー使用量の料金/CO2排出量	世帯人数			
			2人以下	3人	4人以上	全体
国・県の地球温暖化対策の認知度	平均より低い・少ない	回答者数	29	6	9	44
		平均料金	12,802 円	19,928 円	20,688 円	15,436 円
		平均CO2排出量	184.29 kg	271.99 kg	302.32 kg	221.10 kg
	平均とほぼ同じ	回答者数	25	14	8	47
		平均料金	12,049 円	15,646 円	24,758 円	15,327 円
		平均CO2排出量	178.72 kg	230.07 kg	385.94 kg	229.94 kg
	平均より高い・多い	回答者数	26	13	14	53
		平均料金	13,472 円	20,344 円	19,292 円	16,886 円
		平均CO2排出量	203.35 kg	292.22 kg	274.15 kg	246.36 kg

赤字数字: 全回答者164人の1割未満(0.9%以下/14.8人以下)の回答者数

3.11 別の調査結果等におけるエネルギー使用量との比較

3.11.1 「うちエコ診断」における収集データとの比較

- 環境省の「うちエコ診断」の愛知県受診者（104名）のエネルギー使用量は、次頁以降の表の通りである（本調査結果のエネルギー使用量（料金・使用量・CO₂量）については、前項「3.9 エネルギーの使用状況」を参照）。
- うちエコ診断受診者と本調査回答者のエネルギー使用量を比較すると、全般的にうちエコ診断受診者の方が多くなっている。
- これは、うちエコ診断が県内一般家庭から広く受診応募を受け付けているのに対し、本調査の回答者の多くが地球温暖化防止活動推進員であり、CO₂排出抑制の意識・実践度が一般よりも高いものとなっている家庭のエネルギー使用量が本調査結果で抽出されていることが背景にあると考えられる。
- 具体的な差をみていくと、エネルギー4種のうち灯油を除く、電気・都市ガス・LPGでうちエコ診断受診者の方が多く、その差額は、1,000～1,500円ほどとなっている。（灯油は本調査回答者の方が約700円多い。）
- 季節的な差をみると、冬・夏のエネルギー4種の合計（平均金額）はどちらもうちエコ診断受診者の方が多いが、差額は500円未満であり大きな差ではなく、また、うちエコ診断の春・秋の使用量と本調査の春の使用量はほぼ同額で、全般的に本調査回答者のエネルギー使用量の方が少ないが、その差は小さい。
- また、本調査では、春と秋の使用量（料金）を別個に回答しており（うちエコ診断では春秋が1つの括りになっている）、本調査の秋のエネルギー4種合計の使用量が春を約1,500円ほど下回っている。
- 売電量は、サンプル数がうちエコ診断、本調査ともごく僅かであるため参考値となるが、本調査回答者の売電量（月平均額）が約3,000円多い。
- 世帯人数別にみると、同様にサンプル数の少ない参考値となるが、5人の世帯のみ本調査回答者のエネルギー使用量が多いが、ほかの人数世帯はいずれもうちエコ診断受診者の方が多い。
- また、世帯人数が多くなるほど、本調査回答者とうちエコ診断受診者のエネルギー使用量の差額が大きくなる傾向もみられる。

●うちエコ診断愛知県受診者のエネルギー使用量1【料金の平均】

項目		回答者が記入したエネルギー使用料金の平均値								
		冬		春・秋		夏		1か月分	1年分	
	世帯人数	回答者数(人)	回答者数(人)	回答者数(人)	回答者数(人)					
①	電気	1人	3	4,667円	3	4,000円	4	4,875円	4,514円	54,167円
		2人	29	10,170円	29	6,692円	29	8,376円	8,413円	100,953円
		3人	27	13,704円	26	9,623円	26	11,083円	11,470円	137,640円
		4人	28	14,720円	28	10,186円	28	13,349円	12,752円	153,024円
		5人	7	19,802円	7	12,557円	7	14,129円	15,496円	185,954円
		6人	5	19,408円	4	10,697円	5	18,375円	16,160円	193,918円
		7人	1	35,000円	1	20,000円	1	35,000円	30,000円	360,000円
		8人	1	40,000円	1	35,000円	1	50,000円	41,667円	500,000円
		全体	101	13,879円	99	9,365円	101	11,883円	11,709円	140,507円
②	都市ガス	1人	2	6,250円	2	2,250円	3	2,000円	3,500円	42,000円
		2人	16	6,842円	16	4,949円	16	3,492円	5,094円	61,132円
		3人	12	12,197円	11	7,974円	11	6,255円	8,809円	105,705円
		4人	11	12,156円	12	8,341円	11	6,295円	8,930円	107,165円
		5人	1	1,509円	1	1,505円	1	1,340円	1,451円	17,416円
		6人	1	15,181円	-	-	1	5,516円	-	-
		7人	-	-	-	-	-	-	-	-
		8人	-	-	-	-	-	-	-	-
		全体	43	9,738円	42	6,500円	43	4,809円	7,016円	84,187円
③	(プロパンガス)	1人	1	3,000円	1	3,000円	1	3,000円	3,000円	36,000円
		2人	6	8,227円	6	6,110円	6	5,319円	6,552円	78,625円
		3人	5	12,170円	5	6,580円	5	4,720円	7,823円	93,880円
		4人	8	9,750円	8	5,975円	8	5,438円	7,054円	84,650円
		5人	2	3,500円	2	3,500円	2	3,000円	3,333円	40,000円
		6人	3	23,561円	3	13,339円	3	13,228円	16,709円	200,512円
		7人	1	20,000円	1	15,000円	1	12,000円	15,667円	188,000円
		8人	-	-	-	-	-	-	-	-
		全体	26	11,111円	26	7,015円	26	6,142円	8,089円	97,073円
④	灯油	1人	-	-	-	-	-	-	-	-
		2人	5	4,500円	-	-	-	-	-	-
		3人	4	8,192円	-	-	-	-	-	-
		4人	8	4,103円	1	2,500円	1	2,000円	2,868円	34,410円
		5人	4	4,750円	1	8,000円	1	5,000円	5,917円	71,000円
		6人	3	12,533円	1	1,670円	-	-	-	-
		7人	-	-	-	-	-	-	-	-
		8人	1	5,000円	-	-	-	-	-	-
		全体	25	5,988円	3	4,057円	2	3,500円	4,515円	54,177円
⑤	売電量	1人	-	-	-	-	-	-	-	-
		2人	4	10,241円	5	16,738円	5	16,654円	14,544円	174,532円
		3人	7	11,293円	7	15,894円	6	20,359円	15,849円	190,183円
		4人	4	8,939円	4	14,964円	4	16,390円	13,431円	161,172円
		5人	2	9,850円	2	14,250円	2	14,000円	12,700円	152,400円
		6人	1	3,000円	1	10,000円	1	5,000円	6,000円	72,000円
		7人	-	-	-	-	-	-	-	-
		8人	-	-	-	-	-	-	-	-
		全体	18	9,915円	19	15,437円	18	16,888円	14,080円	168,960円
①②③④の合計の平均	①②③④の合計の平均	1人	3	9,833円	3	6,500円	4	7,125円	7,819円	93,833円
		2人	29	16,423円	29	10,686円	29	11,403円	12,838円	154,051円
		3人	27	22,592円	26	14,261円	26	14,638円	17,164円	205,966円
		4人	28	23,454円	28	15,557円	28	17,447円	18,819円	225,834円
		5人	7	23,732円	7	14,915円	7	15,892円	18,180円	218,157円
		6人	5	44,100円	4	21,119円	5	27,415円	30,878円	370,536円
		7人	1	55,000円	1	35,000円	1	47,000円	45,667円	548,000円
		8人	1	45,000円	1	35,000円	1	50,000円	43,333円	520,000円
		全体	101	22,367円	99	14,088円	101	15,580円	17,345円	208,142円
①②③④の合計の平均値を引いた値の⑤	①②③④の合計の平均値を引いた値の⑤	1人	3	9,833円	3	6,500円	4	7,125円	7,819円	93,833円
		2人	29	15,011円	29	7,800円	29	8,532円	10,448円	125,372円
		3人	27	19,665円	26	9,982円	26	9,939円	13,195円	158,345円
		4人	28	22,177円	28	13,420円	28	15,106円	16,901円	202,809円
		5人	7	20,918円	7	10,843円	7	11,892円	14,551円	174,614円
		6人	5	43,500円	3	24,825円	5	26,415円	31,580円	378,961円
		7人	1	55,000円	1	35,000円	1	47,000円	45,667円	548,000円
		8人	1	45,000円	1	35,000円	1	50,000円	43,333円	520,000円
		全体	101	20,600円	98	11,239円	101	12,571円	14,803円	177,638円

●うちエコ診断愛知県受診者のエネルギー使用量2【使用量の平均】

項目		回答者が記入したエネルギーの使用量の平均値								
		冬		春・秋		夏		1か月分	1年分	
		世帯人数	回答者数(人)	回答者数(人)	回答者数(人)	回答者数(人)				
①	電気	1人	3	196 kWh	3	168 kWh	4	205 kWh	190 kWh	2,280 kWh
		2人	29	428 kWh	29	282 kWh	29	353 kWh	354 kWh	4,249 kWh
		3人	27	577 kWh	26	405 kWh	26	466 kWh	483 kWh	5,793 kWh
		4人	28	620 kWh	28	429 kWh	28	562 kWh	537 kWh	6,440 kWh
		5人	7	833 kWh	7	528 kWh	7	595 kWh	652 kWh	7,826 kWh
		6人	5	817 kWh	4	450 kWh	5	773 kWh	680 kWh	8,162 kWh
		7人	1	1,473 kWh	1	842 kWh	1	1,473 kWh	1,263 kWh	15,152 kWh
		8人	1	1,684 kWh	1	1,473 kWh	1	2,104 kWh	1,754 kWh	21,044 kWh
		全体	101	584 kWh	99	394 kWh	101	500 kWh	493 kWh	5,914 kWh
②	都市ガス	1人	2	39.2 m3	2	14.1 m3	3	12.5 m3	21.9 m3	263.2 m3
		2人	16	42.9 m3	16	31.0 m3	16	21.9 m3	31.9 m3	383.0 m3
		3人	12	76.4 m3	11	50.0 m3	11	39.2 m3	55.2 m3	662.3 m3
		4人	11	76.2 m3	12	52.3 m3	11	39.4 m3	56.0 m3	671.5 m3
		5人	1	9.5 m3	1	9.4 m3	1	8.4 m3	9.1 m3	109.1 m3
		6人	1	95.1 m3	-	-	1	34.6 m3	-	-
		7人	-	-	-	-	-	-	-	-
		8人	-	-	-	-	-	-	-	-
		全体	43	61.0 m3	42	40.7 m3	43	30.1 m3	44.0 m3	527.5 m3
③	(プロパンガス)	1人	1	18.8 m3	1	18.8 m3	1	18.8 m3	18.8 m3	225.6 m3
		2人	6	51.5 m3	6	38.3 m3	6	33.3 m3	41.1 m3	492.6 m3
		3人	5	76.3 m3	5	41.2 m3	5	29.6 m3	49.0 m3	588.2 m3
		4人	8	61.1 m3	8	37.4 m3	8	34.1 m3	44.2 m3	530.4 m3
		5人	2	21.9 m3	2	21.9 m3	2	18.8 m3	20.9 m3	250.6 m3
		6人	3	147.6 m3	3	83.6 m3	3	82.9 m3	104.7 m3	1,256.3 m3
		7人	1	125.3 m3	1	94.0 m3	1	75.2 m3	98.2 m3	1,177.9 m3
		8人	-	-	-	-	-	-	-	-
		全体	26	69.6 m3	26	44.0 m3	26	38.5 m3	50.7 m3	608.2 m3
④	灯油	1人	-	-	-	-	-	-	-	-
		2人	5	43 L	-	-	-	-	-	-
		3人	4	79 L	-	-	-	-	-	-
		4人	8	39 L	1	24 L	1	19 L	28 m3	330 L
		5人	4	46 L	1	77 L	1	48 L	57 m3	682 L
		6人	3	120 L	1	16 L	-	-	-	-
		7人	-	-	-	-	-	-	-	-
		8人	1	48 L	-	-	-	-	-	-
		全体	25	57 L	3	39 L	2	34 L	43 m3	520 L
⑤	売電量	1人	-	-	-	-	-	-	-	-
		2人	4	431 kWh	5	704 kWh	5	701 kWh	612 kWh	7,346 kWh
		3人	7	475 kWh	7	669 kWh	6	857 kWh	667 kWh	8,004 kWh
		4人	4	376 kWh	4	630 kWh	4	690 kWh	565 kWh	6,783 kWh
		5人	2	415 kWh	2	600 kWh	2	589 kWh	535 kWh	6,414 kWh
		6人	1	126 kWh	1	421 kWh	1	210 kWh	253 kWh	3,030 kWh
		7人	-	-	-	-	-	-	-	-
		8人	-	-	-	-	-	-	-	-
		全体	18	417 kWh	19	650 kWh	18	711 kWh	593 kWh	7,111 kWh

●うちエコ診断愛知県受診者のエネルギー使用量3【CO2排出量の平均】

項目		回答者が記入したエネルギー使用量によるCO2排出量の平均値								
		冬		春・秋		夏		1か月分	1年分	
		世帯人数	回答者数(人)	回答者数(人)	回答者数(人)	回答者数(人)				
①	電気	1人	3	66.78 kg	3	57.24 kg	4	69.76 kg	64.59 kg	775.11 kg
		2人	29	145.54 kg	29	95.76 kg	29	119.86 kg	120.38 kg	1,444.61 kg
		3人	27	196.10 kg	26	137.70 kg	26	158.60 kg	164.13 kg	1,969.60 kg
		4人	28	210.64 kg	28	145.77 kg	28	191.03 kg	182.48 kg	2,189.74 kg
		5人	7	283.37 kg	7	179.69 kg	7	202.19 kg	221.75 kg	2,660.96 kg
		6人	5	277.72 kg	4	153.07 kg	5	262.94 kg	231.24 kg	2,774.92 kg
		7人	1	500.84 kg	1	286.20 kg	1	500.84 kg	429.29 kg	5,151.52 kg
		8人	1	572.39 kg	1	500.84 kg	1	715.49 kg	596.24 kg	7,154.88 kg
		全体	101	198.61 kg	99	134.01 kg	101	170.04 kg	167.55 kg	2,010.62 kg
②	都市ガス	1人	2	86.15 kg	2	31.02 kg	3	27.57 kg	48.25 kg	578.95 kg
		2人	16	94.32 kg	16	68.22 kg	16	48.13 kg	70.22 kg	842.67 kg
		3人	12	168.13 kg	11	109.91 kg	11	86.23 kg	121.42 kg	1,457.08 kg
		4人	11	167.56 kg	12	114.97 kg	11	86.77 kg	123.10 kg	1,477.22 kg
		5人	1	20.80 kg	1	20.75 kg	1	18.47 kg	20.01 kg	240.07 kg
		6人	1	209.26 kg	-	-	1	76.04 kg	-	-
		7人	-	-	-	-	-	-	-	-
		8人	-	-	-	-	-	-	-	-
		全体	43	134.24 kg	42	89.59 kg	43	66.29 kg	96.71 kg	1,160.47 kg
③	(プロパンガス)	1人	1	112.78 kg	1	112.78 kg	1	112.78 kg	112.78 kg	1,353.38 kg
		2人	6	309.29 kg	6	229.71 kg	6	199.96 kg	246.32 kg	2,955.84 kg
		3人	5	457.52 kg	5	247.37 kg	5	177.44 kg	294.11 kg	3,529.32 kg
		4人	8	366.54 kg	8	224.62 kg	8	204.42 kg	265.19 kg	3,182.33 kg
		5人	2	131.58 kg	2	131.58 kg	2	112.78 kg	125.31 kg	1,503.76 kg
		6人	3	885.75 kg	3	501.47 kg	3	497.29 kg	628.17 kg	7,538.05 kg
		7人	1	751.88 kg	1	563.91 kg	1	451.13 kg	588.97 kg	7,067.67 kg
		8人	-	-	-	-	-	-	-	-
		全体	26	417.72 kg	26	263.71 kg	26	230.91 kg	304.11 kg	3,649.35 kg
④	灯油	1人	-	-	-	-	-	-	-	-
		2人	5	108.03 kg	-	-	-	-	-	-
		3人	4	196.66 kg	-	-	-	-	-	-
		4人	8	98.49 kg	1	60.02 kg	1	48.01 kg	68.84 kg	826.05 kg
		5人	4	114.03 kg	1	192.05 kg	1	120.03 kg	142.04 kg	1,704.44 kg
		6人	3	300.88 kg	1	40.09 kg	-	-	-	-
		7人	-	-	-	-	-	-	-	-
		8人	-	-	-	-	-	-	-	-
		全体	25	143.74 kg	3	97.38 kg	2	84.02 kg	108.38 kg	1,300.57 kg
⑤	売電量	1人	-	-	-	-	-	-	-	-
		2人	4	146.55 kg	5	239.51 kg	5	238.32 kg	208.13 kg	2,497.51 kg
		3人	7	161.60 kg	7	227.44 kg	6	291.33 kg	226.79 kg	2,721.47 kg
		4人	4	127.91 kg	4	214.13 kg	4	234.54 kg	192.19 kg	2,306.33 kg
		5人	2	140.95 kg	2	203.91 kg	2	200.34 kg	181.73 kg	2,180.81 kg
		6人	1	42.93 kg	1	143.10 kg	1	71.55 kg	85.86 kg	1,030.30 kg
		7人	-	-	-	-	-	-	-	-
		8人	-	-	-	-	-	-	-	-
		全体	18	141.88 kg	19	220.90 kg	18	241.66 kg	201.48 kg	2,417.78 kg
①②③④の合計の平均	値	1人	3	179.56 kg	3	170.02 kg	4	182.54 kg	177.37 kg	2,128.50 kg
		2人	29	562.85 kg	29	325.47 kg	29	319.82 kg	402.71 kg	4,832.56 kg
		3人	27	850.28 kg	26	385.06 kg	26	336.05 kg	523.80 kg	6,285.56 kg
		4人	28	675.67 kg	28	430.41 kg	28	443.46 kg	516.51 kg	6,198.13 kg
		5人	7	528.98 kg	7	503.31 kg	7	435.00 kg	489.10 kg	5,869.16 kg
		6人	5	1,464.35 kg	4	694.62 kg	5	760.24 kg	973.07 kg	11,676.84 kg
		7人	1	1,252.72 kg	1	850.11 kg	1	951.97 kg	1,018.27 kg	12,219.18 kg
		8人	1	572.39 kg	1	500.84 kg	1	715.49 kg	596.24 kg	7,154.88 kg
		全体	101	760.06 kg	99	495.10 kg	101	484.97 kg	580.04 kg	6,960.54 kg
①②③④の合計の平均値を引いた値の⑤	売電量	1人	3	179.56 kg	3	170.02 kg	4	182.54 kg	177.37 kg	2,128.50 kg
		2人	29	416.30 kg	29	85.96 kg	29	81.50 kg	194.59 kg	2,335.05 kg
		3人	27	688.68 kg	26	157.63 kg	26	44.72 kg	297.01 kg	3,564.09 kg
		4人	28	547.76 kg	28	216.27 kg	28	208.92 kg	324.32 kg	3,891.79 kg
		5人	7	388.03 kg	7	299.40 kg	7	234.66 kg	307.36 kg	3,688.35 kg
		6人	5	1,421.42 kg	3	551.53 kg	5	688.69 kg	887.21 kg	10,646.53 kg
		7人	1	1,252.72 kg	1	850.11 kg	1	951.97 kg	1,018.27 kg	12,219.18 kg
		8人	1	572.39 kg	1	500.84 kg	1	715.49 kg	596.24 kg	7,154.88 kg
		全体	101	618.18 kg	98	274.21 kg	101	243.31 kg	378.56 kg	4,542.76 kg

3.11.2 愛知県「わが家の省エネ&CO2 ダイエット作戦」登録入力者データとの比較

- 愛知県の「わが家の省エネ&CO2 ダイエット作戦（以下、ダイエット作戦）」では、同名のウェブサイトに登録し、環境家計簿を入力する取り組みで、ここではダイエット作戦サイト登録者（1,027名）のうち平成25年8月の環境家計簿入力者268名のエネルギー使用量と、本調査回答者の8月（夏）のエネルギー使用量の比較を行う。
- 一般的にダイエット作戦登録者よりも、本調査回答者のエネルギー使用量の方が多い。
- ダイエット作戦の8月の環境家計簿入力者268名の中には登録・入力2、3年目となる参加者も少なくなく、家庭における電気・ガスの使用をできるだけ控える意識が根付いていることがうかがえる（ダイエット作戦・夏のキャンペーン期間中のCO2排出量前年比結果 https://co2diet.info/2013/co2_matome.pdf より）。
- 特にガス（都市ガス、LPG）のダイエット作戦登録者の使用量が本調査回答者を大きく下回っており、夏場ということもあり、ダイエット作戦登録者のガス使用における省エネ努力が顕著に表出していることが考えられる。
- また、世帯人数別に見ても、いずれの世帯においてもダイエット作戦登録者のエネルギー使用量が本調査結果を下回っており、世帯人数が多くなるほど、その差が大きくなる傾向もみられる。

● わが家の省エネ&CO2ダイエット作戦の2013年8月のエネルギー使用量【平均値】

世帯人数	電気使用量		都市ガス		LPG		灯油		売電量	
	登録者数		登録者数		登録者数		登録者数		登録者数	
1人	25	181 kWh	21	6 m3	3	12 m3	1	10 L	1	10 kWh
2人	55	313 kWh	27	12 m3	15	5 m3	2	15 L	9	258 kWh
3人	78	366 kWh	54	15 m3	13	7 m3	1	20 L	8	272 kWh
4人	70	411 kWh	41	19 m3	11	7 m3			14	343 kWh
5人	32	477 kWh	16	18 m3	7	7 m3			4	319 kWh
6人	4	571 kWh	2	12 m3					1	424 kWh
7人	2	270 kWh	1	19 m3	1	6 m3			1	265 kWh
9人	1	829 kWh							1	205 kWh
全体	267	367 kWh	162	15 m3	50	7 m3	4	15 L	39	294 kWh

● わが家の省エネ&CO2ダイエット作戦の2013年8月のCO2排出量【平均値】

世帯人数	電気使用量		都市ガス		LPG		灯油		4種・計		売電量		4種・計-売電量	
	登録者数		登録者数		登録者数		登録者数		登録者数		登録者数		登録者数	
1人	25	75.90 kg	21	12.90 kg	3	76.27 kg	1	25.00 kg	26	93.16 kg	1	4.20 kg	26	93.00 kg
2人	55	131.31 kg	27	24.34 kg	15	34.19 kg	2	37.50 kg	55	153.95 kg	9	108.17 kg	55	136.25 kg
3人	78	153.90 kg	54	32.16 kg	13	45.05 kg	1	50.00 kg	78	184.32 kg	8	114.14 kg	78	172.61 kg
4人	70	172.42 kg	41	39.34 kg	11	43.25 kg			70	202.26 kg	14	144.12 kg	70	173.44 kg
5人	32	200.41 kg	16	37.47 kg	7	45.16 kg			32	229.02 kg	4	133.77 kg	32	212.30 kg
6人	4	239.72 kg	2	25.20 kg					4	252.32 kg	1	178.08 kg	4	207.80 kg
7人	2	113.19 kg	1	39.90 kg	1	39.00 kg			2	152.64 kg	1	111.30 kg	2	96.99 kg
9人	1	348.18 kg							1	348.18 kg	1	86.10 kg	1	262.08 kg
全体	267	154.08 kg	162	30.66 kg	50	43.16 kg	4	37.50 kg	268	180.66 kg	39	123.57 kg	268	162.68 kg

● 本調査で回答された8月（夏）のエネルギー使用量【平均値】

世帯人数	電気使用量		都市ガス		LPG		灯油		売電量	
	登録者数		登録者数		登録者数		登録者数		登録者数	
1人	3	261 kWh	2	9 m3	-	-	-	-	1	1,279 kWh
2人	70	396 kWh	34	22 m3	22	8 m3	5	30 L	4	800 kWh
3人	35	562 kWh	16	27 m3	10	12 m3	-	-	3	599 kWh
4人	22	574 kWh	11	24 m3	7	10 m3	1	38 L	3	690 kWh
5人	4	663 kWh	4	25 m3	-	-	1	38 L	-	-
6人	4	689 kWh	2	25 m3	2	21 m3	1	67 L	2	1,021 kWh
7人	1	968 kWh	1	88 m3	-	-	-	-	-	-
全体	139	483 kWh	70	25 m3	41	10 m3	8	36 L	13	799 kWh

● 本調査で回答された8月（夏）のエネルギー使用量のCO2量換算【平均値】

世帯人数	電気使用量		都市ガス		LPG		灯油		4種・計		売電量		4種・計-売電量	
	登録者数		登録者数		登録者数		登録者数		登録者数		登録者数		登録者数	
1人	3	88.65 kg	2	20.42 kg	-	-	-	-	3	109.08 kg	1	435.02 kg	3	-325.94 kg
2人	70	134.73 kg	34	49.47 kg	22	46.56 kg	5	73.82 kg	70	304.59 kg	4	272.15 kg	70	32.44 kg
3人	35	191.00 kg	16	59.42 kg	10	73.84 kg			35	324.27 kg	3	203.55 kg	35	120.71 kg
4人	22	195.11 kg	11	53.14 kg	7	62.65 kg	1	96.02 kg	22	406.93 kg	3	234.55 kg	22	172.39 kg
5人	4	225.57 kg	4	55.37 kg	-	-	1	95.00 kg	4	375.93 kg	-	-	4	375.93 kg
6人	4	234.40 kg	2	55.22 kg	2	125.22 kg	1	168.04 kg	4	582.89 kg	2	347.20 kg	4	235.69 kg
7人	1	329.12 kg	1	192.98 kg	-	-	-	-	1	522.11 kg	-	-	1	522.11 kg
全体	139	164.34 kg	70	54.04 kg	41	59.80 kg	8	91.02 kg	139	369.21 kg	13	271.72 kg	139	97.49 kg

4 資料編

4.1 自由記入欄に記述された意見

一人ひとりが少しでも環境問題に気を使ってこまめな節電をしていきたい。
自販機の 24 時間使用は制限すべきである。コンビニも 1 / 2 は時間(使用) 制限すべきである。テレビも夜中は半分の局は止めるべきである。
地球温暖化防止の取り組みは個人レベルだけでなく、行政、法人、社会的レベルで活動を広げる必要がある。
地球温暖化防止活動は大変重要なことと思います。私たち一人一人が意識していけば変化はあると思います。そうすることで住みやすい地域、大きく言えば地球全体が変わることと思います。
意見を申し述べるほど、知識がありませんので、特になし。今後は少し考えるようにしたいと思います。
行政の考え方が国民と遊離していると思います。
生活でがんばらなくてもできることやメリットがあることはやろうと思っています。(車はハイブリッド、ソーラーシステムの設置、ゴミ分別など) それ以上にがんばらないとできないことや自分にメリットが感じられないことはなかなか積極的に取り組むことは難しいです。
生活習慣と技術の進歩両面での対策が必要。
家庭はオール電化で空調システムを導入しました。これが地球温暖化防止になっているか？車はハイブリッド車に変えるよう買い替え注文しました。電化製品は全部動作していますので、買い換えるのではなく、使用時間を少なくしている。
我が家のエネルギー量は冬が夏に比べ 2 倍となっています。冬に対する省エネ、二重ガラス、エコ給湯、薪ストーブによる電気使用量を減らすことに取り組んでいきたいと思っています。
省エネを心がけるようになってから電気 + ガス + 水道 + 車がソリン + 家庭菜園により 3 万/月ムダがなくなり、財布に優しい暮らしができました。
地球温暖化防止活動は一部の人が行っているのではダメだ。同じことが一部の国についてもいえる。
一般的に見ると私だけが努力しても仕方ないだろうと言って行動に入る人が少ない。原発を進めれば CO2 の排出は少なくできるが電気のごみの処理問題が解決していないので困難であり、自然エネルギーの利用はエネルギー密度が低いために広い面積が必要である。
IPCC の報告の内容を知りたい。IPCC が 2 0 0 9 年に不祥事を起こしたが、これに対する国（主として）及びマスコミの見解を知りたい。
3.11 以後「ストップ温暖化」については世間であまり言われなくなったと思う。原子力発電の事故があり経済の発展を考えると、ストップ温暖化なんていってられないという空気は怖い。防止活動推進員として地道に活動を続けなければならないと思う。
今年の夏は異常なくらい暑かった。しかし温暖化について日々の暮らしで何か改まってしているかという、ほとんどの人が何もしていない。強いて言えば電気代が上がったかな、くらいで涼しくなったらもう忘れてしまっている。これが現実。自然観察のたびに初めに必ず環境について話をするのだが、もう慣れっこになってしまってピンとこない。本当に困ったことです。
家庭生活を見直す時、環境のことに配慮できるよう考えはするものの、それを実行するかどうかは金銭的に光熱費などが削減できるかどうかの部分で決定している。私の中では、生活費の節約になるかどうかということが一番重要です。コッサリ-を購入したのも、上記のような理由と旦那が試乗してその走りがすぐに気に入ったからです。要望として、家庭の照明を LED 電球に替える（白熱灯などから）時補助金があるとよいと思う。
マイカーは私が 40 歳の時公害問題がクローズアップされていたため廃車にしました。
官庁、民間企業でのクールビズ、ウォームビズの徹底。暑さ、寒さは衣類の調整である程度カバーできるのでは。公共交通機関の優先レーンをもっと拡充し、自家用車保有台数を削減できないか。

<p>自然エネルギーの利用を進めることが今のところ必要だと思います。日本だけでなく後進国への協力も必要であると思います。</p>
<p>個人個人が気をつければ大きな力になると思います。</p>
<p>マスコミなどを利用して県民にもっと理解できるような宣伝活動を行うようにした方が良いと思う。</p>
<p>家庭内でできることは今後積極的に参加していきたいと思います。</p>
<p>環境、地球温暖化防止は社会だけに押しつけないで私たち一人一人が小さなことからコツコツと意識的に実践して行っていくことが大事だと思います。</p>
<p>回答がしにくいところがありますので再検討ください。①車の保有が複数台合わせての用途訳になっているが、車ごとに分けた方が書きやすいです。②エアコンの使用が一日で〇〇時間となっているが、使うのは夏、冬だけですが。③問6の導入しない理由に「特に理由なし」でなく「その他」で理由を書くようにした方が現実的では？その他で書きたいことがあります。各家庭の電気使用量は省エネルギーセンターが省エネナビを使ってデータをとっていますので、そちらから情報をもらうことも可能では？</p>
<p>「地球温暖化」という言葉より「大幅な気候変動」という言葉の方が現在の状況をよく表しているので、もう少しわかりやすくPRした方がよい。「地球温暖化」というと、暖かになり住みやすい感じに受け取れる。それより、その過程で大幅な気候変動（猛暑、強烈な台風、大雨等）が身近に起きるので、それを防止するのも必要だということをPRすべきである。</p>
<p>温暖化防止活動、省エネ、ゴミ減量などの啓発活動を小、中学校、町内会等で出前講座講師として行っている。なるべく自転車、公共の乗り物を利用し、自らが実践していることを見られている。</p>
<p>今回の台風30号、フィリピンのレイテ島の被害は甚大なものです。市の90%以上壊滅との報道もごさいます。これらの台風も海水温上昇の影響もあると思います。国連の気候変動会議も開催されているようです。国際的に異常気象の変化も見られ、北極の氷もだいぶ減っているようで、このままでは海面下に沈む国もあるかと心配もしています。まず身の回りから、出来ることから積極的にこの問題に取り組んで行きたいと思ひますし、県としてもっと積極的にアピールしてください。</p>
<p>地球温暖化が現実自然界に影響を与えていることを肌身で感じるようになってきたと思う。異常気象の続発などが起き、最近では台風の巨大化などで大きな被害が起きている。世界的規模で取り組みをしないとイケないと思う。</p>
<p>地球温暖化防止活動を推進する上で、地域、公共機関だけでの取り組みは継続すべきであると思うが、地球全体の視野で発信する必要がある。中国のpm2.5等、中国のco2排出量は地球問題である。もっと強く環境に対して活動の一環として、発信していくことが必要だと思います。</p>
<p>CO2排出増大は誰も止められない（中国や米国の経済活動を抑制できるはずがない）から、温暖化の進展に伴う自然環境の変化に対処する、先手の（身を守る）技術、社会を上げる方策を政策として、または機関づくりとして打ち出し、社会をリードしていくべきです。この問題を一般大衆に身近な問題として考え、生活に取り入れてもらうために、例えば定期的（年毎）なアイデア募集と評価のイベント実施、具体性のあるアイデアに懸賞金を与え（つけ）、よいアイデアには補助金をつけてトライして効果があれば普及を図る仕組みづくりをする（もちろん権利保護はする）etc. →本気ならば国、自治体はもっと資金を投入すべきであろう。</p>
<p>豊田市は比較的森林が多く恵まれているが、市街地においては開発が進み乱開発ではないかと思われるところまで出ている。STOP温暖化防止等の学校出前等は先生や生徒が真剣に聞いてくれ、夏季等緑のカーテン等はどの学校でも実施されているようだ。従って家庭でもゴミの分別や3Rについては積極的に推し進めている家庭が目立ってきている。</p>
<p>・推進員としてどのように活動すればよいか日々苦慮している。年に数回発表の場を持つことがあるが、資料の企画から作成に数日かかりや徹夜仕上げなど大変な割にはやってもやらなくても同じようなものにすぎないのだろうと思えてくる。「ストップ温暖化教室」のようなプログラムを作るグループの立ち上げなどセンター様には音頭をとっていただき、マニュアルに添って推進員が進められるプログラムがあるといいかと思う。現在は個人の力量や環境カウンセラーの方など元々進めている人が活動しているにすぎないのではないかと思う。・本調査はこれから展開される事業の下準備とのことで今後を楽しみにしている。5ページの集計月を中身が検針票〇月分かはっきりさせた方がよいと思ひました。・家庭の省エネはエコリフォームなど本格的にやらないと、小さな取り組みでは難しいと思ひたり、小さな取り組みで大きな成果を出している人の話題に背筋が伸びたりと両面感じている。国や自治体には大きな仕組みとなるものを打ち出していただきたい。</p>

<p>グリーンカーテンでは自宅及び東刈谷市民センターで環境支援員として実施することが出来ました。川の浄化活動は市民会議のメンバーやボランティアと一緒に毎月実施中。個人的には毎早朝、1 時間半の 3 コースを決めてポイ捨てタバコを拾ったり、ペットボトルや空き缶も拾いながら中学生、高校生等にはあいさつ運動もして、町の美化に努めています。365 日/年、継続中。10 種類のボランティア活動のリーダーとして活動しています。</p>
<p>IPCC や環境省 HP の内容では、地球温暖化が将来の極めて大きな問題と指摘されているが、果たして本当にそうなのか、実感として分からない。最大 CO2 排出国の中国や米国が CO2 削減に消極的なのも大変気になる。私どもの小さな行動の積み重ねが CO2 削減に寄与する微々たる効果（グローバル視点で）に暗然たる思いがある。</p>
<p>家族が 6 人(内子ども 2 人) ではなかなか節電は難しい。年寄り夫婦と若夫婦とでは考え方が違う。年寄りの思いを若夫婦には言えない。このアンケートも家族全体で考えると難しい面が多い。年代別アンケートが必要かも。</p>
<p>東日本大震災以後、発電での化石燃料の使用が 90%になっており、CO2 の発生が大幅に増えている。温暖化防止活動の強化が重要と考えます。日本の社会の中で節約できる電気、エネルギーはまだまだ多くあるのでこれをより積極的に進めるのが第一だと思います。原発は再稼働すべきではありません。「トイレの無いマンション」は人類にとって不要であり不幸です。</p>
<p>家庭の中の小さな事から自分達家族に出来ることに取り組み、子どもたちにも伝えていきたい。</p>
<p>温暖化防止活動は必要で意識をもっと広めていくことが大切だと思う。また太陽光発電の導入が広まればよいと思うが経済的にもっと分かりやすい補助があればよいと思う。温暖化はこれからの世代の方には本当に大きな問題。</p>
<p>電気の省エネ効果はエコワット等の計測器でチェックできるが、ガスの省エネ効果を測定する方法を知りたい。</p>
<p>昭和 30 年代の昔の生活に戻る方法を、行政主導で家庭、企業、行政の動きを構築することをしてください。プラゴミが非常に多くなってきていることから、生活の改善を考えるべきではないでしょうか？</p>
<p>なるべくわかりやすい表現でお願いします。健全な地域を子孫に残す義務があると考えている。多少不便になってもかまわない。シルバー人材が役に立てればとてもいいと思う。</p>
<p>今後省エネする人に対するメリットだけでなく、すでに省エネの人にメリットを。前年に比べて省エネ→特典、以前から省エネ=前年と変化なし→なにもない、このようなことにならないよう、ひとり当たりの目標値を決めて評価する。</p>
<p>総花的なことをやるよりも、今年はこちらを実践すると心掛ける事が大事。身近な所から自分でやるのが大事。ハード面よりソフト面が重要。細かいことの積み重ねで活動を進めたい。生活に省エネ(温暖化防止)の意識をもって行動すれば自ずと効果が出てくると思う。企業であっても儲からない省エネ投資は絶対しない。償却期間は 3 年まで位と思う。各家庭の協力はハード面は難しい。メリットの算出のデータ不足のため、また信頼の問題もある。</p>
<p>一人一人がきちんと守ることで地球温暖化防止につながることがわかり、これから気をつけたいと思う。</p>
<p>①エネルギー使用状況等はよほど環境保全に日常から気をつけて生活していないとアンケートにお答えすることは難しい！（私は中電、東邦ガス等のインターネット登録をし、エコチャレ手帖をつけている。）②アンケート結果の集計が出たらまとめて、出来ればグラフ化して送ってください。(例)エネルギー使用量は 2 人、3 人 4 人、5 人、またはひとり家族ではどうかというグラフが出来るとよいですね！</p>
<p>最近の異常気象は温暖化の影響だとは思いますが異論もあるとなると、強く人にも普及できない気がするので、はっきりとした方向性を出してもらいたい。</p>
<p>普段の生活を簡素にすることによってエコを叫ばなくても省エネの暮らしが出来ると思う。消費 PR に惑わされずに生活することが大切である。車を使わずに自転車を使い、物は長く使い、服はリユースまたは修理して使いたいと思っている。</p>
<p>異常気象が起きた時に感じるが、正常な時は忘れてる。原発に替わる熱源を化石燃料に求めるのではなく、自然エネルギーに変換することを積極的に進めるべきだと思う。</p>
<p>居住する地域があと約 1 年程で区画整理事業も終わります。生活道路が広くなり災害に対する安全度は向上しましたが、雑木林や家の垣根も除かれ、緑が消えてしまい、残念な町並みとなりました。</p>
<p>基本、皆の意識の持ち方次第だと思います。地域での活動や学校などで少しずつでも広めていければよいと思います。</p>
<p>集合住宅に住んでいるので、省エネ活動ができない。</p>
<p>頭では地球温暖化のことは分かっているつもりだが、なかなかどう実践に結びつけていいの分からない。</p>
<p>省エネを毎日の生活に取り入れる。</p>

<p>文明が電気によって進化しすぎているので、自然界との共生を考える時代にきたのだと思う。エネルギーを大切にする教育と生活を皆が実行すべきだと思い知りました。</p>
<p>海水温上昇、北の海に異変、ニュースを見たり、新聞を読むと不安な気持ちです。</p>
<p>「地球温暖化」と「CO₂などのガスの排出量の増加による地球の温度上昇」と「化石燃料の燃焼とその残存量」に対する考え方を別々に分けて考えていくべきである。ブライアン・フェイガン著の「古代文明と気候大変動」や「4年前の人類を襲った大温暖化」などの内容を広く国民に普及させ、国民の判断する能力を養育して行うことが大切と考えます。</p>
<p>問 2-1 住宅の種類について子供のアンケート調査でもあるまいにもう少し精査項目が必要。一戸建て→平屋、2階、あるいはRC1階、2階、プレハブなど。2⑤暖房器具、全く使わない家庭もある、設間に工夫が必要。⑥シャワー、お風呂との関係はどうするのかな、シャワーなんか使わない家庭もある。環境団体が行う省エネ調査にして粗雑ではないかなと思う。</p>
<p>小さなことでもみんなで積み上げていけば大きな山となる。どんなにいい組織、施設があっても行うのは人、人の意識を高めるための、あれもこれも、の方策がいる。小さなものでいいので、イベント、PR等を切れ目なく地道に続けていく「継続=力」。このアンケートを記しながら、これらのことを強く思いました。</p>
<p>地球温暖化に伴う台風の影響について、今年は特に考えさせられました。恐ろしいのはフィリピンの惨状が日本にも起こりうるということ。今日はメガソーラー、火力発電の見学をする機会があり、エネルギーをつくる仕組みを理解しました。省エネにもっと関心を持つことが必要と深く思った。太陽光発電は我が家では10年前にとりつけたが、当時より売電価格が上がってうれしく思います。係の方の熱意のある説明がよくわかり、知人に伝えていきます。</p>
<p>個人の意識も大切だが、地球に優しい商品を簡単に手に出来るならばもっと早く成果が出ると思う。そのためにも企業努力に期待したい。調査内容が少しわかりづらいところもありました。</p>
<p>環境にやさしいハイブリッドカーの購入や太陽光発電の設置やLEDへの買い替え等は身近なものです、経済的に大きな負担がかかります。私自身も含めて個人が環境についての意識をもっと高めないと実行するには難しいことなのだと感じました。問11の回答がほとんど「4」であることに自分でも驚きました。</p>
<p>うちエコ診断とほとんど同じ調査項目である。共用できないのか。</p>
<p>家族間でも意識の差がある。記入には相当な割り切りが必要な感じがしました。</p>
<p>地球温暖化については非常に関心あり。数年前より小学校での緑のカーテン栽培について共同作業もしている。また、環境家計簿について試験的実施をしている。いろんな機会を通し大勢の人たちが今少し積極的な行動をしたいものですね。</p>
<p>みんなで出来ることから実践しなければと考えます。</p>
<p>うちエコ診断では、40分間しっかりと対応して丁寧に対策を教えてください感謝しています。少しずつではありますが、意識を変えていきたいと考えています。</p>
<p>小学生に対する環境学習を大いに実施していただきたい。</p>
<p>防止活動を実践することは色々な折を見つけて、子供の時から話し合うことが重要と思う。どんな些細なことでも、ゴミ一つでも分別することを親が見本を見せるべき。アンケート調査をすることで、普段何気なくしてきた無駄に気づくこともあり、有意義なアンケートに思い、真摯な気持ちで回答することが出来ました。</p>
<p>過剰包装など紙のむだ使い、除菌などの過剰に薬剤を使い過ぎる等、生活習慣を変えることの難しさを感じますが、植林活動等、出来ることから地道に活動していきたいと思っております。また、個々で取り組むよりグループ（組織）で活動する大切さを感じます。</p>
<p>電気製品購入後15～20年くらいたって使用電力も高くなっているが、年金生活では新しく電力の少ないものを購入できない。</p>

<p>近未来に食料難が必ず来る(現在の日本の自給率 39%カロリーベース、欧米の大半は 100%を越えている)といわれています。私の近所には休耕田にコスモスなどを植えておられますが、穀物に相当する大豆やとうもろこし等を植栽したらどうでしょうか？無論食料危機の備えにもなります。通常はバイオエタノールに変換してはどうでしょうか！ブラジル等でもバイオエタノール化は盛んで最近技術導入となるでしょう（自動車業界もそれにならわせる）。減反政策で休耕田に補助金を与えるより、農家に作ってもらい、代わりに多少の打撃を受ける燃料業界への補助金を出す。余剰の穀物は開発途上国 ODA の代わりに支給する、農業人口の減少や高齢化対応は 60.65 歳サラリーマンに対応してもらってはいかがでしょうか？稲と違い簡単に従事できます。（多少の手当てがあれば応募者はいると思います。）</p>
<p>温暖化防止は教えるのではなく、体験と見学そして伝え学び合う人間コミュニケーションが大切（例：数年前の教育方法は伝わらない、経済、生活環境の変化が激しいことを気づきたい。育み合いたいです。</p>
<p>やはり第 3 のエネルギーを安く提供してほしい。</p>
<p>使わなくなった浴槽をもらい、雨水を貯めて花や野菜にあげるようにしました。バケツにも。外にある水道の蛇口を取りました。雨水で対応するため。</p>
<p>温度等はあまり下げて(冬) しまって、体調が悪くなるのも考えもの。体調を整えるための食事等に気をつければよいのですが、無理はしたくないです。家族の理解がないと家のことは難しいです。個人として気持ちはありますが（努力もしています）、息子達に協力をしてもらおうと思っても、実際には終電で帰ったり、夜中の電気（テレビ）をつけたりと、そのことで生活がギクシャクしてしまうのも考えものです。悩みのもとでもあります。</p>
<p>具体的に何をしたらいいのか、もっとアピールしたら色々なことが広まると思う。</p>
<p>本アンケートにも色々ヒントがあったように、我々一般家庭でも地球温暖化防止に寄与することは多々ある。もっともっと一般家庭においても実践できる。そのためにも知識の浸透が必要である。</p>
<p>環境に良い物は何でも高いので、家計が苦しい我が家は実践できない、と感じました。この調査でお金がかからないことは既にできていると感じます。節電も時間をかければできることはもっとありそうだけど、子供 3 人いて仕事しているとお金も時間もかけられない自分に気づきました。とりあえずできることやります。</p>
<p>今回の調査を経験して、いろいろなことに意識し行動するきっかけになったと思います。ありがとうございました。</p>
<p>この夏小学校へ出前事業に行ったが、扇風機のみで多くの児童が熱さでボーっとして集中力どころか、熱中症が心配されるほどであった。確実に温暖化が進んでいるように感じ、子供達に申し訳なく思った。住宅が敷地いっぱいの建ぺい率で建築され、家と家とがくっつき合い、緑もなく密閉状態の街はエコでないと思う。</p>

4.2 調査票原票

(※次頁以降に掲載。)

省エネモニター調査にご協力願います

愛知県地球温暖化防止活動推進員の皆さまとご協力者の皆さまへ

本紙は、平成 25 年度 地域での地球温暖化防止活動基盤形成事業（愛知県）の地球温暖化防止活動推進員と連携して普及啓発を兼ねた温室効果ガスの排出実態調査として実施する「省エネモニター調査」の調査票です。

この調査は、ご家庭の電気・ガス等エネルギー使用状況の目安となるデータの収集と把握を目的として実施するものです。調査結果につきましては、住居形態や居住環境、環境意識などから“家庭のタイプ”を明らかにし、各家庭タイプ別の CO2 排出量の平均値データ等を算出して『タイプ別平均像』を明らかにします。将来的には、愛知県の一般家庭の『タイプ別平均像』の算出と設定を行い、各家庭がどういうタイプに該当し、同じタイプの集団の中でその家庭の CO2 排出量が平均より上か下かを明示できるなどの一つの『目安』づくりを目指しています。この『目安』は推進員の皆さまが主体となって取り組む普及啓発活動のほか、愛知県や当センターが行う地球温暖化防止活動でも活用できるものにしてきたいと考えています。

一方でこの“目安”や『タイプ別平均像』については、今後数年に渡り調査を積み重ねていく中で、推移や傾向の把握・分析を行いながら、より適切な“目安”或いは『タイプ別平均像』になるよう微調整を行っていく必要があります。そのため、初回調査である今年度調査は、次回（来年度）以降の調査実施を目指した予備調査として実施いたします。特に推進員の皆さまにおかれましては、環境問題や地球温暖化問題に関心が高く、有効データを得られやすいものと期待できることから、今年度につきましては試行的な調査となりますが、推進員の皆さまとそのご協力者の皆さまを対象に調査を実施することにいたしました。

ぜひ、調査にご協力いただくとともに、調査方法や調査内容に対しましても、本紙巻末の自由記入欄に忌憚のないご意見をいただき、次回以降の調査がより適切な調査内容のものになるよう、ご支援ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。なお、ご協力いただきました方へは『図書カード』を進呈いたします。

平成 25 年 11 月

愛知県地球温暖化防止活動推進センター

<本調査に関するお問い合わせ先>

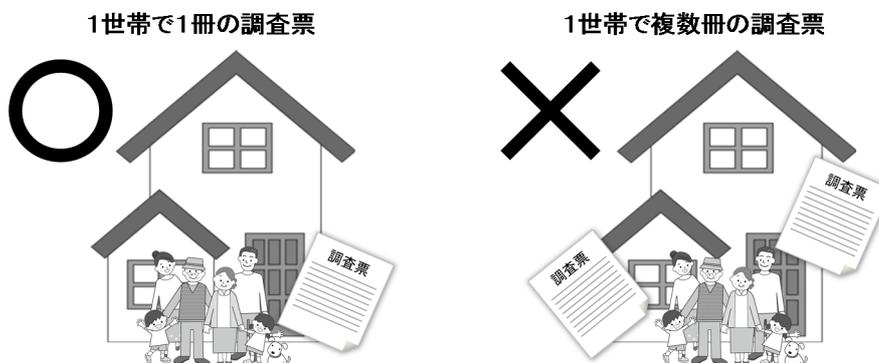
愛知県地球温暖化防止活動推進センター

（一般社団法人環境創造研究センター内 / 担当：富田）

〒461-0005 名古屋市東区東桜 2-4-1 TEL : 052-934-7295

本調査票へのご記入・ご回答に際してのお願いと注意事項

1. この調査票へのご回答・ご記入は、1世帯（住居）につき1調査票でお願いいたします。（1世帯・1調査票で、同じ世帯内の複数の方がご記入等いただくことは構いませんが、1世帯の中で複数冊の調査票にご回答・ご記入はしないようお願いいたします。）



2. この調査は無記名調査となっています。お答えいただきましたことはすべて統計的に処理いたします。個人は特定されません。
3. ご回答の際には、黒か青のペンやボールペンで、あてはまる選択肢の数字番号を○で囲む、または枠内や下線_____がある箇所に、該当する数字や言葉を記入するようにしてください。

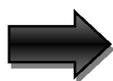
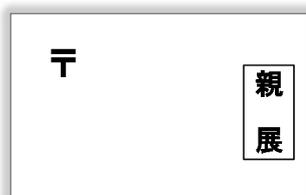
【選択肢の中から選んで回答する場合の記入例】

問. あなたは地球温暖化問題に関心がありますか？

- 1.** 大変関心がある **2.** ふつう **3.** あまり関心がない

4. 本紙・調査票へのご回答・ご記入とあわせて、『図書カード』送付用宛名シールに「郵便番号」「住所」「お名前」を記入して、そのまま同封の返信用封筒に入れてください。（台紙をはがしたり、返信用封筒に貼り付けたりしないでください。）

『図書カード』送付用宛名シール



【記入例】

〒123-5678
〇〇市〇〇〇〇丁目〇番
〇〇コーポ〇-〇号
山田 太郎 様

親展

▲宛名シールに、図書カード送付先の「郵便番号」「住所」「名前(様)」を記入してください。図書カードはこの宛名シールを使って送付させていただきます。

5. 本紙「調査票」と「宛名シール」を同封の返信用封筒に入れて**12月6日(金)までに投函**いただきますようお願いいたします（切手は不要です）。

※宛名シールがなかった場合には、調査票を郵送する前に当センターへお知らせ願います。
※平成25年12月1日以降の消印による返送や、調査票を投函し終えた後で宛名シールがない旨のご連絡いただきました場合には、図書カードをお送りできないことがあります。あらかじめご了承ください。

1. あなたご自身とあなたのお住まいについて

問1. あなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものの番号に○を付けるか、下線部にあてはまる言葉を記入してください。(○は1つずつ)

問1-1) 性別

1. 男	2. 女
-------------	-------------

問1-2) 年齢

1. 20代	2. 30代	3. 40代	4. 50代
5. 60代	6. 70代	7. 80代以上	

問1-3) 職業

1. 給与所得者（会社員・公務員・団体職員等）	2. 自営業（農業等含む）		
3. 家事専業	4. 無職	5. 学生	6. その他

問1-4) 世帯人数

あなたを含め _____ 人

問1-5) 世帯構成

1. 単身	2. 夫婦のみ	3. 2世代家族（親・子）
4. 3世代家族（親・子・孫）	5. その他	

問1-6) 居住地域

愛知県 _____ 市・町・村

問2. あなたの住居について、あてはまるものに○を付けてください。(○は1つずつ)

問2-1) 住宅の種類

1. 一戸建て	2. 集合住宅・共同住宅等	3. その他
----------------	----------------------	---------------

問2-2) 住宅の所有

1. 持ち家	2. 持ち家ではない
---------------	-------------------

問 2-3) 住宅の建築年数

1. 昭和52 (1977) 年以前
2. 昭和53 (1978) 年～平成3 (1991) 年
3. 平成4 (1992) 年～平成12 (2000) 年
4. 平成13 (2001) 年以降

問 2-4) 住宅の延べ床面積 (※おおよそで結構です／敷地ではなく住宅建物の面積です)

1. 10坪 (30㎡) 未満
2. 10～20坪 (30㎡以上65㎡未満)
3. 20～30坪 (65㎡以上100㎡未満)
4. 30～40坪 (100㎡以上130㎡未満)
5. 40～50坪 (130㎡以上165㎡未満)
6. 50坪 (165㎡) 以上
7. わからない

問 2-5) 庭やベランダなど園芸等できる場所の有無 (※園芸規模の大小は問いません)

1. 庭やベランダ等がある
2. 園芸はできないが場所はある
3. ない

問 2-6) リビングなど普段ご家族がよく過ごす部屋の日当たり

1. 良いと思う
2. 悪いと思う
3. どちらでもない・わからない

問 2-7) 家の中の風通し・空気の流れ

1. 良いと思う
2. 悪いと思う
3. どちらでもない・わからない

問 3. お住まいの地域・場所について、あなたが感じていることに一番近いものに○を付けてください。生活していく中での個人的な所感で結構です。(○は1つずつ)

問 3-1) お住まいの場所の近辺の自然環境は

1. 緑や自然が豊かだと思う
2. 緑や自然が少ないと思う
3. わからない

問 3-2) 夏になるとお住まいの場所の気候は、愛知県内で (県内のほかの場所に比べて)

1. 暑くなる場所だと思う
2. ほかと同じだと思う
3. わからない

問 3-3) 冬になるとお住まいの場所の気候は、愛知県内で (県内のほか場所に比べて)

1. 冷え込む場所だと思う
2. ほかと同じだと思う
3. わからない

問 3-4) お住まいの場所からの電車・バス等の公共交通機関の利便性は

1. 交通の便が良いと思う 2. あまり良くないと思う 3. どちらでもない

問 3-5) お住まいの場所から買い物や通勤通学、通院などで出かける時、車の必要性は

1. 車がないと生活できない
 2. 車があると生活しやすいが、車がなかったとしてもなんとかなる
 3. 日常生活であれば車がなくても困ることはあまりない
 4. どちらでもない・わからない

問 3-6) お住まいの場所はどちらかといえば

1. 都市部や市街地の中 2. 市街地の周辺部
 3. 交通量の多い幹線道路（国道等）から離れているが市街地の近くにある場所
 4. 交通量の多い幹線道路（国道等）からも市街地からも離れた場所
 5. その他（どれでもない） 6. わからない

2. 家庭でのエネルギー使用状況について

問 4. あなたのご家庭における電気製品等の使用状況についておたずねします。下のそれぞれの家電の設定温度や使用時間等について、おおよその数字をご記入ください。複数台を使用されている場合は、最もよく使うものについてお答えください。

① エアコン 【冷房時】	設定温度 約 度	使用時間 1日 で計・約 時間
② エココン 【暖房時】	設定温度 約 度	使用時間 1日 で計・約 時間
③ 居間・台所の照明器具	使用時間 1日 で計・約 時間	
④ テレビ	視聴時間 1日 で計・約 時間	主電源が入っている時間 1日 で計・約 時間
⑤ 暖房器具 (こたつ、電気ストーブなど)	最もよく使う暖房器具の使用時間 1日 で計・約 時間	
⑥ シャワー	世帯全体での使用時間 1日 で計・約 分	

問5. ご家庭のエネルギー使用状況について、2月（冬）、5月（春）、8月（夏）、10月（秋）それぞれのおおよその1か月間の使用量（購入量）または金額のどちらかを数字でご記入ください。使用しなかったものは「×」を記入してください。

【記入例】

項目	2月（冬）	5月（春）	8月（夏）	10月（秋）
電気	400 KWh	KWh	KWh	200 KWh
	円	7,000 円	12,000 円	円
灯油	× リットル	× リットル	× リットル	× リットル
	円	円	円	円

※使用量か金額のどちらか一方のみをご記入ください。

※おおよその量または金額で結構です。

※「わからない」場合は空欄にして何も記入しないでください（「使用しなかった」の×記入と区別をするため）。

項 目	2月（冬）	5月（春）	8月（夏）	10月（秋）
① 電 気	KWh	KWh	KWh	KWh
	円	円	円	円
② 都 市 ガ ス	m ³	m ³	m ³	m ³
	円	円	円	円
③ L P G (プロパンガス)	m ³	m ³	m ³	m ³
	円	円	円	円
④ 灯 油	リットル	リットル	リットル	リットル
	円	円	円	円
⑤ ソーラー 発電等による 売 電 量	KWh	KWh	KWh	KWh

問 6. 下の表の①～⑧の省エネルギー設備等について、あなたのご家庭における現在の導入状況に最も近いものを 1 ～ 3 の中から選んで○を付けてください。(※導入が一部のみの場合や、取り付け・納入待ちなどの場合には「1. 既に導入している」に○を付けてください。)

また、「3. 導入するつもりはない」に○を付けた場合には、下の〈導入しない理由〉4 ～ 8 のうち、該当する理由1つを選んで○を付けてください。

◆導入しない理由◆ (下の表の中に○を1つずつ)

- 4. この設備等のことをよく知らないから
- 5. 費用負担が大きいため
- 6. 現在の住宅に導入できないから
- 7. 効果が疑問であるから
- 8. 特に理由なし

省エネ設備	既に導入している	導入したい	導入するつもりはない	◆導入しない理由◆				
				4	5	6	7	8
① 太陽光発電	1	2	3	4	5	6	7	8
② 太陽熱温水器	1	2	3	4	5	6	7	8
③ ペアガラス、 二重窓	1	2	3	4	5	6	7	8
④ 省エネ型照明、 LED 照明など	1	2	3	4	5	6	7	8
⑤ 屋上庭園・ 緑のカーテン	1	2	3	4	5	6	7	8
⑥ 雨水貯留タンク	1	2	3	4	5	6	7	8
⑦ 高効率型給湯器 (エコキュート・ エコジョーズなど) または燃料電池	1	2	3	4	5	6	7	8
⑧ ハイブリッドカー、 電気自動車	1	2	3	4	5	6	7	8

問 7. ご家庭での自動車（自動二輪は除く）の使用状況についてお答えください。なお、業務兼用車は、業務での使用がほとんどの場合はこの質問の対象から除外してください。家庭の用事で使用することも多い業務車は対象となります。（車をお持ちでない場合は、次のページの間 8 へお進みください。）

問 7-1) ご家庭内で車を運転する人の数と、車の台数などをそれぞれお答えください。

車の免許を持つ家族： _____ 人	日常的に車を使う家族： _____ 人
ガソリン車： _____ 台	軽油車： _____ 台

問 7-2) ご家庭（全体）で、車の用途ごとにその使用頻度をお答えください。（○は 1 ~ 6 の中から 1 つずつ）

【記入例】 通勤で平日のみ毎日と、レジャーで月に数回ほど車に乗る場合・・・

用 途	毎日	週 5 回ほど	週 2~3 回	週 1 回ほど	月 1~2 回ほど	ほとんどない
通勤・通学	1	2	3	4	5	6
レジャー	1	2	3	4	5	6

用 途	毎日	週 5 回ほど	週 2~3 回	週 1 回ほど	月 1~2 回ほど	ほとんどない
① 通勤・通学	1	2	3	4	5	6
② 買 い 物	1	2	3	4	5	6
③ レジャー	1	2	3	4	5	6
④ そ の 他	1	2	3	4	5	6

問 7-3) ご家庭（全体）における 1 か月の車のおおよその燃料代を金額または購入量のどちらかでお答えください。

家庭全体で 1 か月間に 約 _____ 円 または 約 _____ リットル



3. あなたやご家庭の温暖化防止に対する意識・行動について

問 8. 地球温暖化についてのあなたのお考えを教えてください。(〇は1つずつ)

問 8-1) 周りで地球温暖化による影響が出ていると思う

- | | | |
|-------------------|-----------------|------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらでもない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | |

問 8-2) 地球温暖化は将来にわたる重要な問題だ

- | | | |
|-------------------|-----------------|------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらでもない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | |

問 8-3) 地球温暖化の進行は私たちの生活が原因になっている

- | | | |
|-------------------|-----------------|------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらでもない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | |

問 8-4) 私たちの環境にやさしい行動は地球温暖化対策として重要だ

- | | | |
|-------------------|-----------------|------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらでもない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | |

問 8-5) 気をつければ環境に優しい行動はできると思う

- | | | |
|-------------------|-----------------|------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらでもない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | |

問 8-6) 環境に優しくするために多少不便になるのは我慢する

- | | | |
|-------------------|-----------------|------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらでもない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | |

問 8-7) 環境に優しくするために値段が高くなるのはしかたない

- | | | |
|-------------------|-----------------|------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらでもない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | |

問 8-8) 環境に優しい行動をすることは社会人として当然だ

- | | | |
|-------------------|-----------------|------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらでもない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | |

問 8-9) これからはもっと環境に優しい行動をしようと思う

- | | | |
|-------------------|-----------------|------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらでもない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | |

問 9. ご家庭での日頃の暮らし方について、下枠内の①～④を、問 9-1 と問 9-2 でそれぞれ評価してください。

① 住居・住居建物	…賃貸／持ち家、断熱性、風通し、日当たり 等のこと
② 住まい周辺の環境や立地	…気候・地理的条件、自然環境、交通の便 等のこと
③ 使用している家電・電化製品	…新しい／古い、消費電力、性能、台数 等のこと
④ 生活パターン・生活習慣	…衣食住に係る時間・費用やその志向性 等のこと

問 9-1) 日常生活を送る中で、あなたのご家庭の現状における①～④に対するおおよその満足度をお答えください。(○は 1 ～ 5 の中から 1 つずつ)

項 目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	どちらでもない
①住居・住宅建物	1	2	3	4	5
②住まい周辺の環境や立地	1	2	3	4	5
③使用している家電・電化製品	1	2	3	4	5
④生活パターン・生活習慣	1	2	3	4	5

問 9-2) 今後、あなたのご家庭で省エネ・節電への対応・実行にもっと取り組んでいくことを考えた場合、①～④それぞれの現状をどのように評価しますか。(○は 1 ～ 5 の中から 1 つずつ)

項 目	既に充分対応・実行が可能	ある程度は対応・実行できる	やや不安を感じる	対応・実行は不可能	わからない
①住居・住宅建物	1	2	3	4	5
②住まい周辺の環境や立地	1	2	3	4	5
③使用している家電・電化製品	1	2	3	4	5
④生活パターン・生活習慣	1	2	3	4	5

問 10. あなたやあなたのご家族が実践している環境保全行動についておたずねします。

問 10-1) 下の表の①～⑭の環境保全行動について、あなたのご家庭の取り組み状況が一番近いものに○を付けてください。(1～4の中から○は1つ)

問 10-2) 同様に、それぞれの環境保全行動を実行する上でのあなたのご家庭におけるおおよその難易度をお答えください。(5～7の中から○は1つ)

環境保全行動	問 10-1) 取り組み状況				問 10-2) 難易度		
	常に(多く)行う ほとんど行っていない	ある程度(わずかながら)行っている	ほとんど行っていない	該当しない・わからない	とても簡単	ふつう	とても難しい
①日常生活において節電等の省エネに努める	1	2	3	4	5	6	7
②日常生活においてできるだけごみを出さないようにする	1	2	3	4	5	6	7
③不用品をバザー、フリーマーケット等のリユースにまわす	1	2	3	4	5	6	7
④ごみを地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにする	1	2	3	4	5	6	7
⑤運転の際には、不必要なアイドリングや空ぶかし、急発進はしない	1	2	3	4	5	6	7
⑥日常生活において節水に努める	1	2	3	4	5	6	7
⑦油や食べかすなどを排水口から流さない	1	2	3	4	5	6	7
⑧買い物の時は製品に含まれる化学物質を成分表示で確認して選んでいる	1	2	3	4	5	6	7
⑨自然環境を保全する観点から、皮革製品を購入する際に希少な野生動物の皮革製品でないかどうかを考慮したり、間伐材を使用した製品や有機農産物を購入したりする	1	2	3	4	5	6	7
⑩物・サービスを購入するときは環境への影響を考えてから選択する	1	2	3	4	5	6	7
⑪地域における環境保全のための取組に参加する(緑化、美化、自然保護、リサイクル、省エネ、地域の計画策定等)	1	2	3	4	5	6	7
⑫体験型の環境教育・環境学習活動に参加する(自然観察会・水質調査、植林活動等体験・調査活動などの実践/講習会等の座学は含まない)	1	2	3	4	5	6	7
⑬講習会等で得た環境保全に関することを実践する	1	2	3	4	5	6	7
⑭環境に対してよいと思うことを知人や友人に伝えたり広めたりする	1	2	3	4	5	6	7

問 11. 下の①～⑩の環境省、及び愛知県の地球温暖化対策の取り組みに関連する言葉を知っていますか。(○は 1 ～ 4 の中から1つずつ)

項	目	内容・意味 を詳しく 知っている	内容・意味 をある程度 知っている	聞いたこと ／見たこと だけはある	まったく 知らない
環境省 関連	①チャレンジ 25 キャンペーン	1	2	3	4
	②うちエコ診断	1	2	3	4
	③エコハウス (環境共生型住宅)	1	2	3	4
	④HEMS (ホームエネルギ ーマネジメントシステム)	1	2	3	4
	⑤地球温暖化防止月間	1	2	3	4
愛知県 関連	⑥あいち地球温暖化防止 戦略 2020	1	2	3	4
	⑦あいちエコチャレンジ 21	1	2	3	4
	⑧あいち CO2 削減 マニフェスト 2020	1	2	3	4
	⑨わが家の省エネ&CO2 ダイエット作戦	1	2	3	4
	⑩家庭の省エネ指南書 (パンフレット冊子)	1	2	3	4

問 12. 地球温暖化防止活動や本調査のことなどについて、自由に意見等をご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....

ご協力誠にありがとうございました。

※ご記入を終えられました本紙・調査票は、**12月6日(金)**までに返信用封筒で郵送してください。(切手は不要です。)